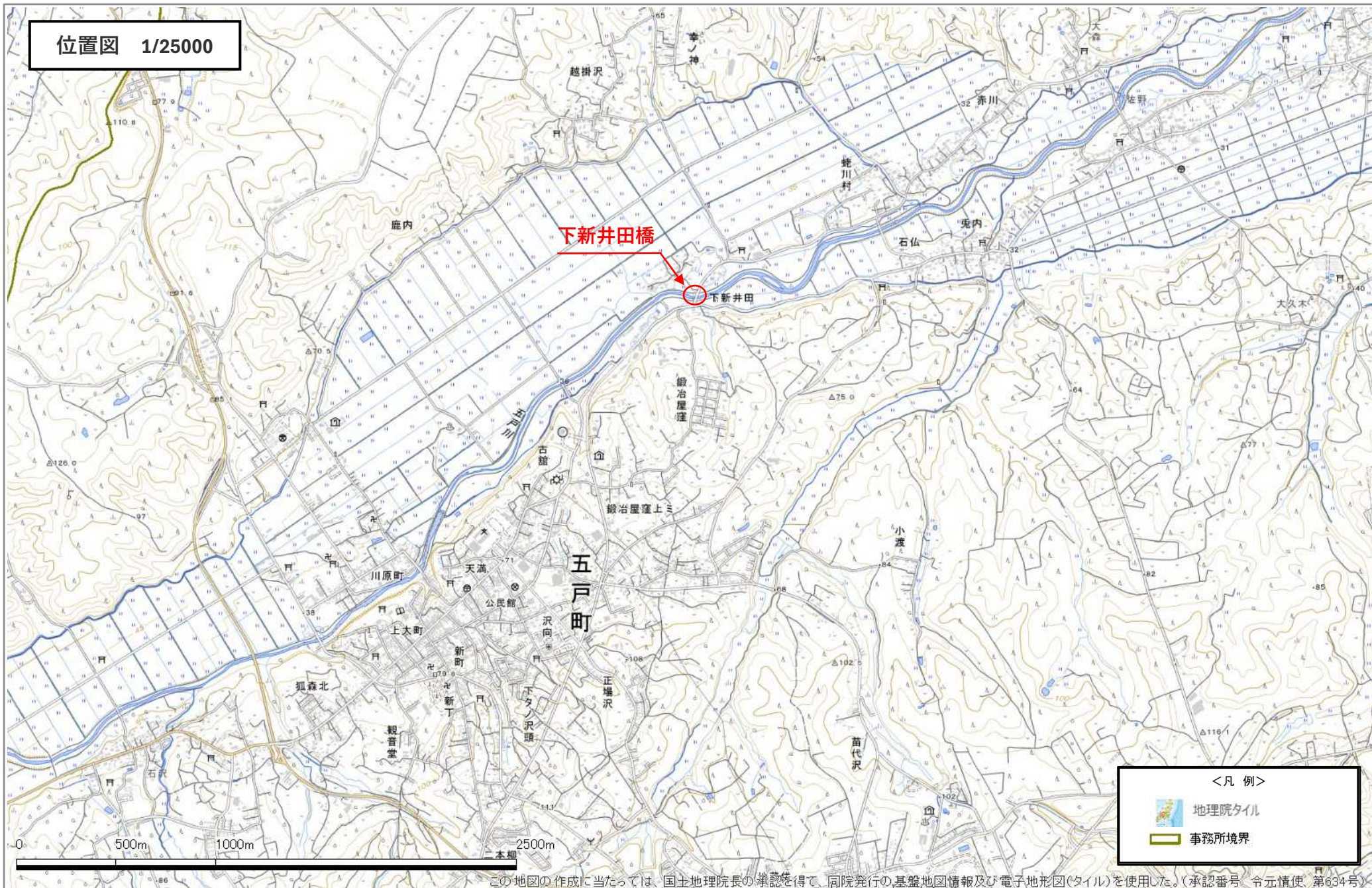


位置図 1/25000

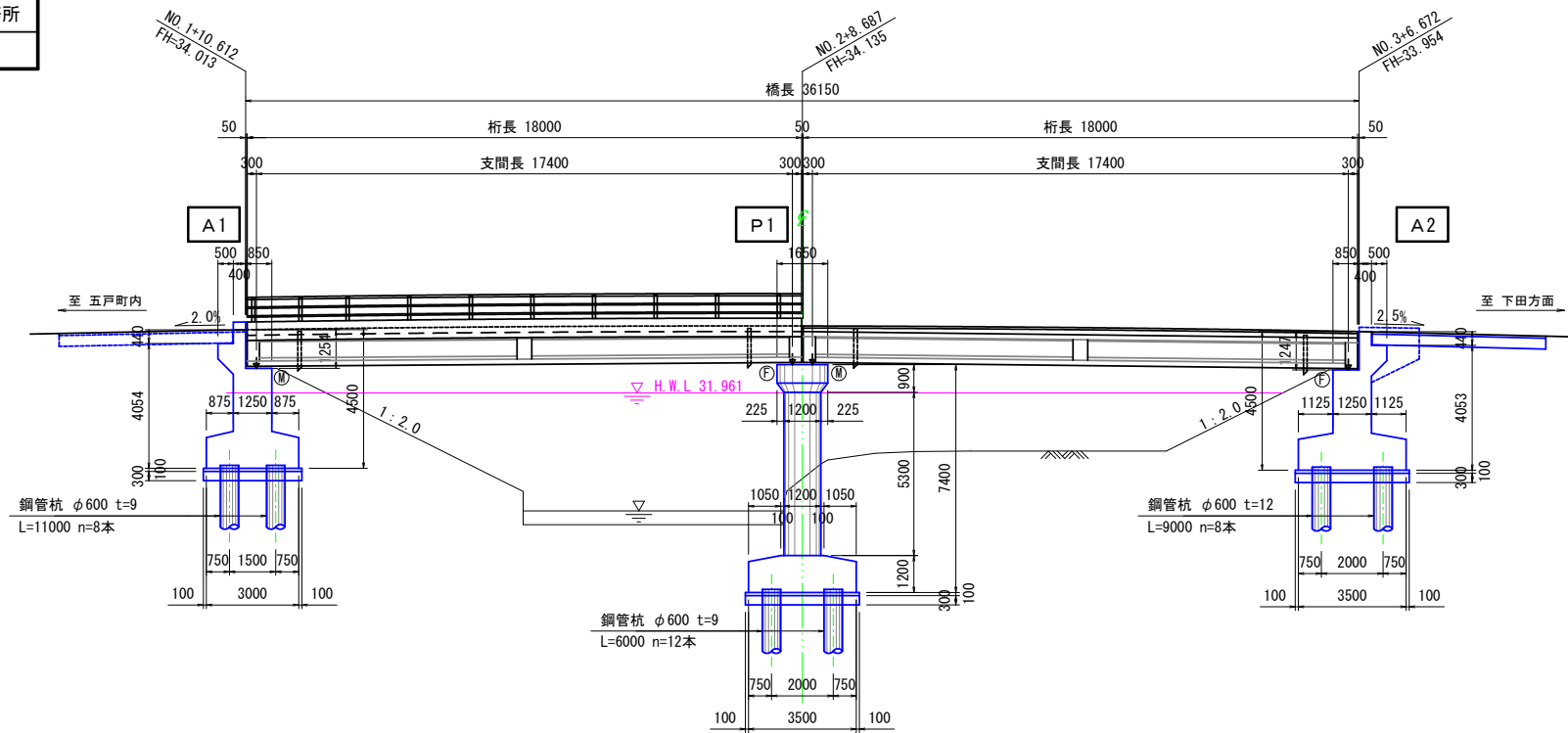


この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報及び電子地形図(タイル)を使用した。(承認番号 令元情使 第634号)

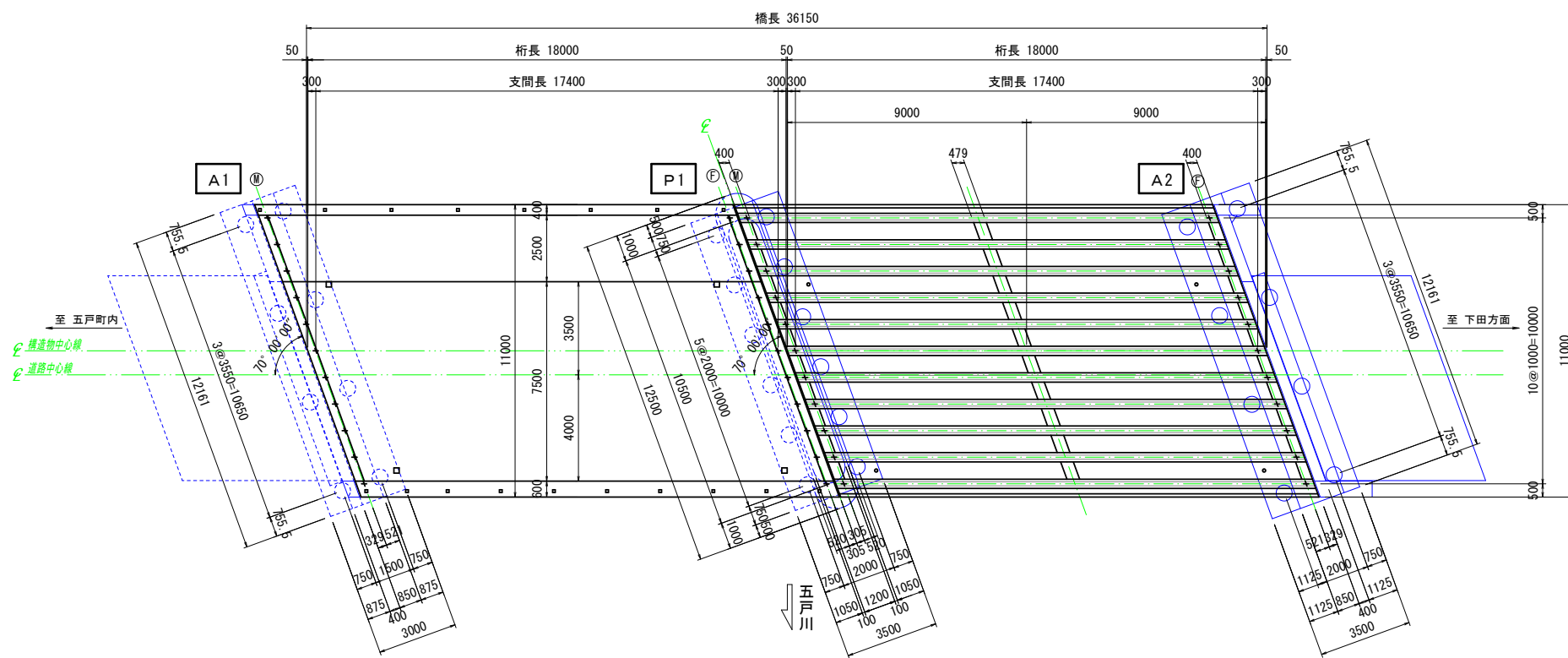
令和8年度 橋梁補修（下新井田橋）工事	
工事番号	メンテ第459号
路線名	五戸六戸線
施工箇所	三戸郡五戸町字花道川原 地内
橋梁一般図	縮尺 図示
図面番号	22 業中 1
青森県三八県土整備事務所	
青森県	

下新井田橋 橋梁一般図

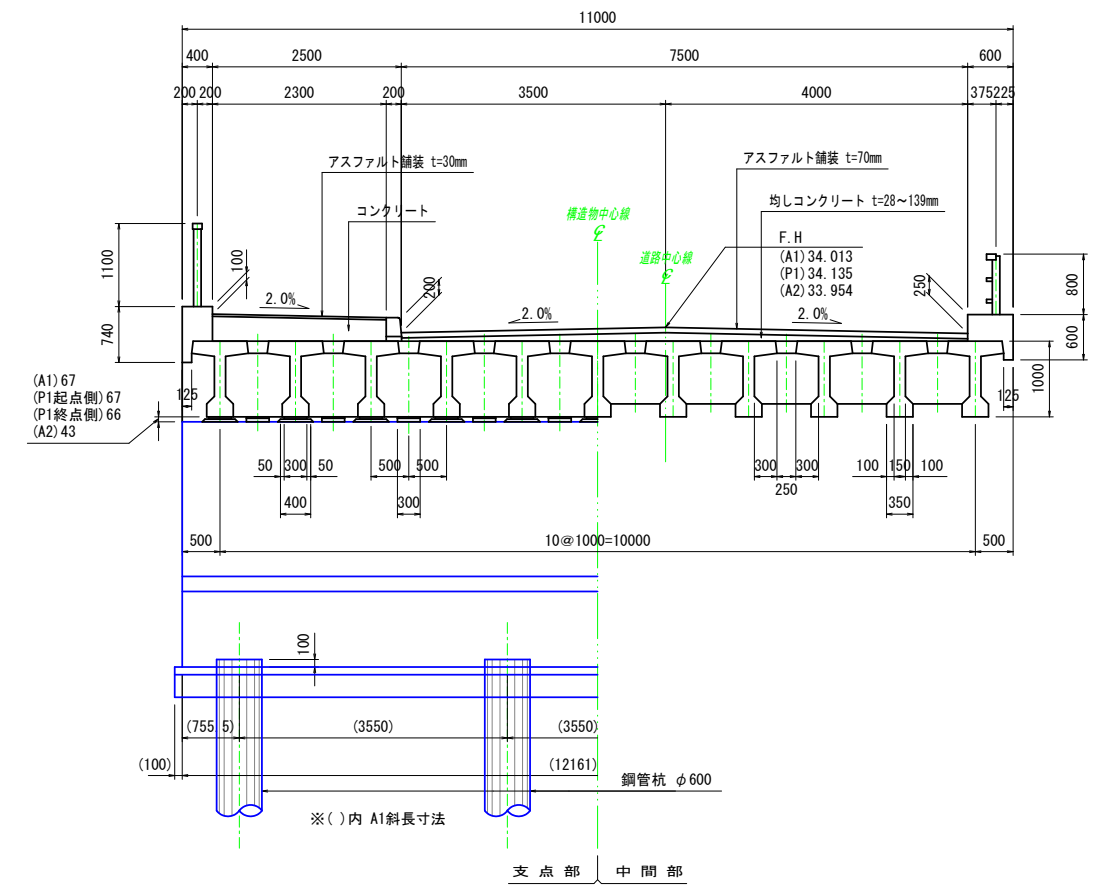
側面図 S=1:120



平面図 S=1:120



断面図 S=1:50



設計条件	
橋名	下新井田橋 (シモノイダバシ)
路線名	県道五戸六戸線
竣工	1985年9月
設計活荷重	T L-20
上部工形式	プレテンション単純T桁
橋長	36.15m
桁長	18.00m, 18.00m
支間長	17.40m, 17.40m
幅員	11.00m (全幅員)
舗装	車道: アスファルト舗装 t=70mm 歩道: アスファルト舗装 t=30mm
支承	ゴム支承
雪荷重	W=1kN/m ²
斜角	右70° 00' 00"
下部工形式	A1, A2: 逆T式橋台、P1: 壁式橋脚
基礎工形式	鋼管杭φ600 (橋台、橋脚)
適用示方書	道路橋示方書 共通編 (昭和55年) 道路橋示方書 コンクリート橋編 (昭和53年) 道路橋示方書 下部構造編 (昭和55年)

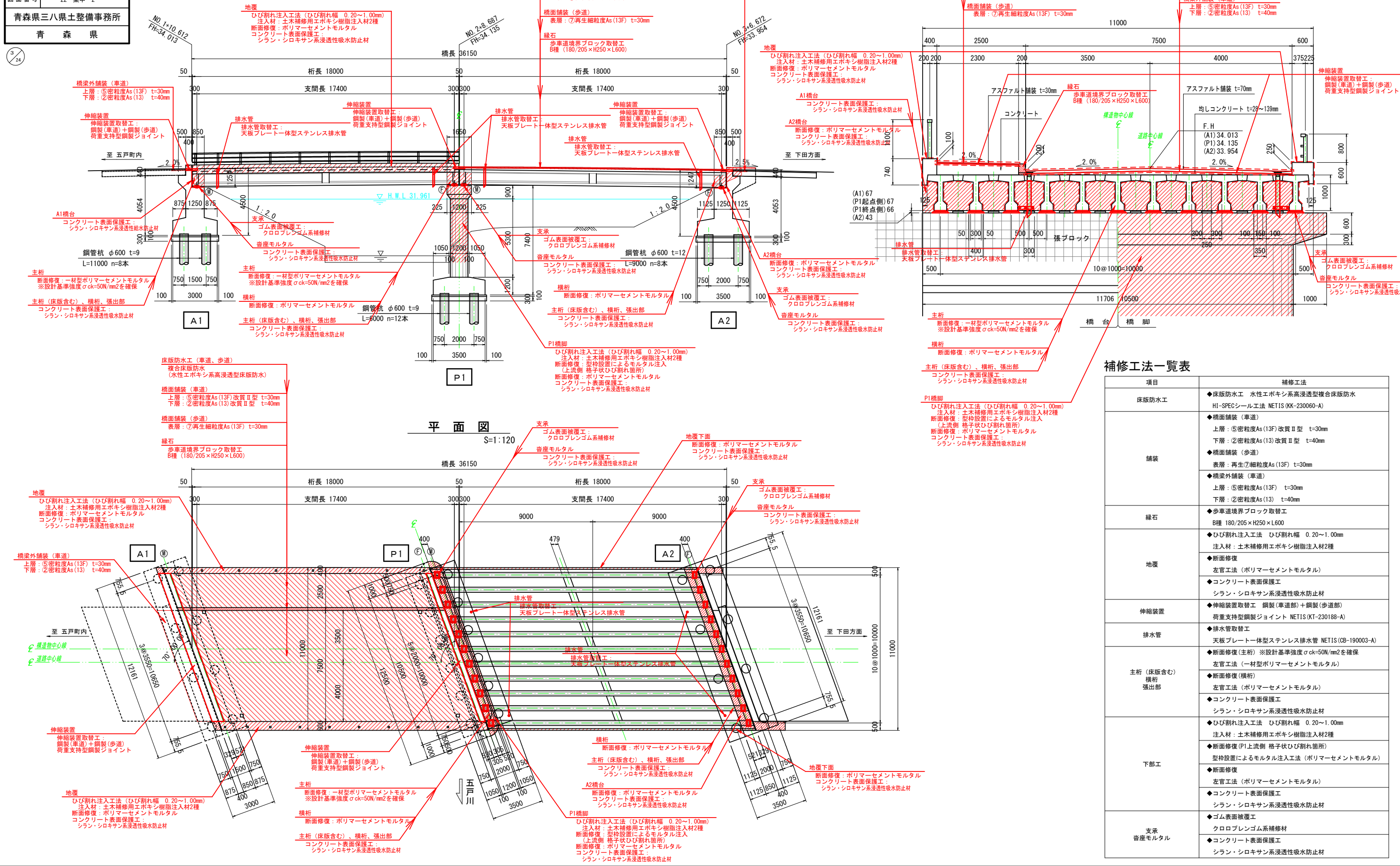
令和8年度 橋梁補修(下新井田橋) 工事	
工事番号	メンテ第459号
路線名	五戸六戸線
施工区	三戸郡五戸町花道川原 地内
補修工一般図	縮尺 図示
図面番号	22 葉中 2
青森県三八県土整備事務所	
青森県	

下新井田橋 補修工一般図

側面図 S=1:120

断面図 S=1:50

平面図 S=1:120



補修工法一覧表

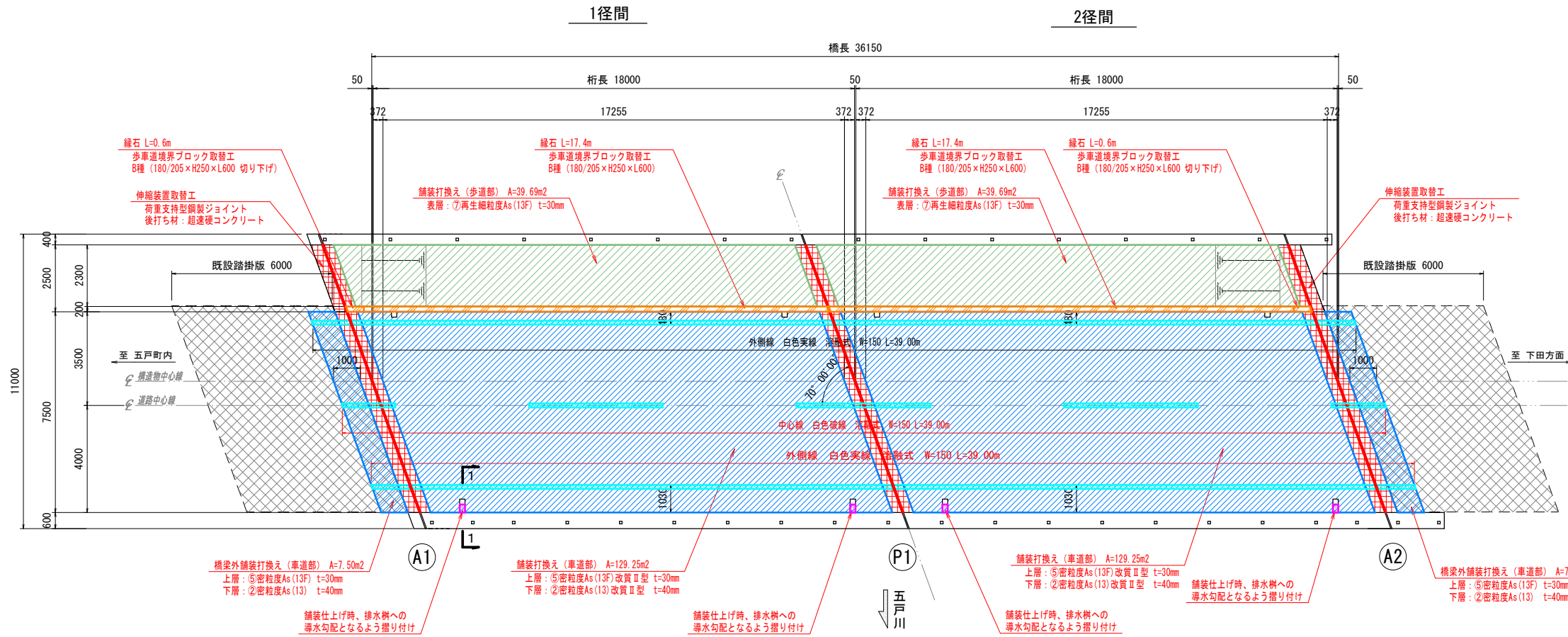
項目	補修工法
床版防水工	◆床版防水工 水性エポキシ系高浸透型複合床版防水 HI-SPECシール工法 NETIS(KK-230060-A)
舗装	◆橋面舗装(車道) 上層: ⑤密粒度As(13F)改質Ⅱ型 t=30mm 下層: ②密粒度As(13)改質Ⅱ型 t=40mm
	◆橋面舗装(歩道) 表層: ⑦再生細粒度As(13F) t=30mm
橋梁外舗装(車道)	◆橋梁外舗装(車道) 上層: ⑤密粒度As(13F) t=30mm 下層: ②密粒度As(13) t=40mm
	◆歩車道境界ブロック取替工 B種 180/205×H250×L600
地覆	◆ひび割れ注入工法 ひび割れ幅 0.20~1.00mm 注入材: 土木補修用エポキシ樹脂注入材2種
	◆断面修復 左官工法(ポリマーセメントモルタル) ◆コンクリート表面保護工 シラン・シロキサン系浸透性吸水防止材
伸縮装置	◆伸縮装置取替工 鋼製(車道部)+鋼製(歩道部) 荷重支持型鋼製ジョイント NETIS(KT-230188-A)
	◆排水管取替工 天板プレート一体型ステンレス排水管 NETIS(CB-190003-A)
主桁(床版含む) 横桁 張出部	◆断面修復(主桁) ※設計基準強度σck=50N/mm2を確保 左官工法(一材型ポリマーセメントモルタル)
	◆断面修復(横桁) 左官工法(ポリマーセメントモルタル) ◆コンクリート表面保護工 シラン・シロキサン系浸透性吸水防止材
下部工	◆ひび割れ注入工法 ひび割れ幅 0.20~1.00mm 注入材: 土木補修用エポキシ樹脂注入材2種
	◆断面修復(P1上流側 格子状ひび割れ箇所) 型枠設置によるモルタル注入工法(ポリマーセメントモルタル)
支承 資産モルタル	◆断面修復 左官工法(ポリマーセメントモルタル)
	◆コンクリート表面保護工 シラン・シロキサン系浸透性吸水防止材

令和8年度 橋梁補修（下新井田橋）工事	
工事番号	メンテ第459号
路線名	五戸六戸線
施工箇所	三戸郡五戸町字花道川原 地内
橋面補修工図（その1）	縮尺 図示
図面番号	22 葉中 3
青森県三八県土整備事務所	
青森県	

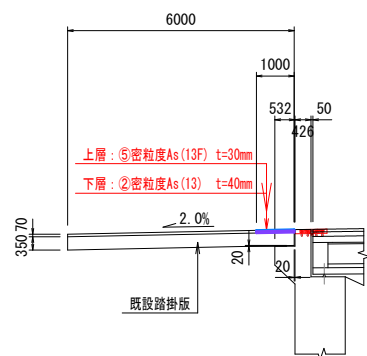
橋面補修工図（その1）

- 注記
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
 2. 補修工に当たり、寸法等は現地検測のうえ決定すること。
 3. 表記以外の損傷、劣化部が見られた場合は、発注者と協議の上で、補修対策範囲の変更を行うこと。

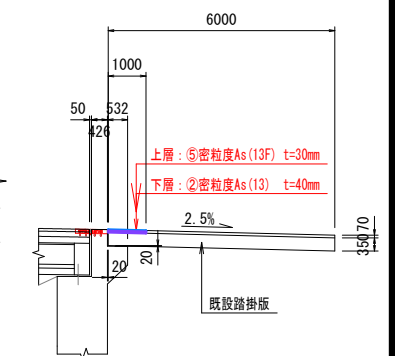
平面図
S=1:100



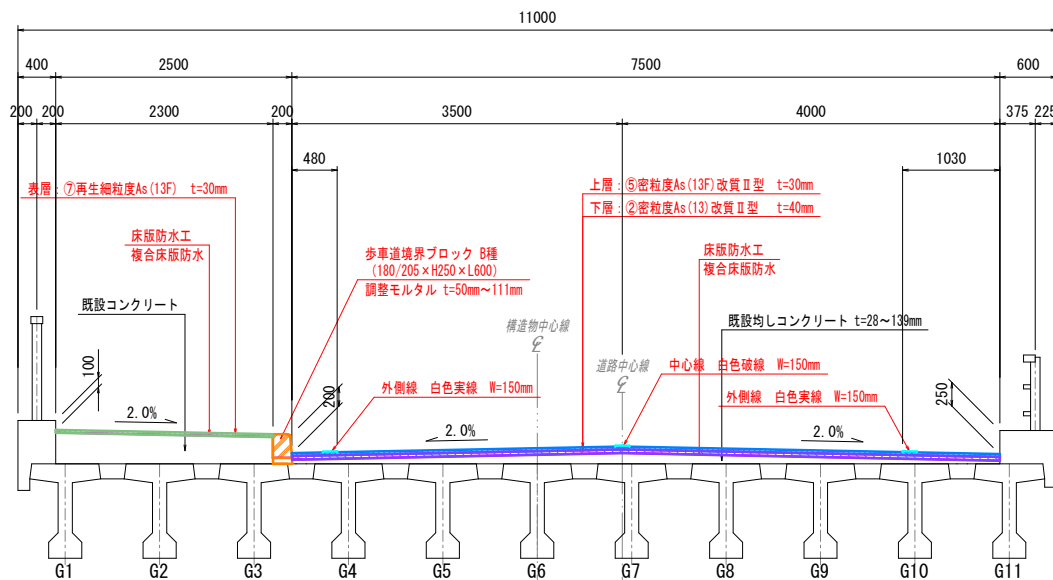
橋梁外舗装打換え側面図
(A1側) S=1:100



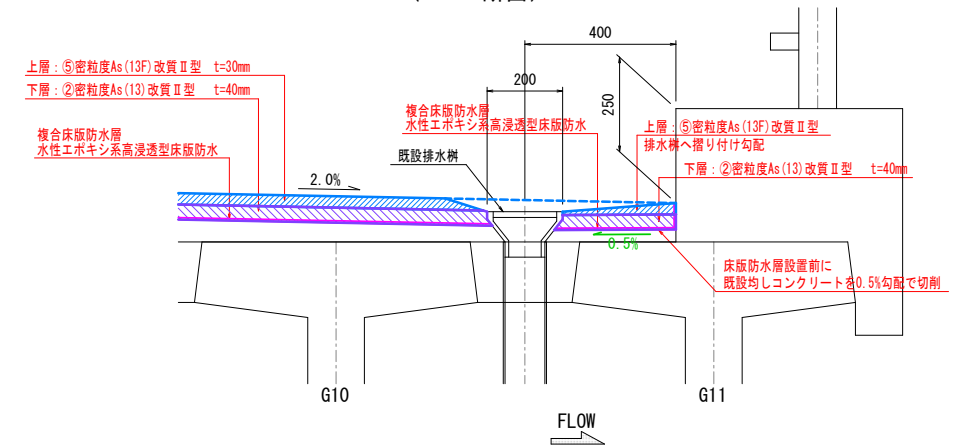
橋梁外舗装打換え側面図
(A2側) S=1:100



計画舗装断面図
S=1:40



下流側排水箇所勾配図
(1-1断面) S=1:10



数量表

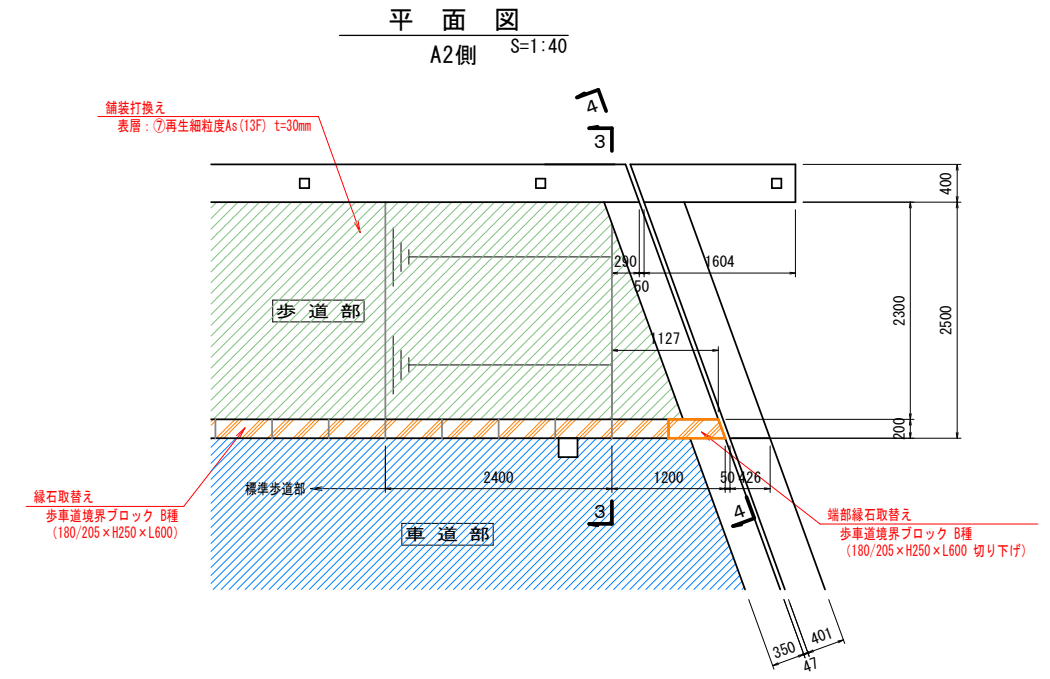
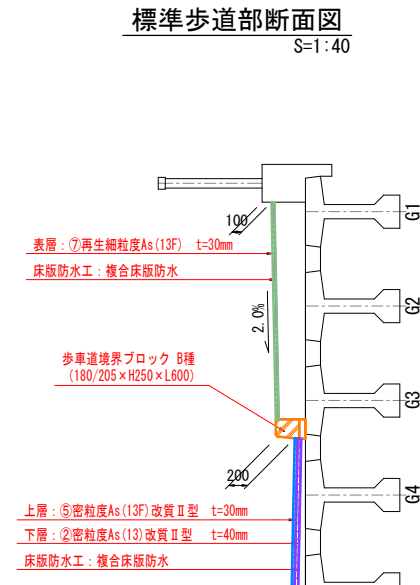
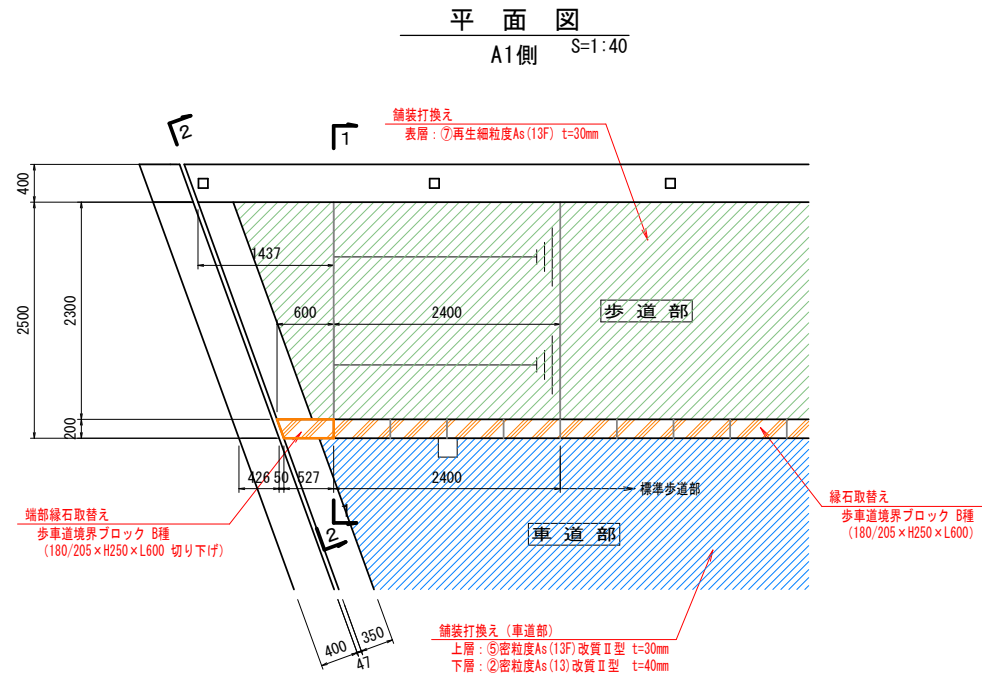
種別	細別	単位	数量	備考
アスファルト 舗装敷設面積	⑤密粒度As(13F)改質Ⅱ型 t=30mm (129.25+2)	m ²	258.5	橋面車道部上層
	②密粒度As(13)改質Ⅱ型 t=40mm (129.25+2)	m ²	258.5	橋面車道部下層
	⑦再生細粒度As(13F) t=30mm (39.69+2)	m ²	79.38	橋面歩道部
	⑤密粒度As(13F) t=30mm (7.50+2)	m ²	15.00	橋梁外車道部上層
区画線	②密粒度As(13) t=40mm (7.50+2)	m ²	15.00	橋梁外車道部下層
	白色実線 ペイント式(常温) W=150mm (39.00+2)	m	78.0	外側線
緑石	白色破線 ペイント式(加熱) W=150mm	m	39.0	中心線
	歩車道境界ブロックB種 180/205×H250×L600 (17.4+2)	m	34.8	
	歩車道境界ブロックB種 180/205×H250×L600 切り下付 (0.8+2)	m	1.2	A1側・A2側 端部
	調整モルタル (0.076+0.205+18.0+2)	m ³	0.56	平均厚さ t=76mm

令和8年度 橋梁補修（下新井田橋）工事	
工事番号	メンテ第459号
路線名	五戸六戸線
施工箇所	三戸郡五戸町字花道川原 地内
橋面補修工図（その2）	縮尺 図示
図面番号	22 葉中 4
青森県三八県土整備事務所	
青森県	

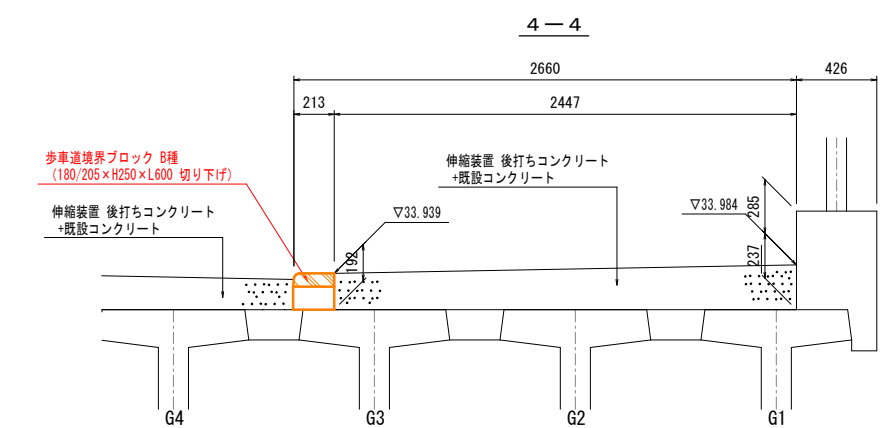
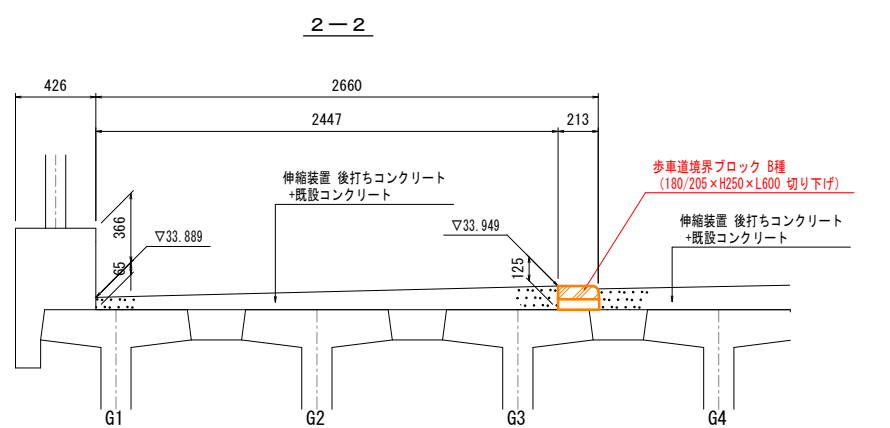
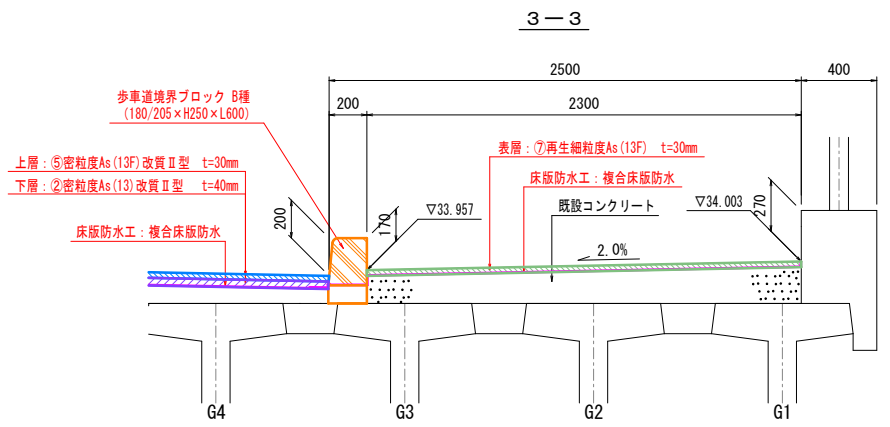
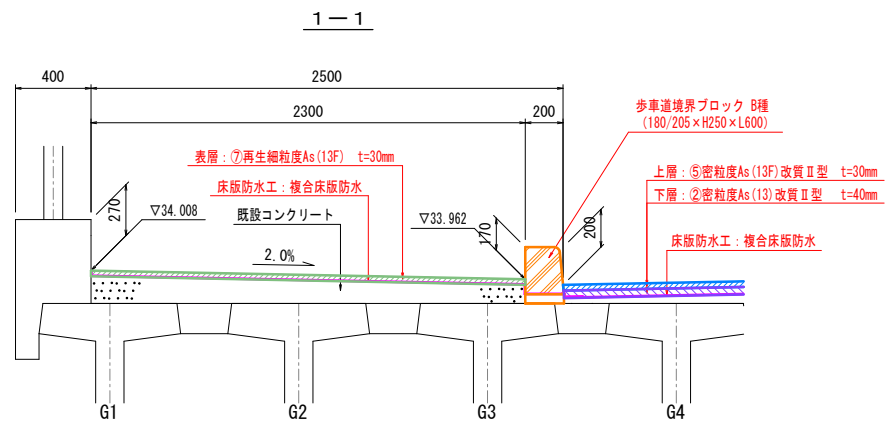
橋面補修工図（その2）

歩道切り下げ部詳細図

- 注記
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。施工時は既設均しコンクリートに合わせて舗装を敷設すること。
 2. 補修工事にあたり、寸法等は現地検測のうえ決定すること。
 3. 表記以外の損傷、劣化部が見られた場合は、発注者と協議の上で、補修対策範囲の変更を行うこと。



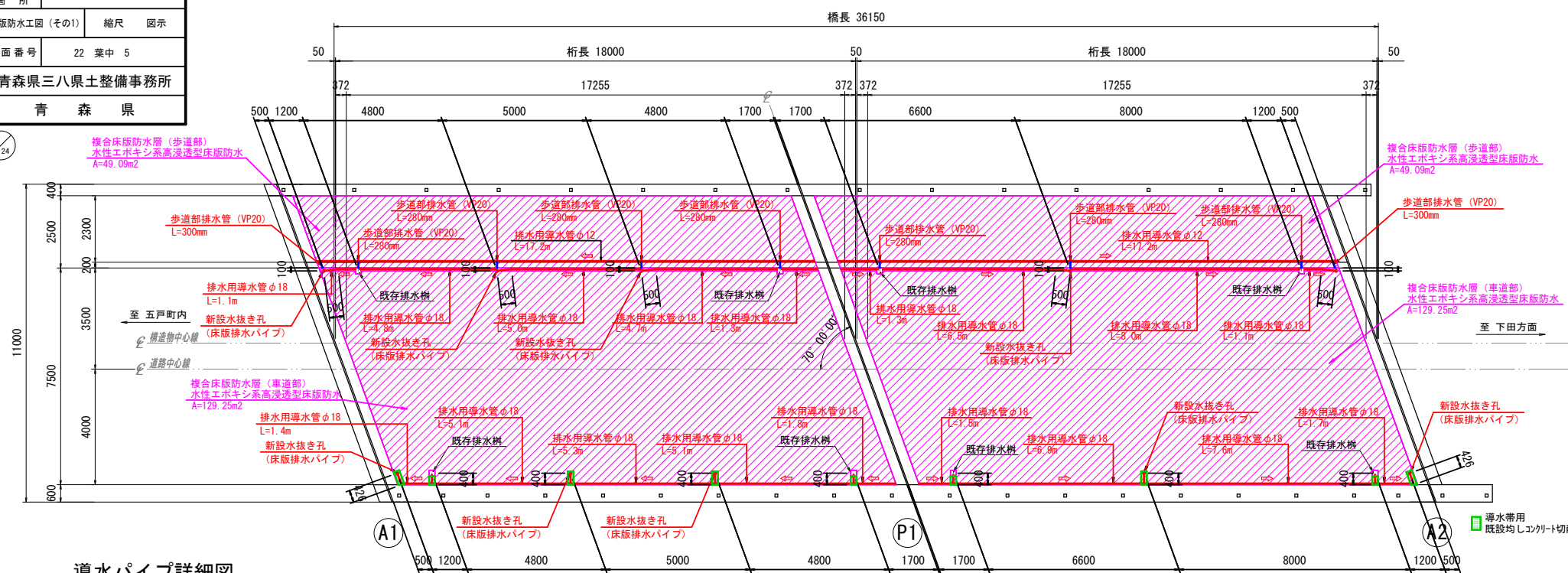
断面図 S=1:20



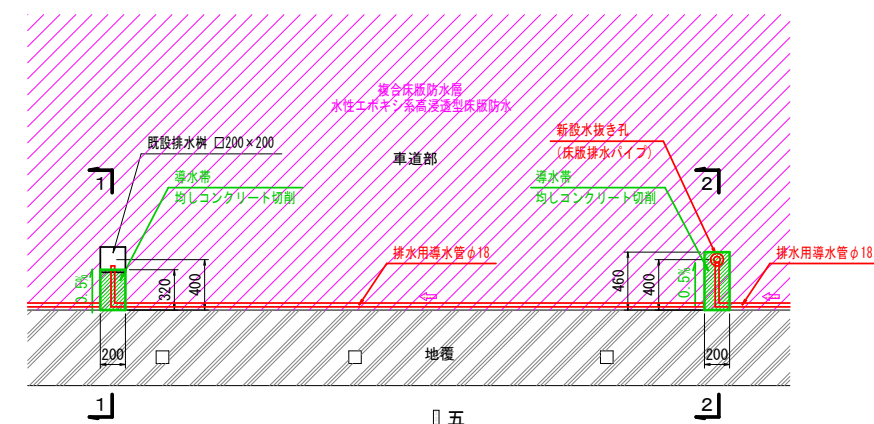
令和8年度 橋梁補修(下新井田橋) 工事	
工事番号	メンテ第459号
路線名	五戸六戸線
施工区	三戸郡五戸町字花道川原 地内
床版防水工図(その1)	縮尺 図示
図面番号	22 業中 5
青森県三八県土整備事務所	
青森県	

床版防水工図(その1)

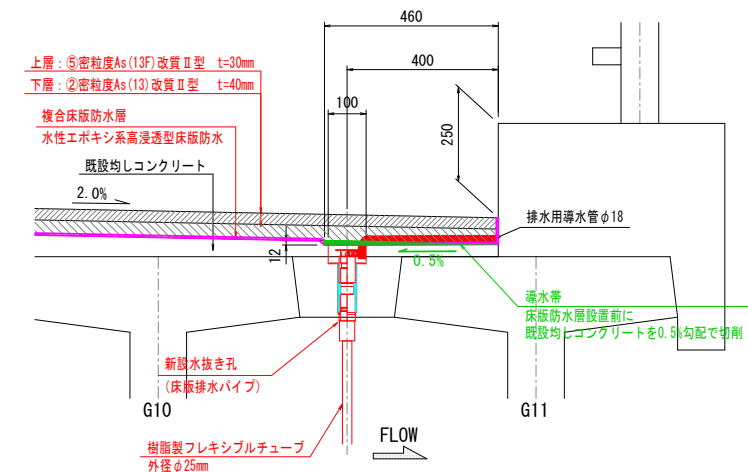
平面図
S=1:100



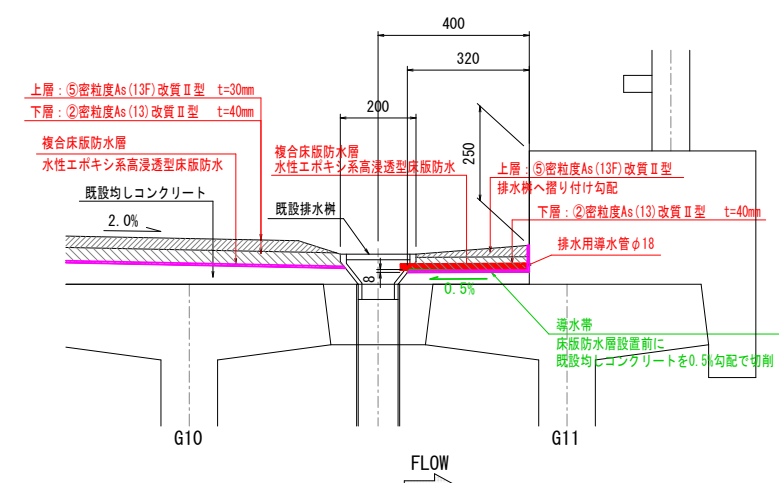
排水部導水帯(車道側路肩部)平面図
S=1:30



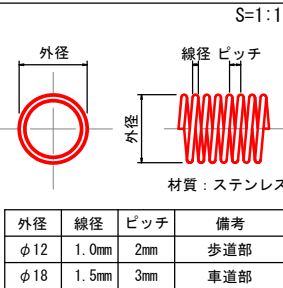
排水部導水帯(車道側路肩部)断面図
(1-1断面) S=1:10



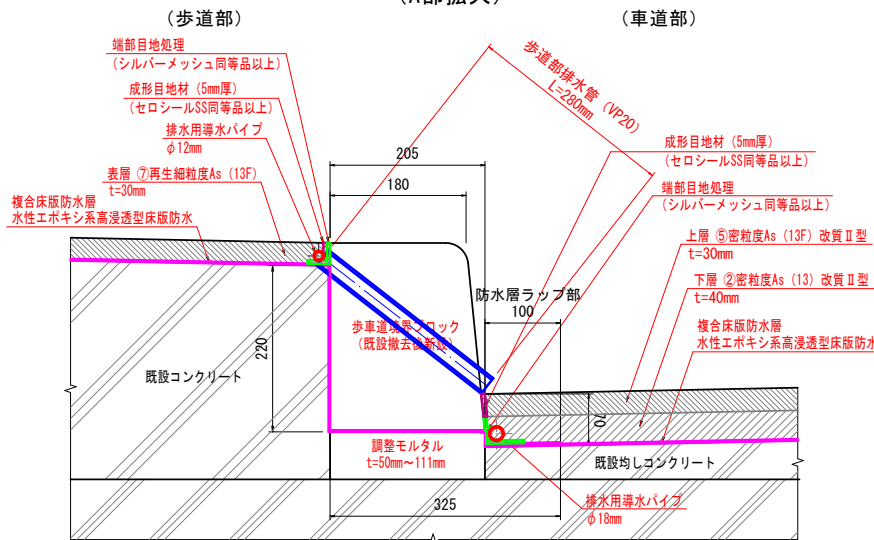
排水部導水帯(車道側路肩部)断面図
(2-2断面) S=1:10



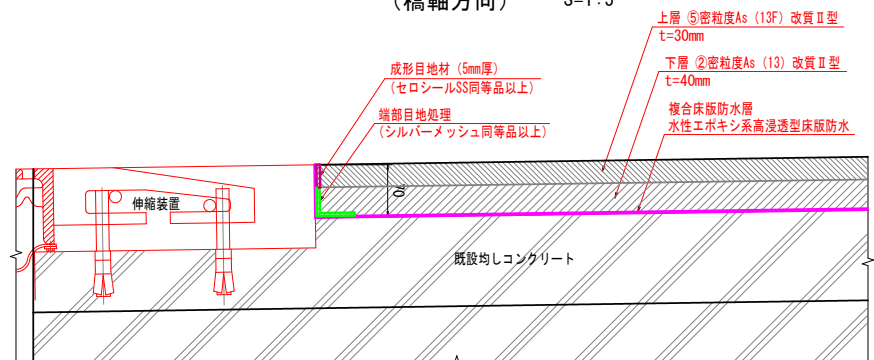
導水パイプ詳細図



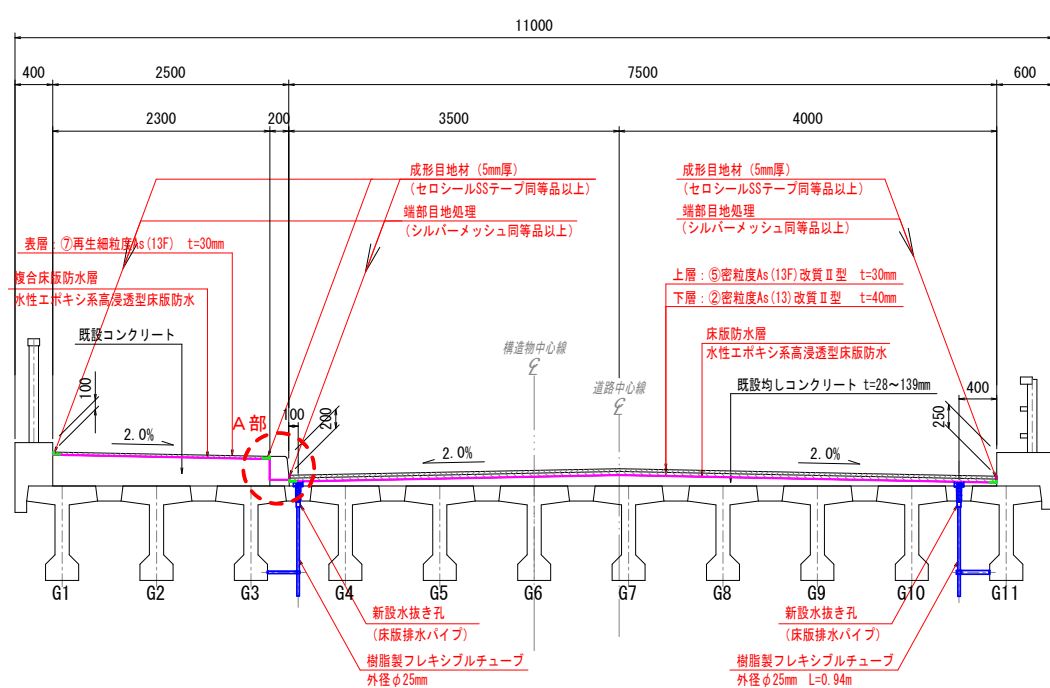
防水層端部処理詳細図 (A部拡大)



防水層端部処理詳細図 (橋軸方向)



断面図



注記
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
2. 補修工事にあたり、寸法等は現地検測のうえ決定すること。

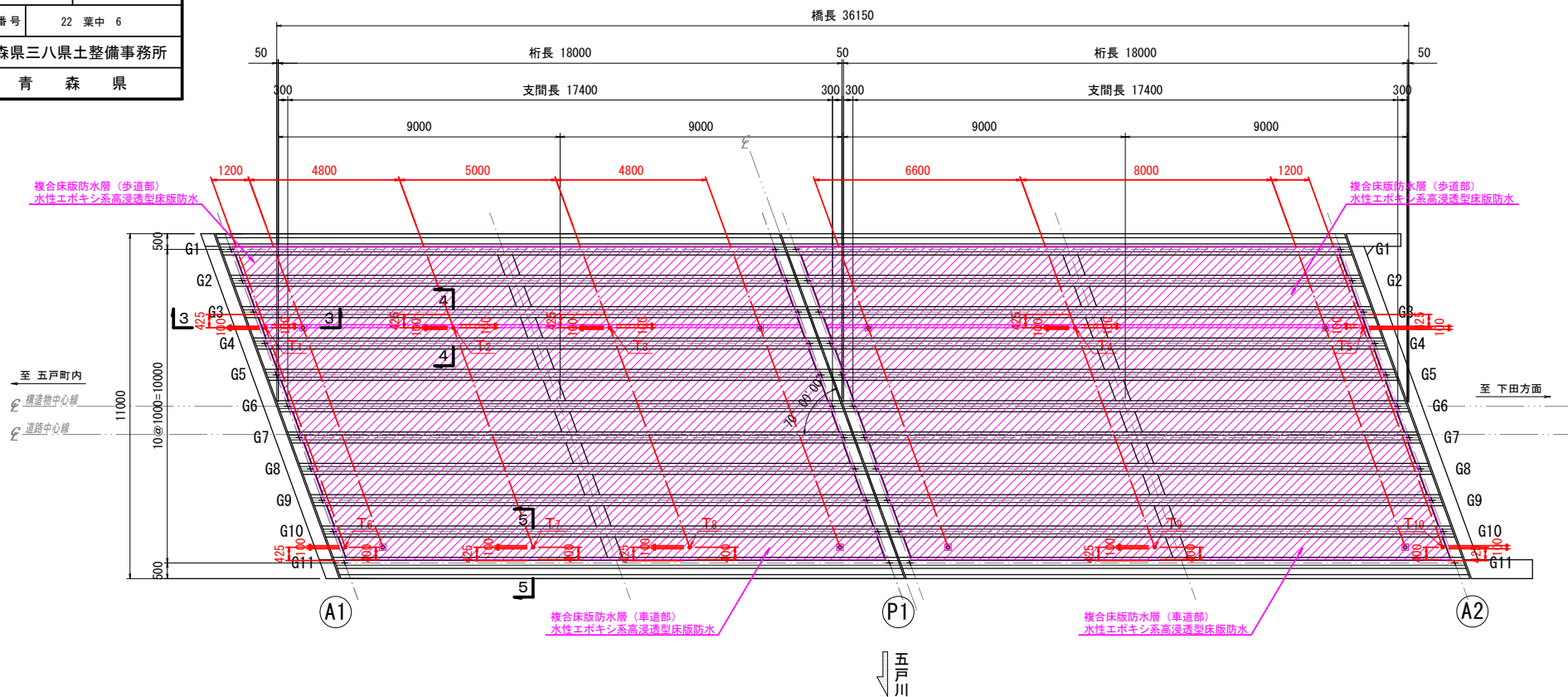
令和8年度 橋梁補修（下新井田橋）工事	
工事番号	メンテ第459号
路線名	五戸六戸線
施工所	三戸郡五戸町字花道川原 地内
床版防水工図（その1）	縮尺 図示
図面番号	22 業中 6
青森県三八県土整備事務所	
青森県	

床版防水工図（その2）

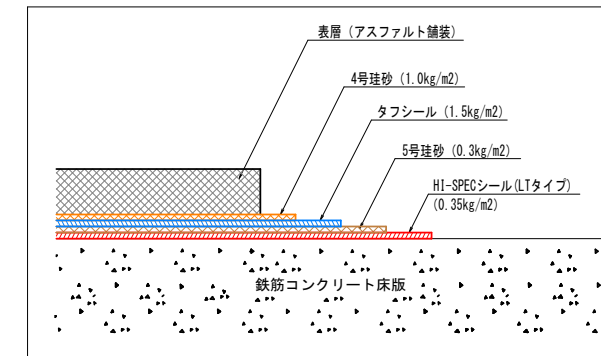
注記
 1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
 2. 補修工事にあたり、寸法等は現地検測のうえ決定すること。

新設排水孔設置位置図

S=1:100



床版防水工（水性エポキシ系高浸透型床版防水）

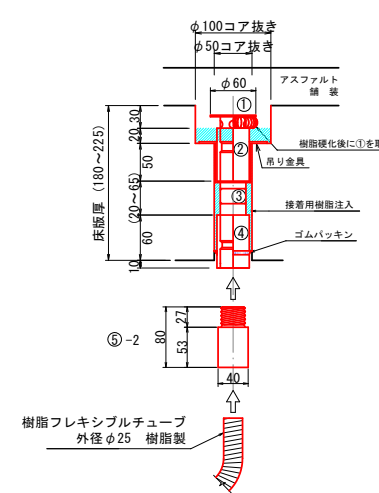


床版排水パイプ詳細図

S=1:5

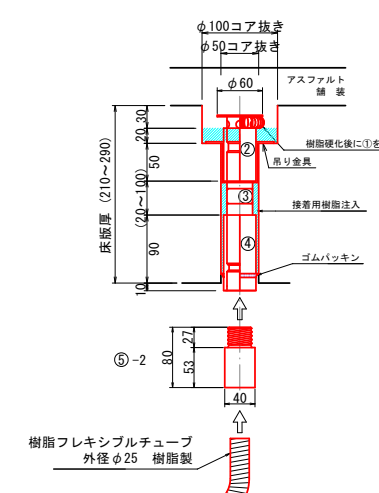
標準タイプ-1

対応床版厚180~225mm
 ※使用箇所 T1, T2, T3, T6, T7, T8, T9, T10



標準タイプ-2

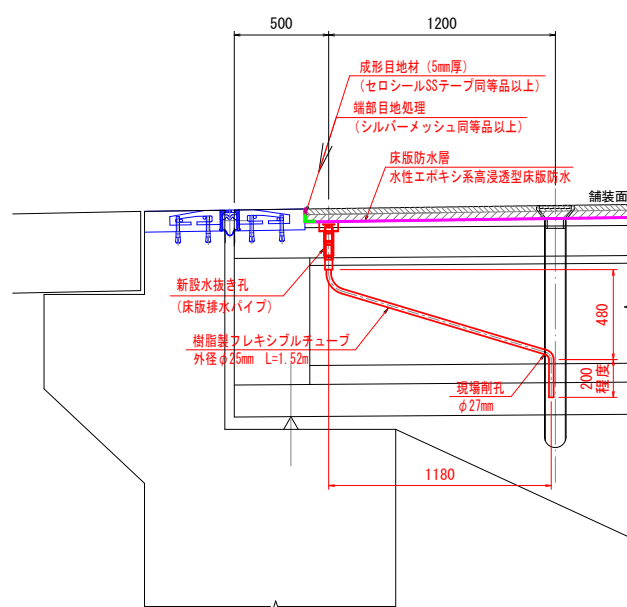
対応床版厚210~290mm
 ※使用箇所 T4, T5



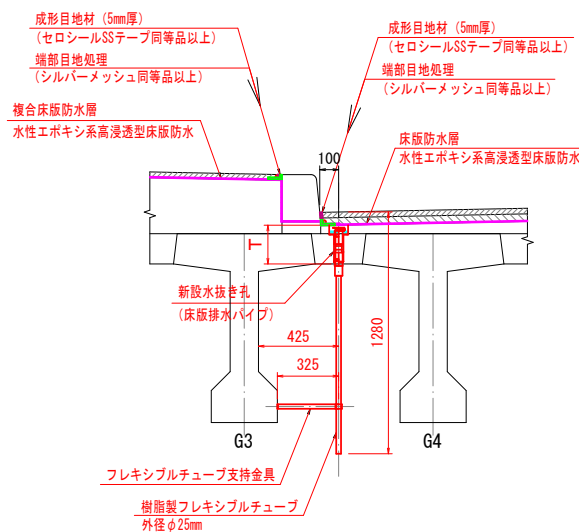
新設排水孔流末処理詳細図

S=1:20

橋梁端部 A1, A2側 (3-3断面)



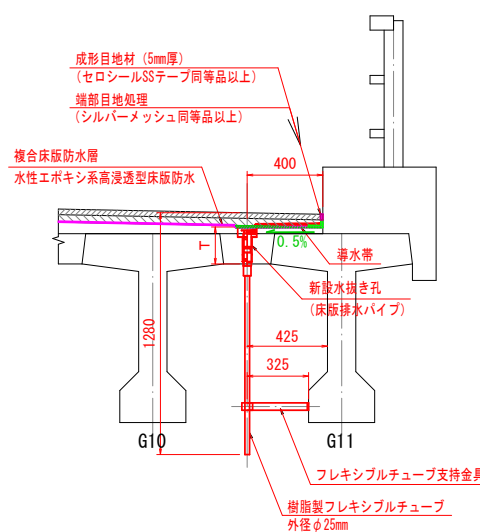
下流側 (4-4断面)



寸法表：上流側T部

	均しCo+間詰床版	樹脂製フレキシブルチューブ
T1	190mm	L = 1520mm
T2	202mm	L = 945mm
T3	206mm	L = 941mm
T4	236mm	L = 911mm
T5	251mm	L = 1520mm
計		L = 5837mm

下流側 (5-5断面)



寸法表：下流側T部

	均しCo+間詰床版	樹脂製フレキシブルチューブ
T6	221mm	L = 1520mm
T7	219mm	L = 928mm
T8	213mm	L = 934mm
T9	198mm	L = 949mm
T10	191mm	L = 1520mm
計		L = 5837mm

※排水管接続箇所 T1, T5, T6, T10 には「TSあとからフレキ」を使用する。（詳細は排水管補修工図に記載）

<部 材 表>

床版排水パイプ（既設用※標準タイプ-1）

部 材 名	寸 法	備 考
本体構成部品 ①	φ34.0 x 35	鋼管（亜鉛メッキ仕上げ）キャップ付（φ60 x 2.3t）
本体構成部品 ②	φ42.7 x 70	鋼管（亜鉛メッキ仕上げ）
本体構成部品 ③	φ34.0 x 105	鋼管（亜鉛メッキ仕上げ）
本体構成部品 ④	φ42.7 x 70	鋼管（亜鉛メッキ仕上げ）
吊り金具		普通鉄板
ゴムパッキン		普通鉄板
目詰り防止フィルター		スプリングフィルター（SUS304）

材質：STKM-13A-SH 表面処理：HDZ-35

床版排水パイプ（既設用※標準タイプ-2）

部 材 名	寸 法	備 考
本体構成部品 ①	φ34.0 x 35	鋼管（亜鉛メッキ仕上げ）キャップ付（φ60 x 2.3t）
本体構成部品 ②	φ42.7 x 70	鋼管（亜鉛メッキ仕上げ）
本体構成部品 ③	φ34.0 x 140	鋼管（亜鉛メッキ仕上げ）
本体構成部品 ④	φ42.7 x 100	鋼管（亜鉛メッキ仕上げ）
吊り金具		普通鉄板
ゴムパッキン		普通鉄板
目詰り防止フィルター		スプリングフィルター（SUS304）

材質：STKM-13A-SH 表面処理：HDZ-35

フレキシブル管（樹脂タイプ）

<樹脂タイプ>			
部 材 名	寸 法	備 考	
本体構成部品 ⑤-2	40.0 x 80	樹脂製	
樹脂製フレキシブルチューブ	外径φ25	樹脂製	

数量表

種 別	細 別	単 位	数 量	備 考
床版防水工	水性エポキシ系高浸透型床版防水 (129.25x2)	m2	258.5	車道部
	水性エポキシ系高浸透型床版防水 (49.09x2)	m2	98.2	歩道部
床版排水パイプ	φ43（標準タイプ-1）	個	8	T1, T2, T3, T6, T7, T8, T9, T10
	φ43（標準タイプ-2）	個	2	T4, T5
コンクリートコア削孔	φ100 x 50mm	箇所	10	床版排水パイプ用
	φ50 x (50mm以上200mm未満)	箇所	3	〃
フレキシブル管	φ25 (S.94+5.85)	m	11.7	床版排水パイプ取付
	TSあとからフレキ SUS304 φ152用	個	4	排水管接続部用
現場削孔	φ20（排水導水パイプ用）、φ27（フレキシブル管用）	箇所	16	排水樹、排水管
	シルバーメッシュ同等品以上 (17.255x4+7.981x4)	m	100.9	車道部
端部防水処理	シルバーメッシュ同等品以上 (17.255x4+2.448x4)	m	78.8	歩道部
	セロシールSS同等品以上	m	100.9	車道部
排水用導水管	φ18	m	70.8	車道部
	φ12	m	34.4	歩道部
歩道部排水管	VP20 (φ.280x4)	m	2.6	歩道部

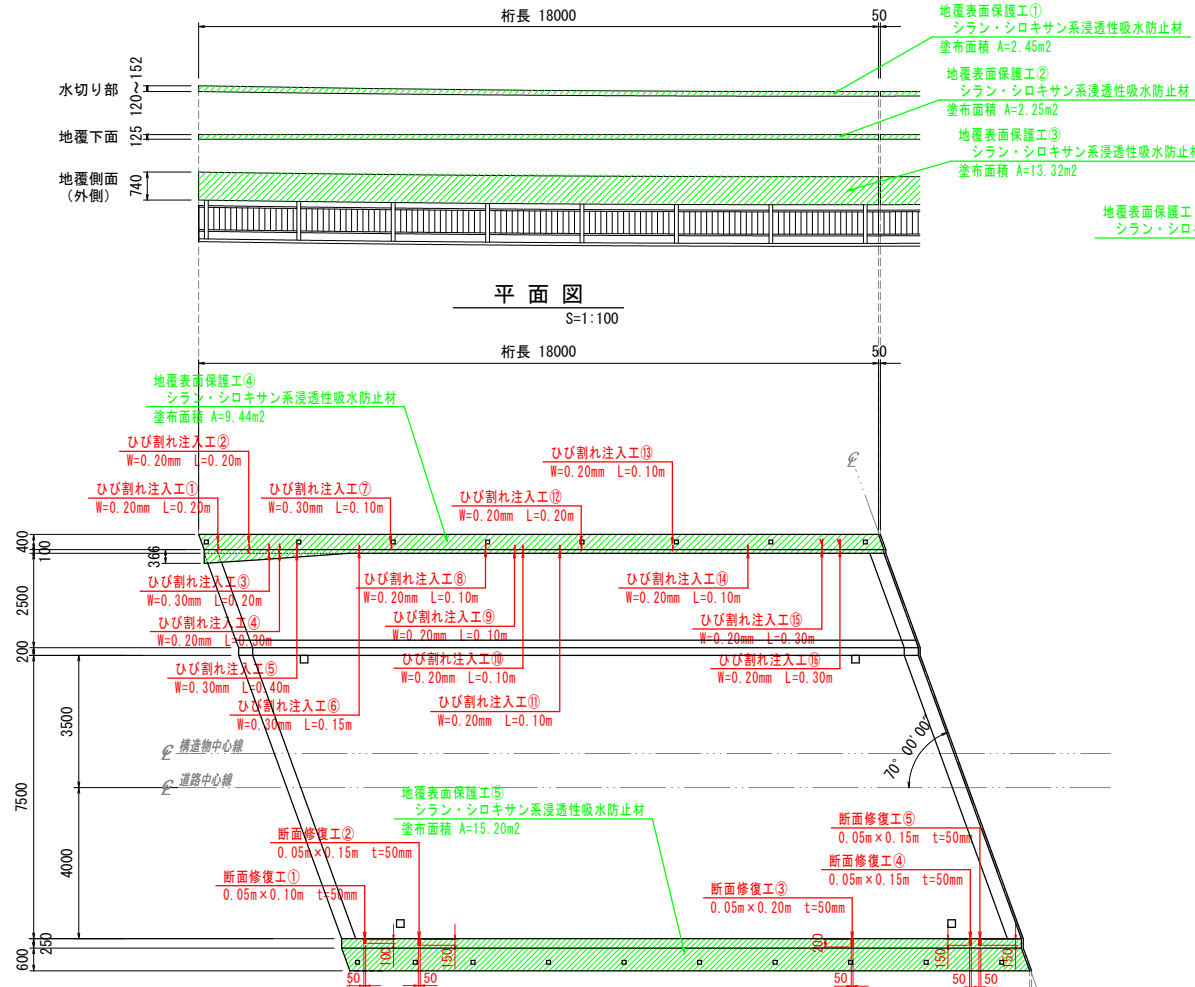
令和8年度 橋梁補修(下新井田橋) 工事	
工事番号	メンテ第459号
路線名	五戸六戸線
施工箇所	三戸郡五戸町字花道川原 地内
地覆補修工図(その1)	縮尺 図示
図面番号	22 葉中 7
青森県三八県土整備事務所	
青森県	

地覆補修工図(その1)

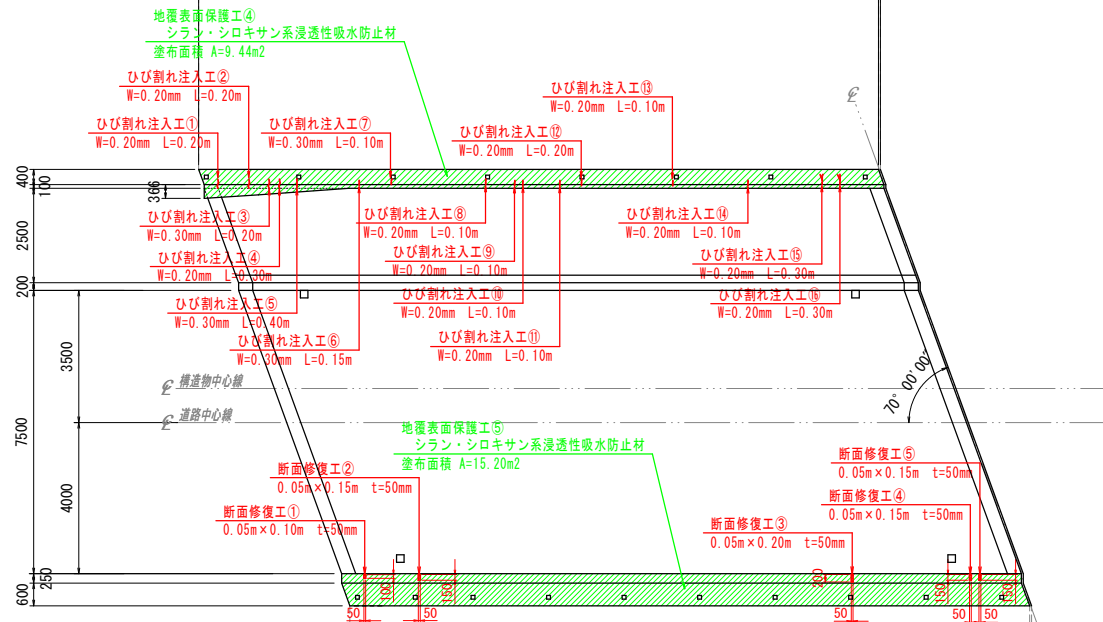
(A1~P1)

- 注記
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
 2. 補修工事にあたり、寸法等は現地検測のうえ決定すること。
 3. コンクリートの脆弱部は確実にはつきり落して修復を行うこと。
 4. 表記以外の損傷、劣化部が見られた場合は、発注者と協議の上で、補修対策範囲の変更を行うこと。

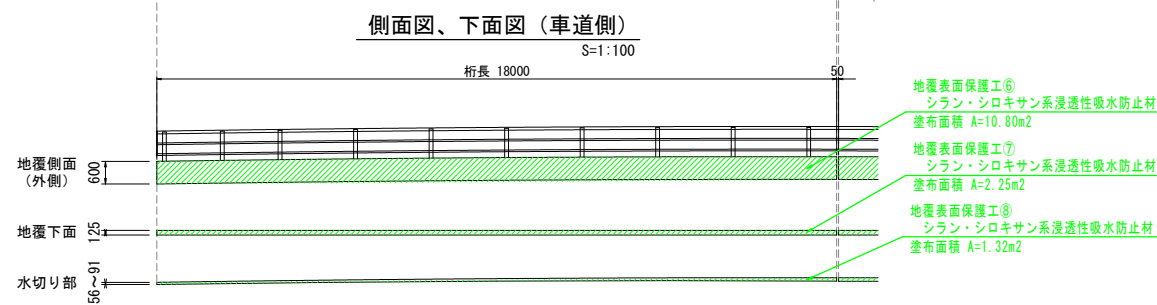
側面図、下面図(歩道側)
S=1:100



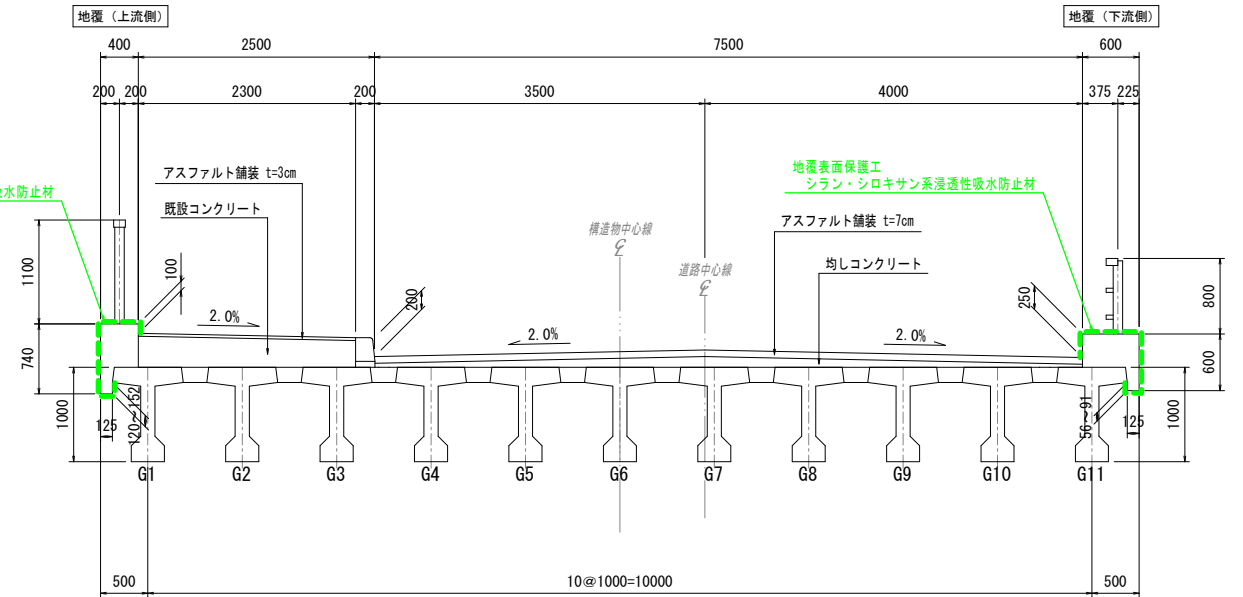
平面図
S=1:100



側面図、下面図(車道側)
S=1:100



断面図
S=1:40



ひび割れ補修工 数量表

工法	場所	幅	寸法	数量	場所	幅	寸法	数量			
低圧低速注入工法	上流側地覆	①	0.20 mm	L=0.20 m	0.20 m	上流側地覆	⑪	0.20 mm	L=0.10 m	0.10 m	
		②	0.20 mm	L=0.20 m	0.20 m		⑫	0.20 mm	L=0.20 m	0.20 m	
		③	0.30 mm	L=0.20 m	0.20 m		⑬	0.20 mm	L=0.10 m	0.10 m	
		④	0.20 mm	L=0.30 m	0.30 m		⑭	0.20 mm	L=0.10 m	0.10 m	
		⑤	0.30 mm	L=0.40 m	0.40 m		⑮	0.20 mm	L=0.30 m	0.30 m	
		⑥	0.30 mm	L=0.15 m	0.15 m						
		⑦	0.30 mm	L=0.10 m	0.10 m						
		⑧	0.20 mm	L=0.10 m	0.10 m						
		⑨	0.20 mm	L=0.10 m	0.10 m						
		⑩	0.20 mm	L=0.10 m	0.10 m						
		平均ひび割れ幅						0.23 mm	小計=	2.95 m	

断面修復工 数量表

(ポリマーセメントモルタル)							
工法	場所	寸法(m)	面積	平均深さ	数量	備考	
左官工法	上流側地覆	①	0.05 x 0.10	0.005 m ²	0.05 m	0.00025 m ³	はく離・鉄筋露出
		②	0.05 x 0.15	0.008 m ²	0.05 m	0.00038 m ³	はく離・鉄筋露出
		③	0.05 x 0.20	0.010 m ²	0.05 m	0.00050 m ³	はく離・鉄筋露出
		④	0.05 x 0.15	0.008 m ²	0.05 m	0.00038 m ³	はく離・鉄筋露出
		⑤	0.05 x 0.15	0.008 m ²	0.05 m	0.00038 m ³	はく離・鉄筋露出
小計= 0.00189 m ³							

施工箇所:

表面含浸工材料表

工種	仕様
表面含浸工	シラン・シロキサン系浸透性吸水防止材 (標準使用量0.2kg/m ²)

表面含浸材の施工仕様例

工程	標準使用量(kg/m ²)	施工方法	塗重ねの工程間隔
素地調整・下地処理	別途	-	-
下地の確認および清掃	別途	-	-
1 シラン・シロキサン系浸透性吸水防止材	0.20	吹付け、ローラー刷毛塗り	基本養生時間24時間程度

表面保護工 数量表

工法	箇所	寸法	数量
表面含浸工 (シラン・シロキサン系浸透性吸水防止材)	上流側地覆	① + ② + ③ + ④	2.45 + 2.25 + 13.32 + 9.44 = 27.46 m ²
	下流側地覆	⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧	15.20 + 10.80 + 2.25 + 1.32 = 29.57 m ²
	小計=		57.03 m ²

施工箇所:

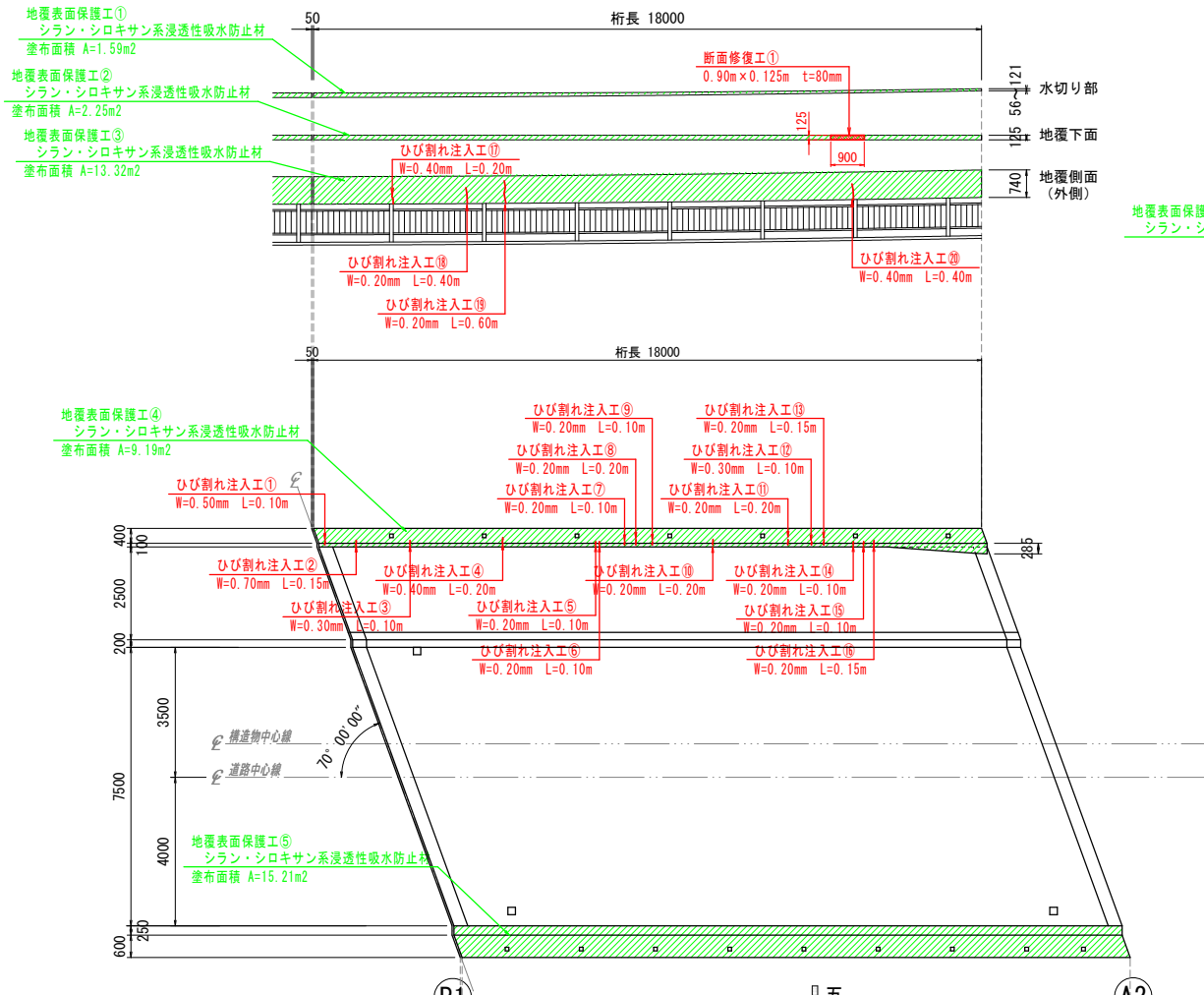
ひび割れ注入工法	表面保護工	断面修復工(左官工法)
<p>(ひび割れ幅 0.2mm 以上 1.0mm 未満) (注入圧力0.4MPa以下の低圧低速注入工法)</p> <p>ゴム加圧式器具 (エポキシ樹脂注入)</p> <p>インジェクター ゴム注入式</p> <p>取付けパイプ</p> <p>シール材</p> <p>パイプ間隔25cm程度</p> <p>ひび割れ</p> <p>注入パイプ</p>	<p>下地処理</p> <p>シラン・シロキサン系浸透性吸水防止材塗布 (0.20 kg/m²×1回)</p>	<p>鉄筋防錆処理 (※鉄筋露出が確認される場合)</p> <p>エポキシ樹脂系接着材塗布</p> <p>ポリマーセメントモルタル コテ塗り</p> <p>カットライン</p>

令和8年度 橋梁補修(下新井田橋) 工事	
工事番号	メンテ第459号
路線名	五戸六戸線
施工箇所	三戸郡五戸町字花道川原 地内
地覆補修工図(その2)	縮尺 図示
図面番号	22 葉中 8
青森県三八県土整備事務所	
青森県	

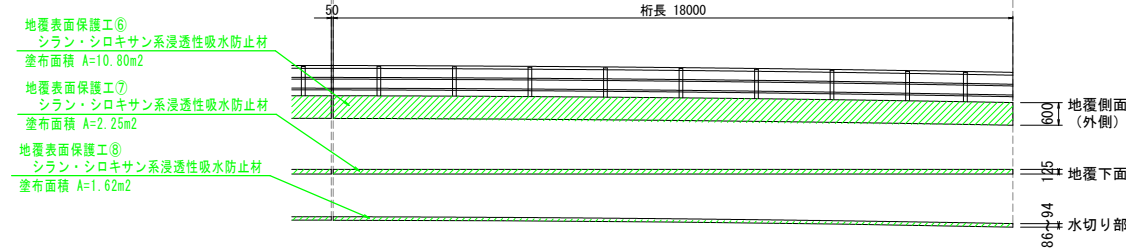
地覆補修工図(その2) (P1~A2)

- 注記
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
 2. 補修工事にあたり、寸法等は現地検測のうえ決定すること。
 3. コンクリートの脆弱部は確実にはつきり落して修復を行うこと。
 4. 表記以外の損傷、劣化部が見られた場合は、発注者と協議の上で、補修対策範囲の変更を行うこと。

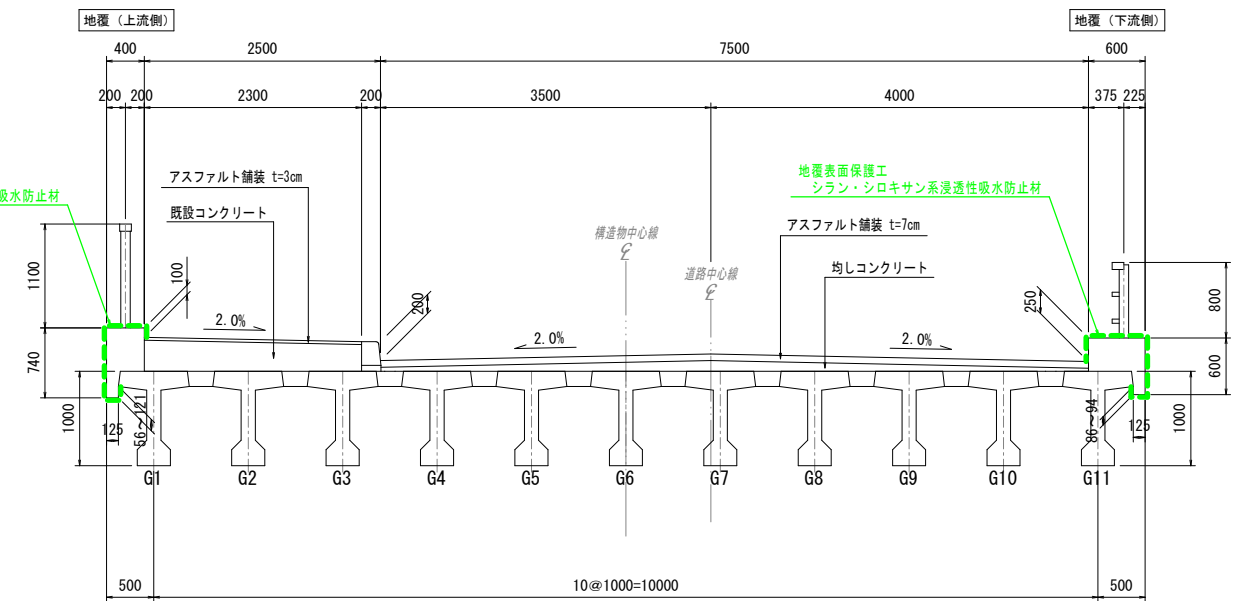
側面図、下面図(歩道側)
S=1:100



側面図、下面図(車道側)
S=1:100



断面図
S=1:40



ひび割れ補修工 数量表

工法	場所	幅	寸法	数量	場所	幅	寸法	数量
低圧低速注入工法	上流側地覆	①	0.50 mm L=0.10 m	0.10 m	上流側地覆	⑪	0.20 mm L=0.20 m	0.20 m
		②	0.70 mm L=0.15 m	0.15 m		⑫	0.30 mm L=0.10 m	0.10 m
		③	0.30 mm L=0.10 m	0.10 m		⑬	0.20 mm L=0.15 m	0.15 m
		④	0.40 mm L=0.20 m	0.20 m		⑭	0.40 mm L=0.10 m	0.10 m
		⑤	0.20 mm L=0.10 m	0.10 m		⑮	0.20 mm L=0.10 m	0.10 m
		⑥	0.20 mm L=0.10 m	0.10 m		⑯	0.20 mm L=0.15 m	0.15 m
		⑦	0.20 mm L=0.10 m	0.10 m		⑰	0.40 mm L=0.20 m	0.20 m
		⑧	0.20 mm L=0.20 m	0.20 m		⑱	0.20 mm L=0.40 m	0.40 m
		⑨	0.20 mm L=0.10 m	0.10 m		⑲	0.20 mm L=0.60 m	0.60 m
		⑩	0.20 mm L=0.20 m	0.20 m		⑳	0.40 mm L=0.40 m	0.40 m
			平均ひび割れ幅	0.28 mm	小計=			3.75 m
			1径間+2径間	平均ひび割れ幅	0.26 mm			合計= 6.70 m

断面修復工 数量表

工法	場所	寸法(m)	面積	平均深さ	数量	備考	
左官工法	上流側地覆	①	0.90×0.125	0.113 m ²	0.08 m	0.00900 m ³	はく離・鉄筋露出
						小計=	0.00900 m ³
				1径間+2径間	合計=	0.01089 m ³	

施工箇所:

表面含浸工材料表

工種	仕様
表面含浸工	シリラン・シロキサン系浸透性吸水防止材 (標準使用量0.2kg/m ²)

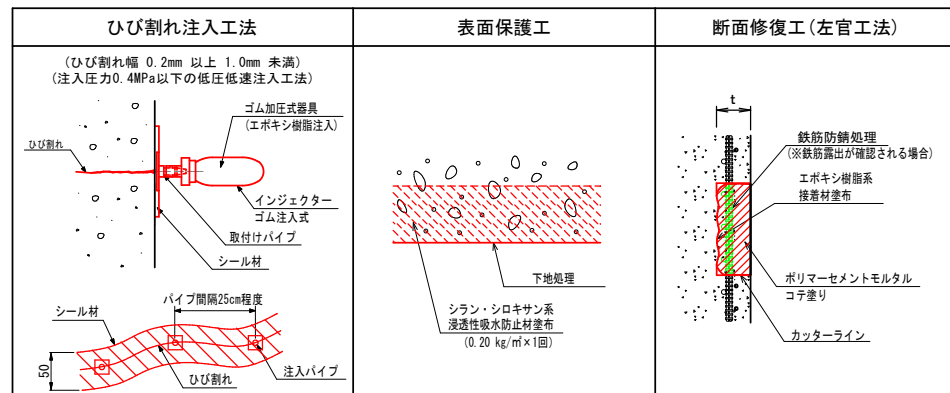
表面含浸材の施工仕様例

工程	標準使用量(kg/m ²)	施工方法	塗重ねの工程間隔
素地調整・下地処理	別途	-	-
下地の確認および清掃	別途	-	-
1 シラン・シロキサン系浸透性吸水防止材	0.20	吹付け、ローラー刷毛塗り	基本養生時間24時間程度

表面保護工 数量表

工法	箇所	寸法	数量
表面含浸工 (シリラン・シロキサン系浸透性吸水防止材)	上流側地覆	①+②+③+④	1.59 + 2.25 + 13.32 + 9.19 = 26.35 m ²
	下流側地覆	⑤+⑥+⑦+⑧	15.21 + 10.80 + 2.25 + 1.62 = 29.88 m ²
			小計=
		1径間+2径間	合計= 113.26 m ² (内 天井面 9.00 m ²)

施工箇所:



令和8年度 橋梁補修（下新井田橋）工事	
工事番号	メンテ第459号
路線名	五戸六戸線
施工箇所	三戸郡五戸町字花道川原 地内
伸縮装置詳細図（その1）	縮尺 図示
図面番号	22 葉中 9
青森県三八県土整備事務所	
青森県	

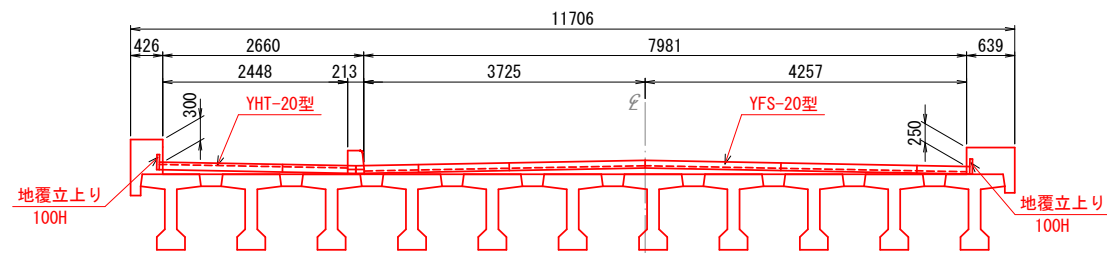
伸縮装置詳細図（その1）

(A1, A2)

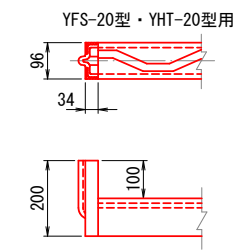
注記
 1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
 2. 補修工事にあたり、寸法等は現地検測のうえ決定すること。



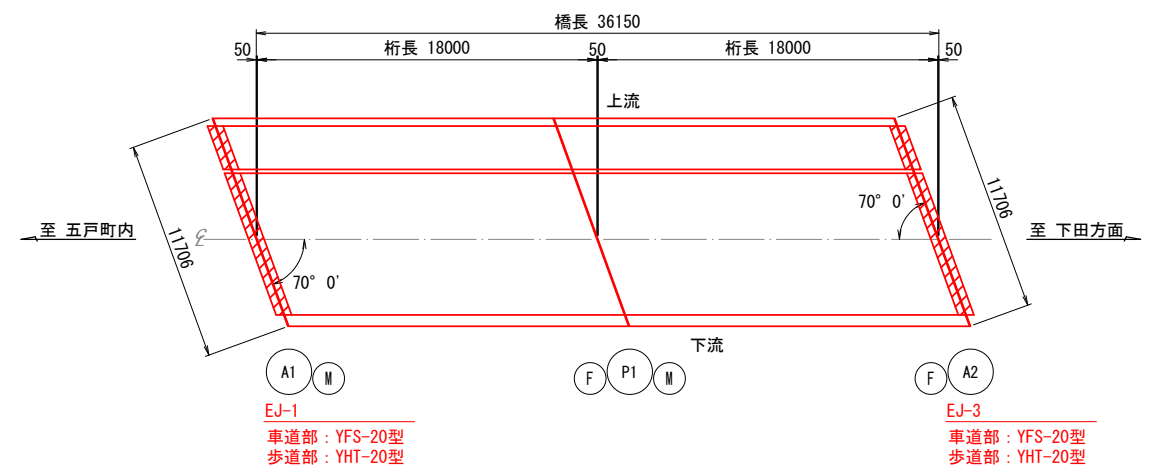
横断面図 S=1:50



地覆立上り部詳細図 S=1:10



配置図 S=1:200

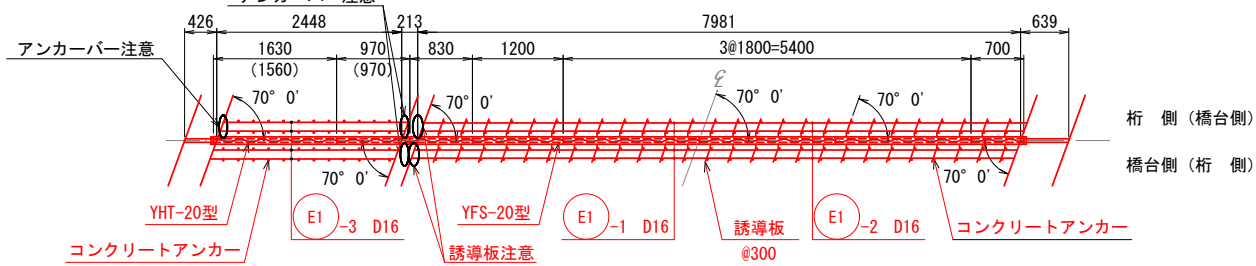


伸縮装置取付工事材料表

材料名	種類	寸法	数量	摘要
車道部 鋼製楯型ジョイント	YFS-20型 誘導板：右70° 取付け	96×100×1800	6 本	合計 16.26 m
		96×100×1200	2 本	
		96×100×830	2 本	
		96×100×700	2 本	
歩道部 鋼製楯型ジョイント	YHT-20型（縞鋼板付き）	96×100×1630	2 本	地覆立上り付き 合計 5.20 m
		96×100×970	2 本	
地覆立上り	YFS-20型・YHT-20型用	96×200×34	4 本	
後打ち材	超速硬コンクリート	750×110×20858	1.721 m ³	
補強鉄筋	E1-1 E1-2 E1-3	8-D16×3730	46.6 kg	合計 130.4 kg
		8-D16×4260	53.2 kg	
		8-D16×2450	30.6 kg	
コンクリートアンカー	D筋アンカー	D16	300 本	
注入目地材	シール材	47×20×3230	3.0 ↓	
接着剤	プライマー No.40 相当品		500 g	最小ロット
バックアップ材	ウレタンフォーム	90×50	3.2 m	
接着剤	A・862B 相当品		100 g	最小ロット

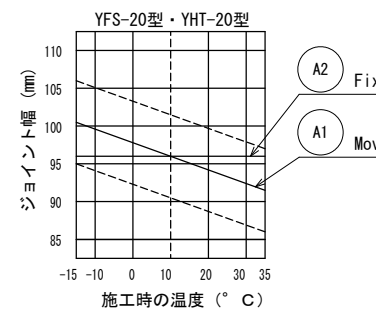
※ 伸縮装置の切断寸法及び切断角度は現地実測結果を反映して決定する。

平面図 S=1:50

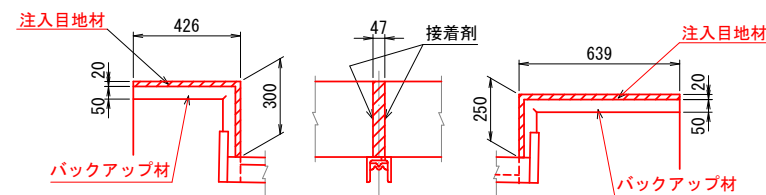


※ () 内は (A2) 部の記述を示す。

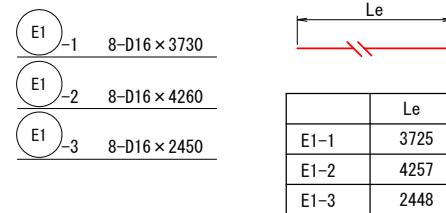
初圧縮グラフ



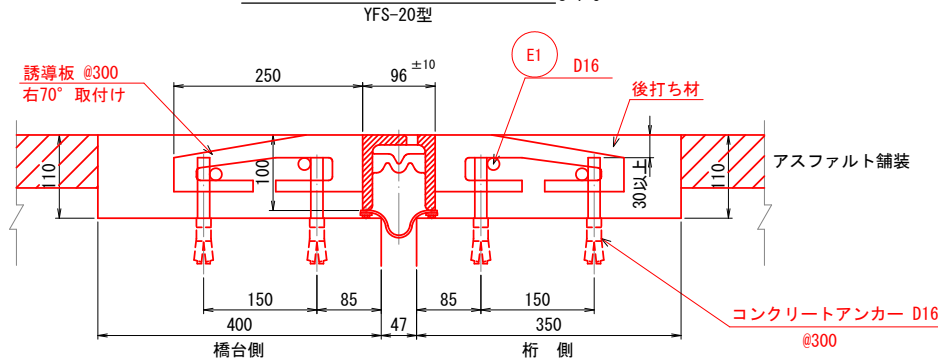
地覆部止水工詳細図 S=1:15



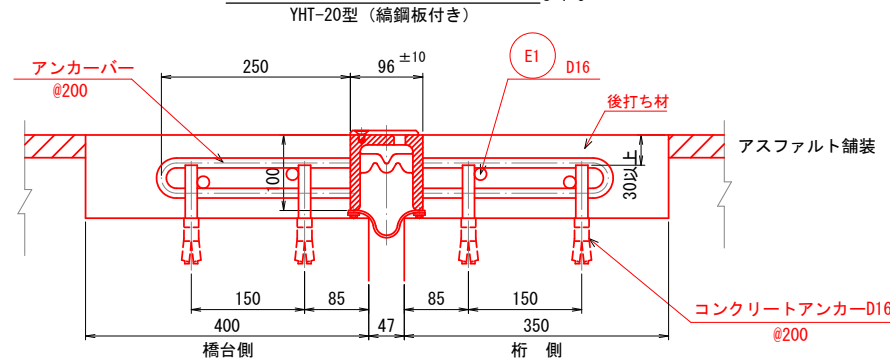
補強鉄筋加工図



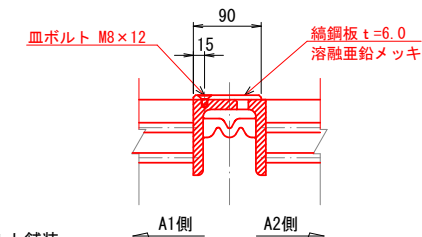
車道部取付断面図 S=1:5



歩道部取付断面図 S=1:5



歩道部製品断面図 S:1/5



令和8年度 橋梁補修（下新井田橋）工事	
工事番号	メンテ第459号
路線名	五戸六戸線
施工所	三戸郡五戸町字花道川原 地内
伸縮装置詳細図（その2）	縮尺 図示
図面番号	22 葉中 10
青森県三八県土整備事務所	
青森県	

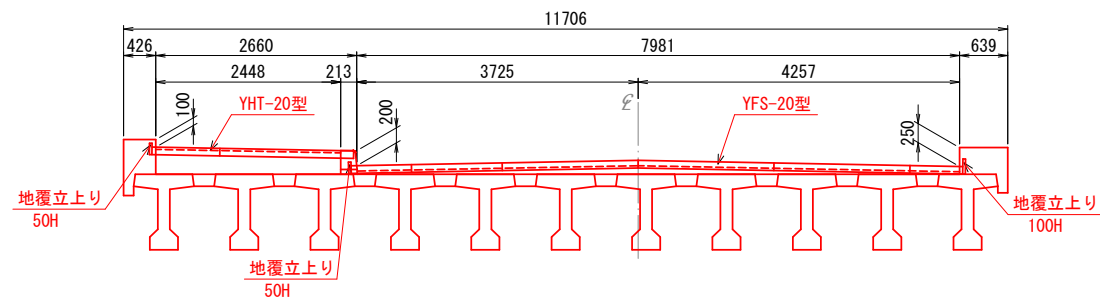
伸縮装置詳細図（その2）

(P1)

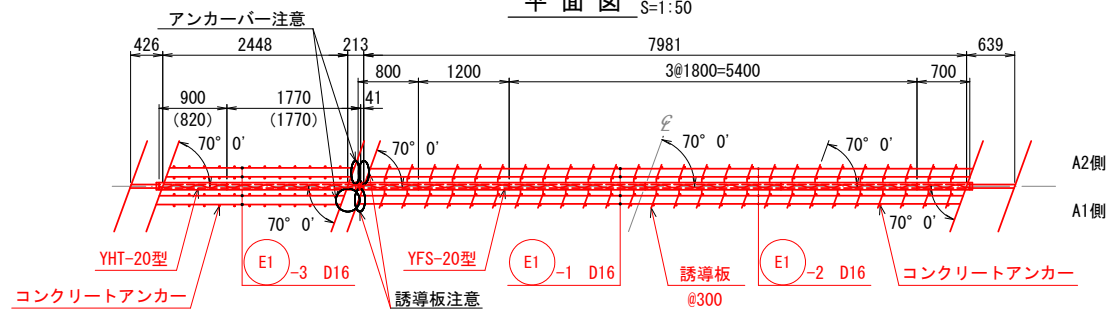
注記
 1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
 2. 補修工事にあたり、寸法等は現地検測のうえ決定すること。

11/24

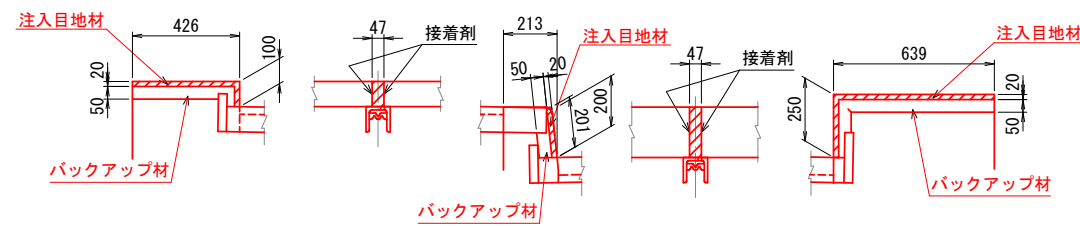
横断面図 S=1:50



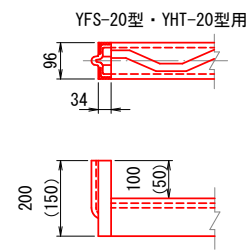
平面図 S=1:50



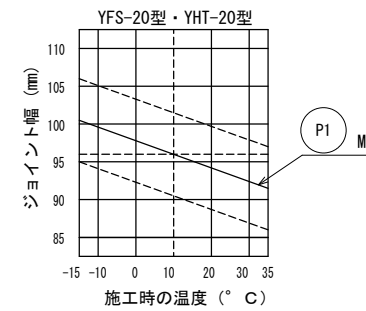
地覆部止水工詳細図 S=1:15



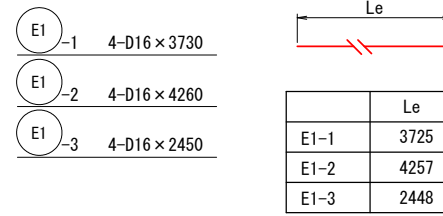
地覆立上り部詳細図 S=1:10



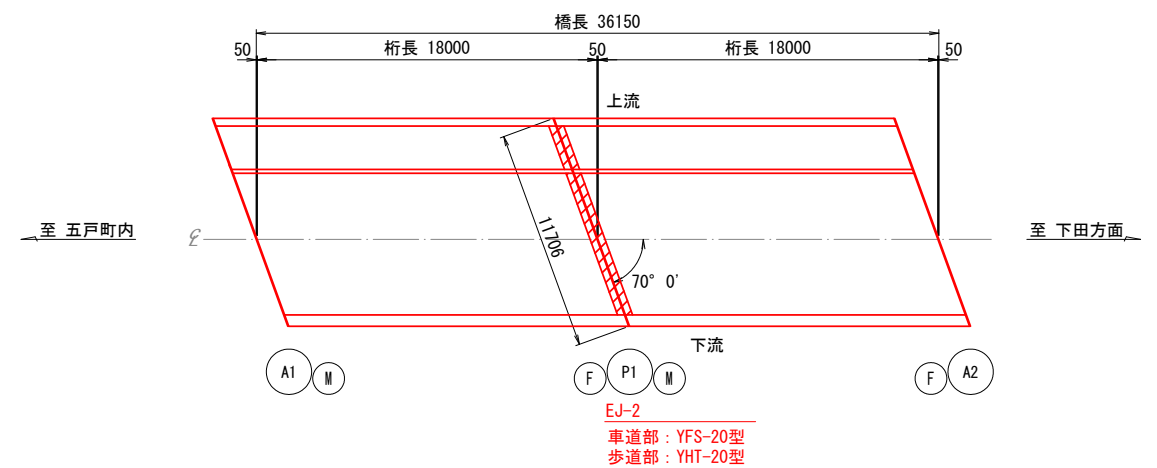
初圧縮グラフ



補強鉄筋加工図



配置図 S=1:200

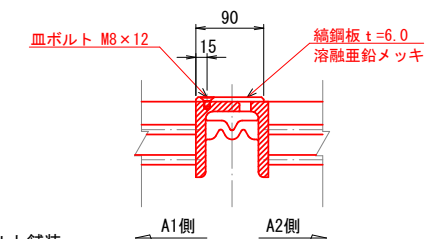


伸縮装置取付工事材料表

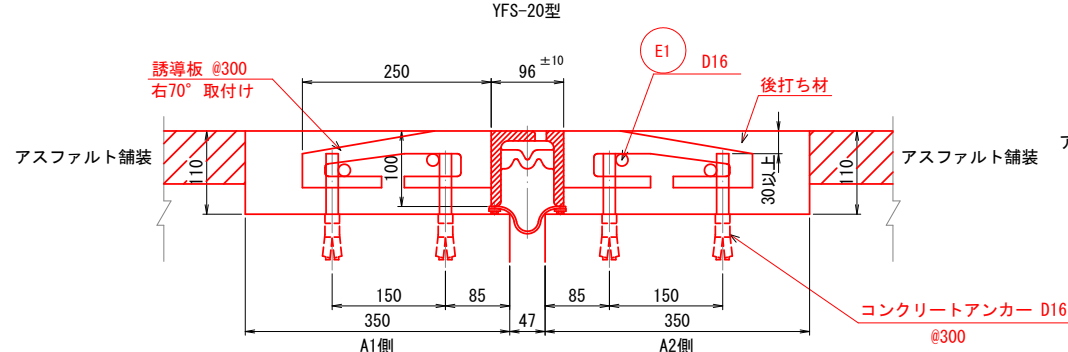
材料名	種類	寸法	数量	摘要	
車道部 鋼製榫型ジョイント	YFS-20型 誘導板：右70° 取付け	96×100×1800	3 本	合計 8.10 m	
		96×100×1200	1 本		
		96×100×800	1 本		地覆立上り付き
		96×100×700	1 本		地覆立上り付き
歩道部 鋼製榫型ジョイント	YHT-20型（縞鋼板付き）	96×100×1770	1 本	右70° 切断 合計 2.67 m	
		96×100×900	1 本		地覆立上り付き
地覆立上り	YFS-20型・YHT-20型	96×200×34	1 本		
		96×150×34	2 本		
後打ち材	超速硬コンクリート	700×110×10429	0.803 m ³		
補強鉄筋	E1-1 E1-2 E1-3	4-D16×3730	23.3 kg	合計 65.1 kg	
		4-D16×4260	26.6 kg		
		4-D16×2450	15.3 kg		
コンクリートアンカー	D筋アンカー	D16	150 本		
注入目地材	シーリング材	47×20×1616	1.5 ↓		
接着剤	プライマー No.40 相当品		-	その1図にて計上	
バックアップ材	ウレタンフォーム	90×50	1.6 m		
接着剤	A・862B 相当品		-	その1図にて計上	

※ 伸縮装置の切断寸法及び切断角度は現地実測結果を反映して決定する。

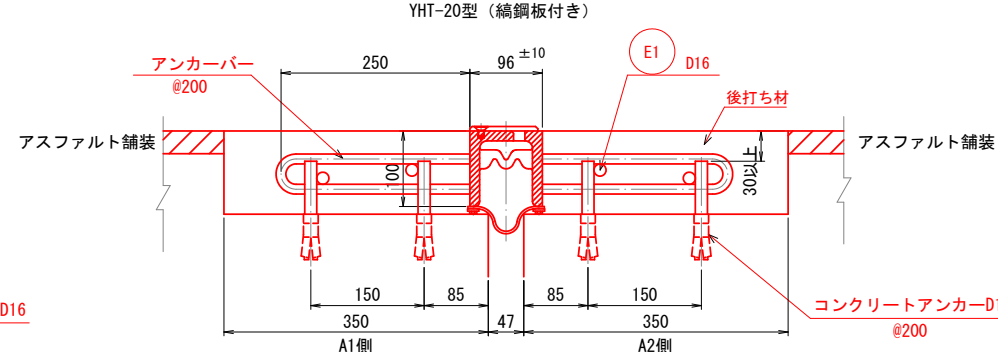
歩道部製品断面図 S=1:5



車道部取付断面図 S=1:5



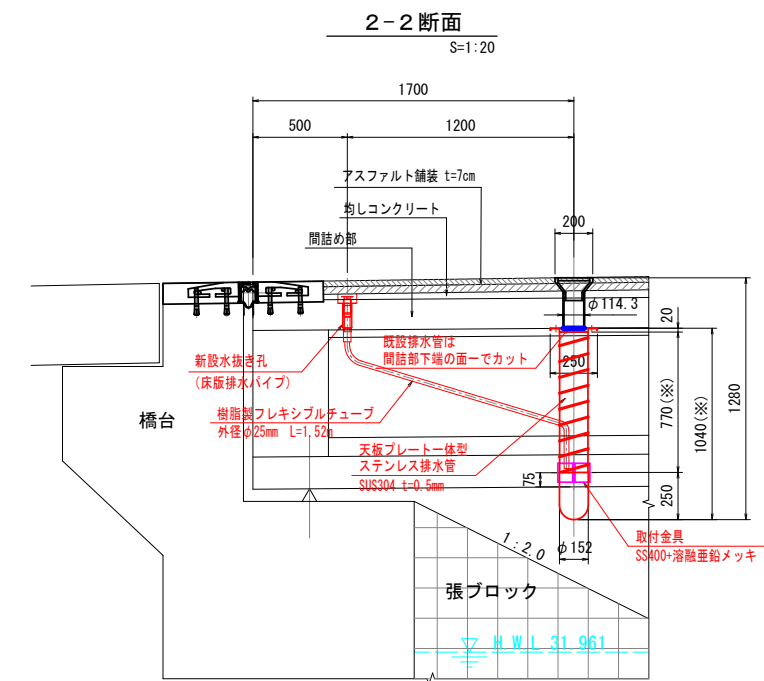
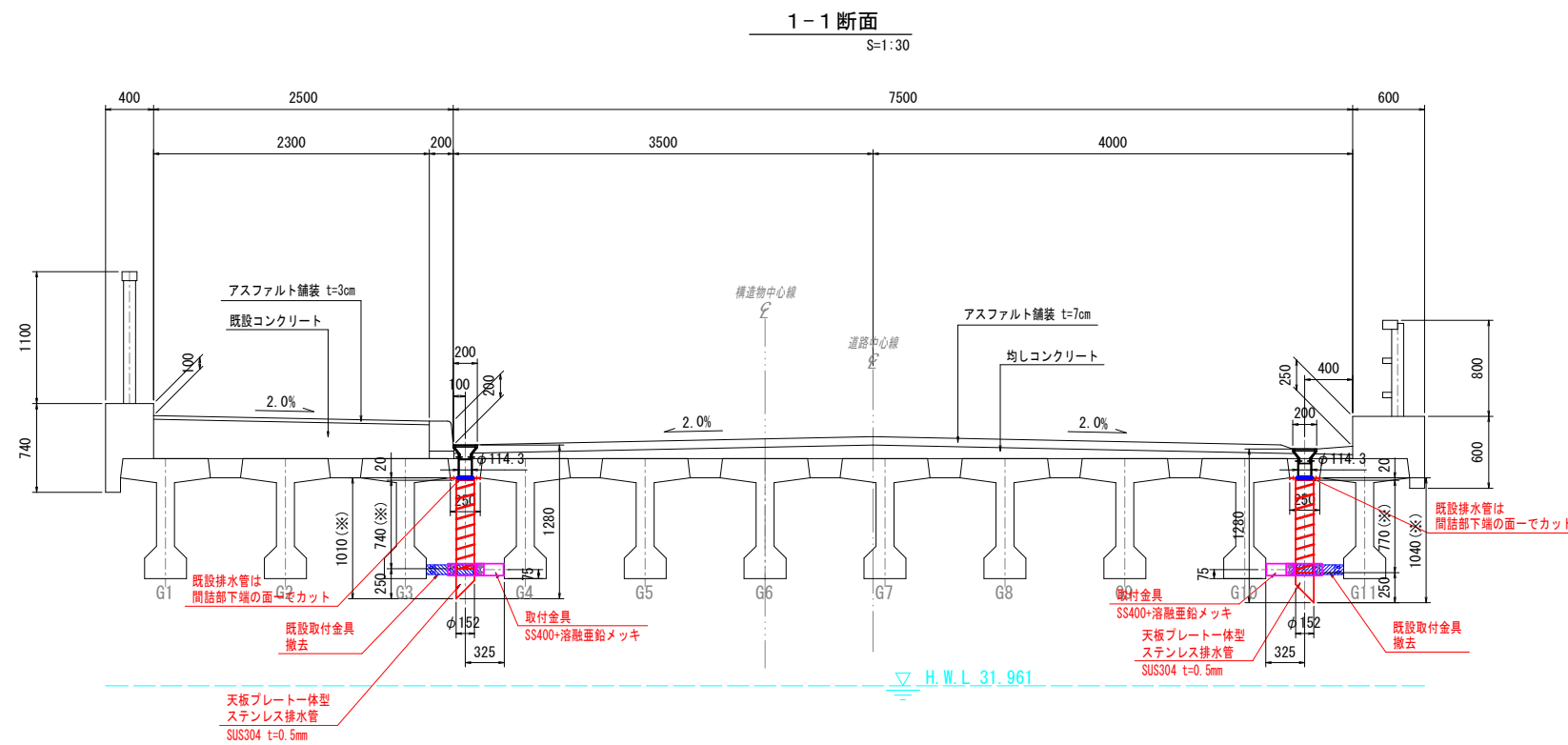
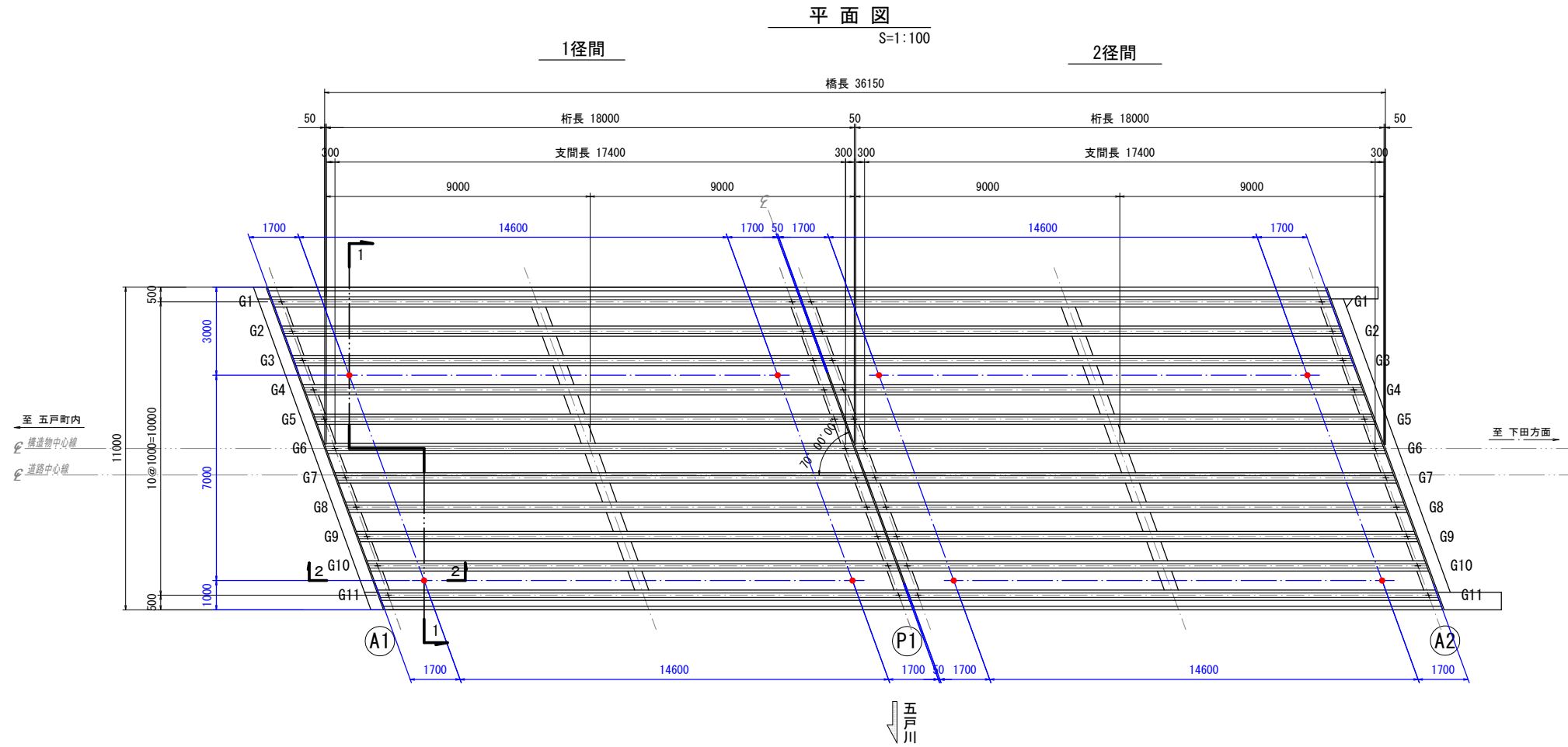
歩道部取付断面図 S=1:5



令和8年度 橋梁補修（下新井田橋）工事	
工事番号	メンテ第459号
路線名	五戸六戸線
施工箇所	三戸郡五戸町字花道川原 地内
排水管補修工図（その1）	縮尺 図示
図面番号	22 葉中 11
青森県三八県土整備事務所	
青 森 県	

排水管補修工図（その1）

注記
 1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
 2. 補修工事にあたり、寸法等は現地検測のうえ決定すること。

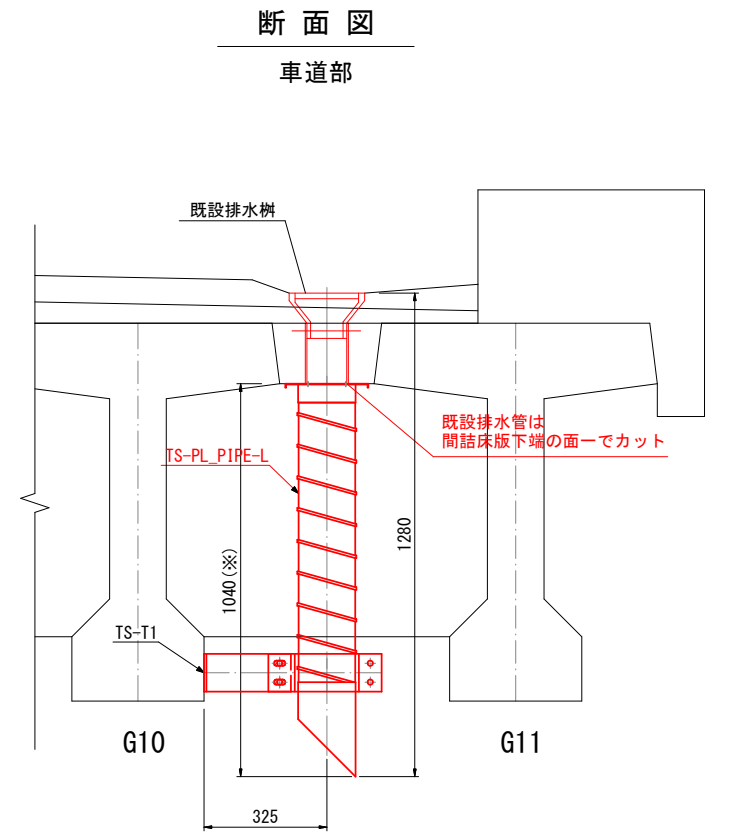
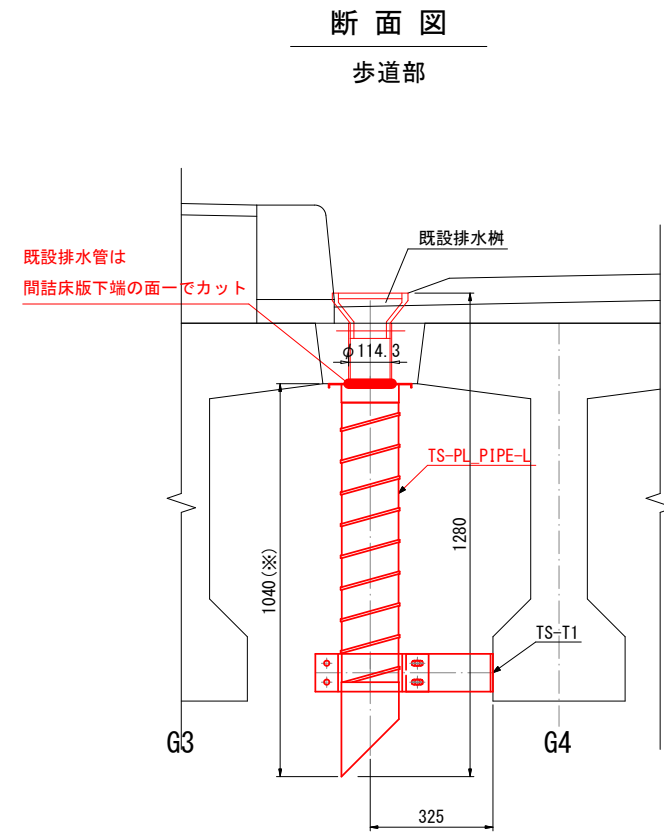
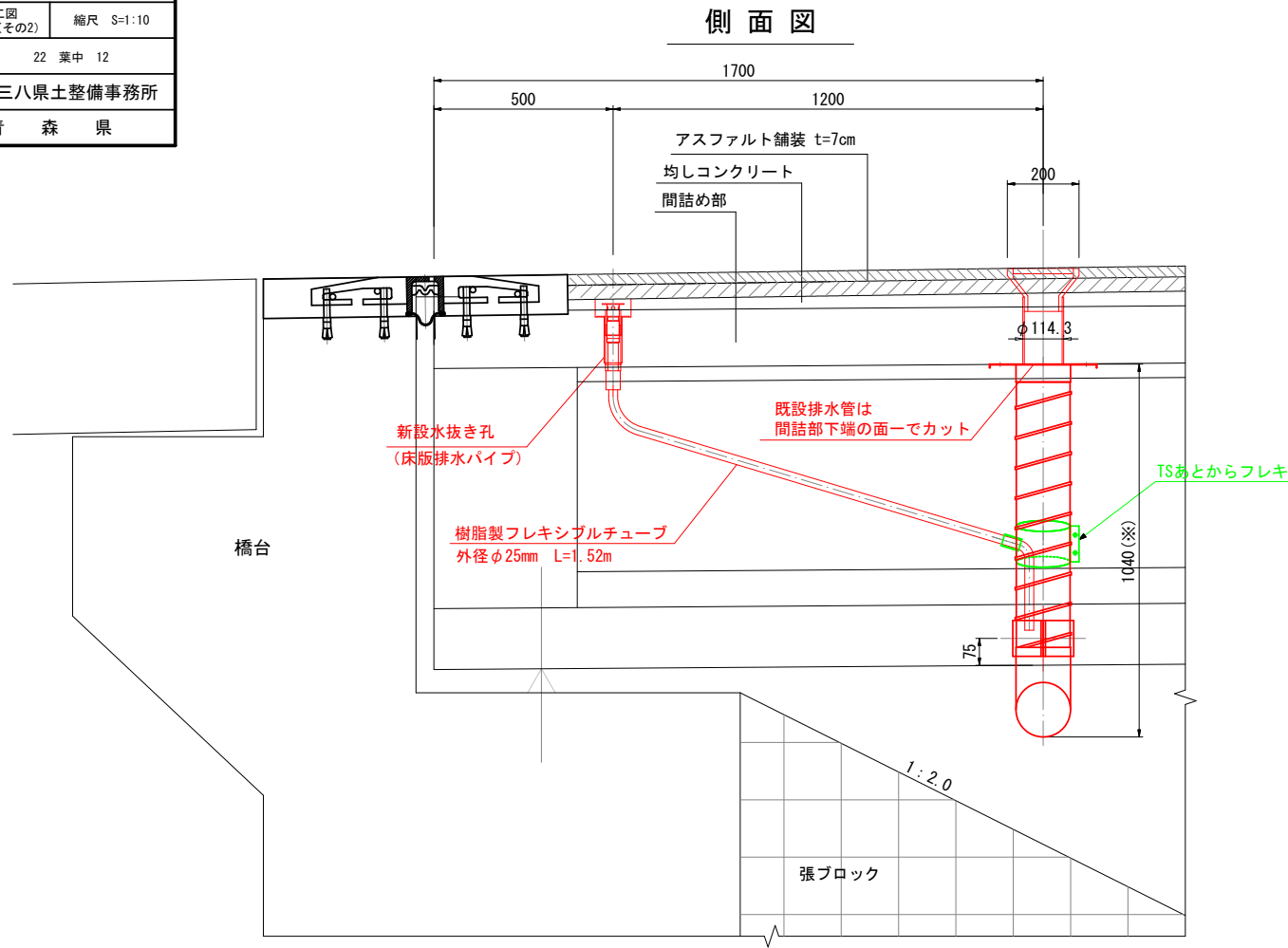


※新設排水管長さは現況と同様とするが、均しCoの厚さが明確でないため、記載の寸法は目安としている。
 施工の際は事前調査にて現地測定し排水樹先端から管下端まで1280mmとなるよう製作及び取付を行うこと。

令和8年度 橋梁補修（下新井田橋）工事	
工事番号	メンテ第459号
路線名	五戸六戸線
施工箇所	三戸郡五戸町字花道川原 地内
排水管補修工図 （その2）	縮尺 S=1:10
図面番号	22 葉中 12
青森県三八県土整備事務所	
青森県	

排水管補修工図（その2） TSステンレス排水装置詳細図

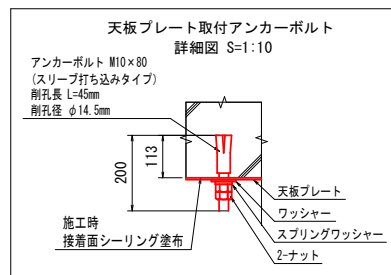
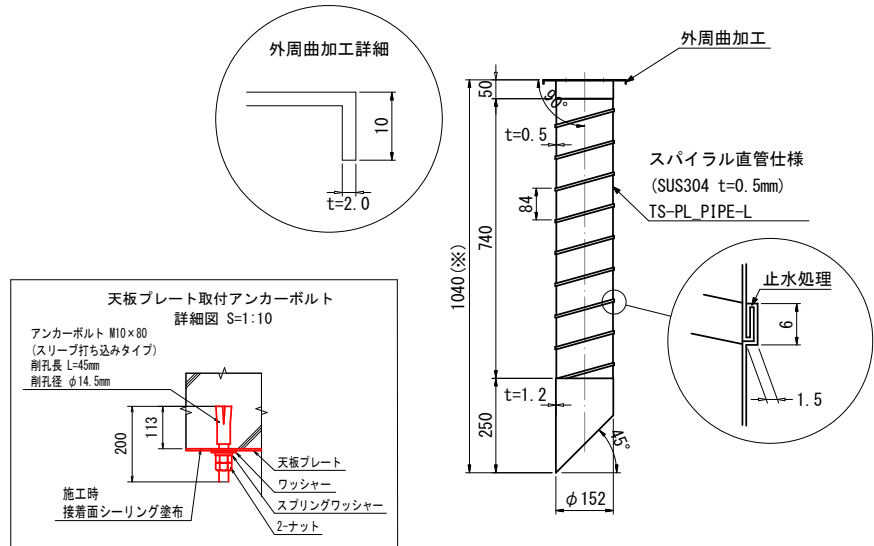
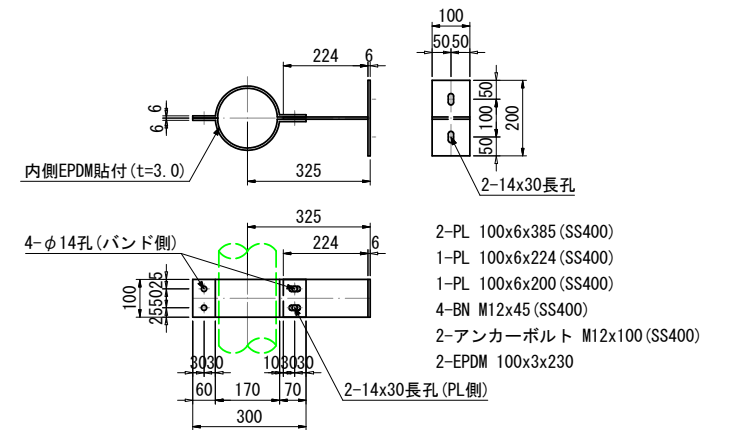
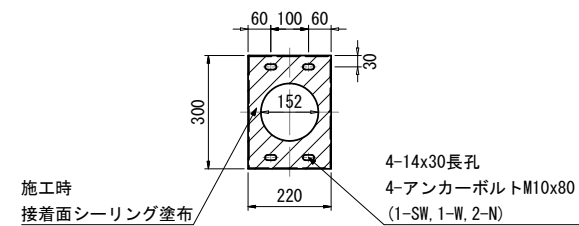
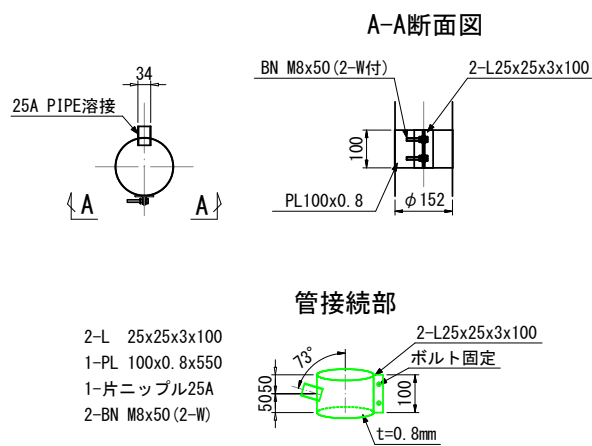
注記
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
2. 補修工事にあたり、寸法等は現地検測のうえ決定すること。



天板プレート一体型排水装置 TS-PL_PIPE-L
製作数=8
NETIS No. CB-190003-AIに準ずる

取付金具詳細図 TS-T1
製作数=8

TSあとからフレキ詳細図
製作数=4



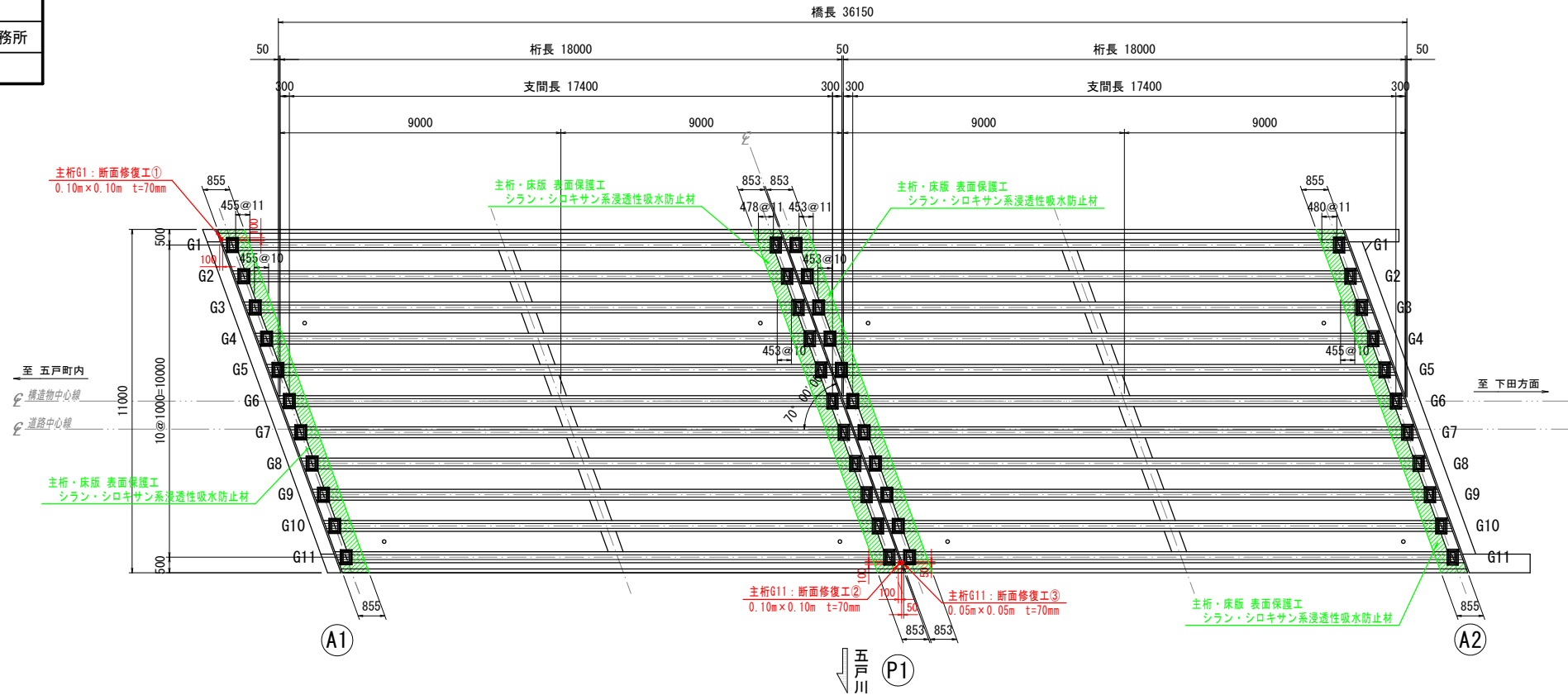
※新設排水管長さは現況と同様とするが、均しCoの厚さが明確でないため、記載の寸法は目安としている。施工の際は事前調査にて現地測定し排水樹天端から管下端まで1280mmとなるよう製作及び取付を行うこと。

- 注) 1. 特記なき材質はすべてSUS304とする。
2. 排水装置はTSステンレス排水装置に準ずる。
3. 天板プレート一体型排水装置は、NETIS No. CB-190003-AIに準ずる。
4. SS400は全て溶融亜鉛メッキ (特記なき場合は JIS H 8641 HDZT77) 仕上げを行う。但し、ボルト類はHDZT49とする。
5. t=2.0未満のステンレス鋼材溶接部内外面に対し耐食性向上の措置を講じる。
6. 現地調査にて寸法確定後製作する。

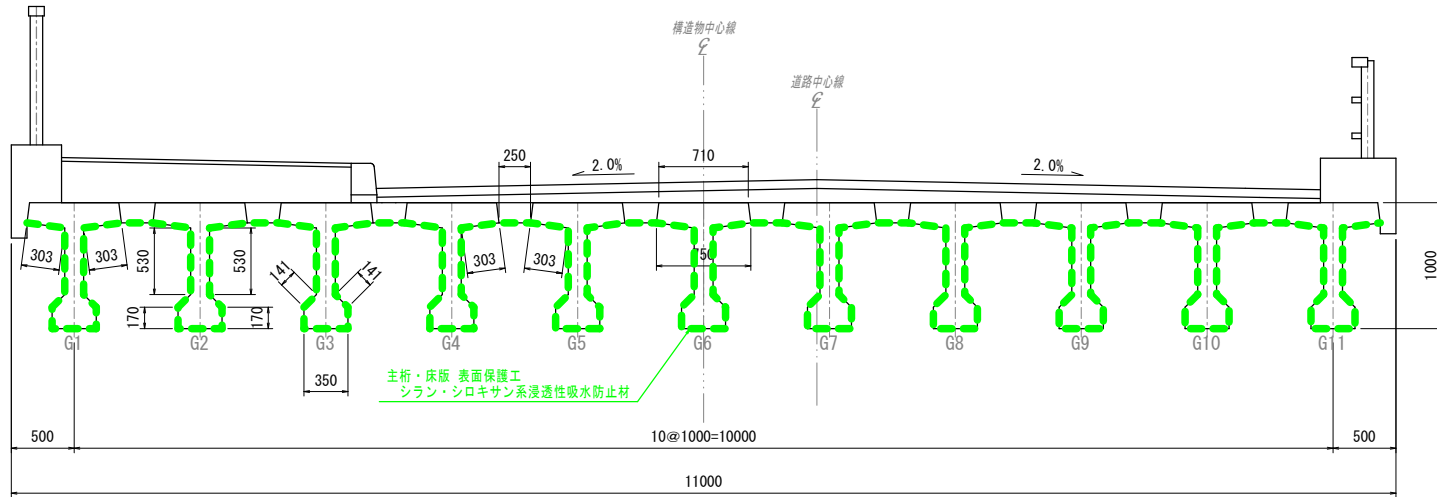
令和8年度 橋梁補修（下新井田橋）工事	
工事番号	メンテ第459号
路線名	五戸六戸線
施工箇所	三戸郡五戸町字花道川原 地内
主桁・床版補修工図	縮尺 図示
図面番号	22 葉中 13
青森県三八県土整備事務所	
青森県	

主桁・床版 補修工図

平面図
S=1:100



表面保護工施工範囲図
S=1:30



A1橋台部: ① $\{(0.303+0.530+0.141+0.170) \times 0.855 \times 2\} = 1.956 \text{ m}^2$
 ② $0.350 \times 0.455 \times 11 = 1.752 \text{ m}^2$
 ③ $\{(0.170+0.141+0.530+0.303+0.250+0.303+0.530+0.141+0.170) \times 0.455 \times 10\} = 11.548 \text{ m}^2$
 $\Sigma = 15.256 \text{ m}^2$

P1橋脚部: ① $\{(0.303+0.530+0.141+0.170) \times 0.853 \times 2\} \times 2 = 3.903 \text{ m}^2$
 ② $(0.350 \times 0.478 \times 11) + (0.350 \times 0.453 \times 11) = 3.584 \text{ m}^2$
 ③ $\{(0.170+0.141+0.530+0.303+0.250+0.303+0.530+0.141+0.170) \times 0.453 \times 20\} = 22.994 \text{ m}^2$
 $\Sigma = 30.481 \text{ m}^2$

A2橋台部: ① $\{(0.303+0.530+0.141+0.170) \times 0.855 \times 2\} = 1.956 \text{ m}^2$
 ② $0.350 \times 0.480 \times 11 = 1.848 \text{ m}^2$
 ③ $\{(0.170+0.141+0.530+0.303+0.250+0.303+0.530+0.141+0.170) \times 0.455 \times 10\} = 11.548 \text{ m}^2$
 $\Sigma = 15.352 \text{ m}^2$

- 注記
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
 2. 補修工に当たり、寸法等は現地検測のうえ決定すること。
 3. コンクリートの脆弱部は確実にはつきり落して修復を行うこと。
 4. 表記以外の損傷、劣化部が見られた場合は、発注者と協議の上で、補修対象範囲の変更を行うこと。

断面修復工 数量表 (設計基準強度 $\sigma_{ck}=50\text{N}/\text{mm}^2$ 以上 一材型ポリマーセメントモルタル)

工法	場所	寸法(m)	面積	平均深さ	数量	備考	
左官工法	主桁 (1径間)	G1 ①	0.10×0.10	0.010 m ²	0.07 m	0.0007 m ³	はく離・鉄筋(PC鋼線)露出
		G11 ②	0.10×0.10	0.010 m ²	0.07 m	0.0007 m ³	はく離・鉄筋(PC鋼線)露出
	小計=					0.0014 m ³	
主桁 (2径間)	G11	②	0.05×0.05	0.003 m ²	0.07 m	0.0002 m ³	はく離・鉄筋(PC鋼線)露出
							小計=
1径間+2径間					合計=	0.0016 m ³	

施工箇所:

表面含浸工材料表

工種	仕様
表面含浸工	シラン・シロキサン系浸透性吸水防止材 (標準使用量0.2kg/m ²)

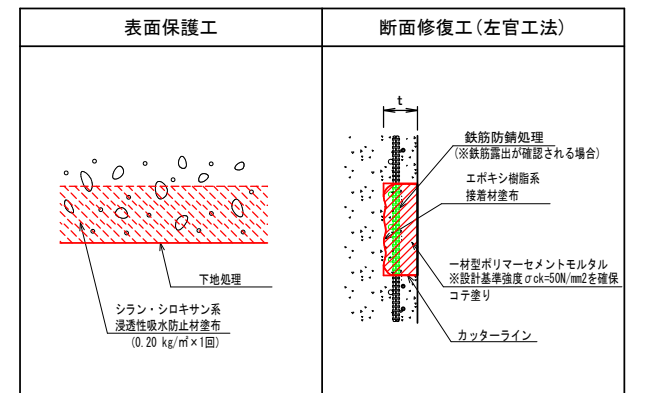
表面含浸材の施工仕様例

工程	標準使用量 (kg/m ²)	施工方法	塗重ねの工程間隔
素地調整・下地処理	別途	-	-
下地の確認および清掃	別途	-	-
1 シラン・シロキサン系浸透性吸水防止材	0.20	吹付け、ローラー刷毛塗り	基本養生時間24時間程度

表面保護工 数量表

工法	箇所	寸法	数量
表面含浸工 (シラン・シロキサン系浸透性吸水防止材)	主桁・床版	(別途計算式より)	15.256 + 30.481 + 15.352
		1径間+2径間	合計= 61.089 m ² (内 天井面 24.799 m ²)

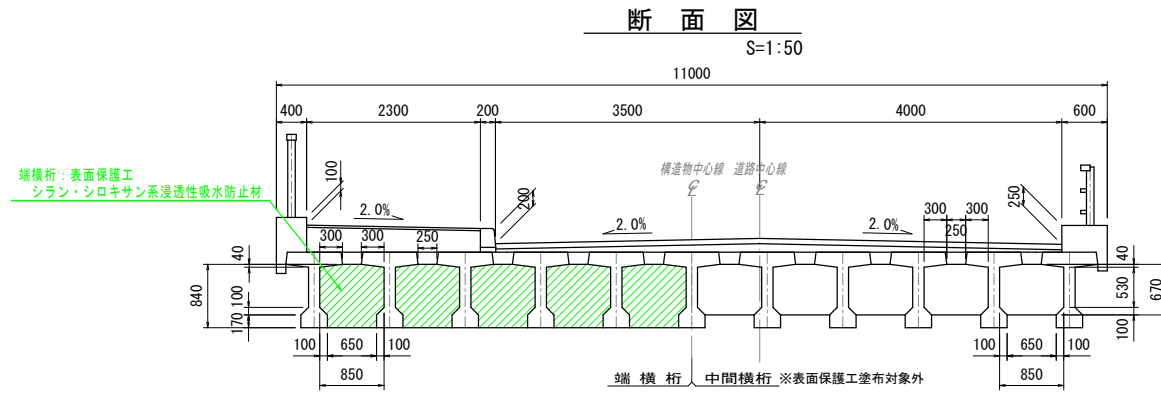
施工箇所:



令和8年度 橋梁補修（下新井田橋）工事	
工事番号	メンテ第459号
路線名	五戸六戸線
施工箇所	三戸郡五戸町字花道川原 地内
橋桁補修工図（その1）	縮尺 図示
図面番号	22 葉中 14
青森県三八県土整備事務所	
青 森 県	

横桁補修工図（その1） （A1～P1）

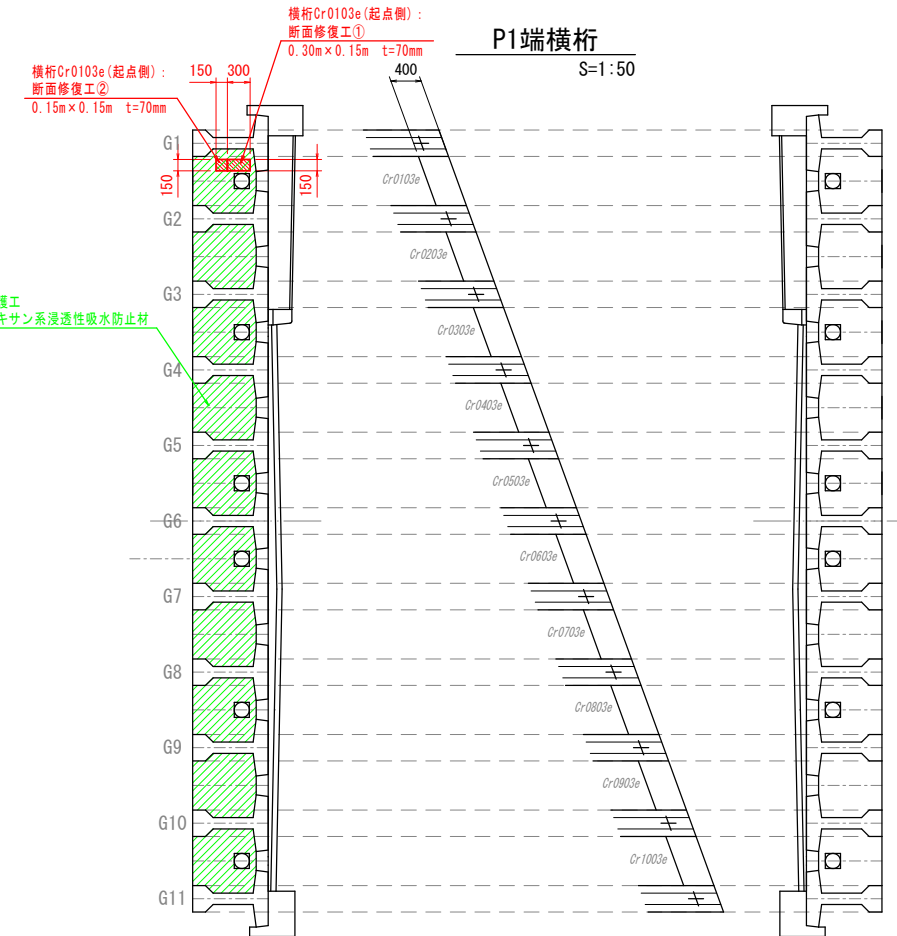
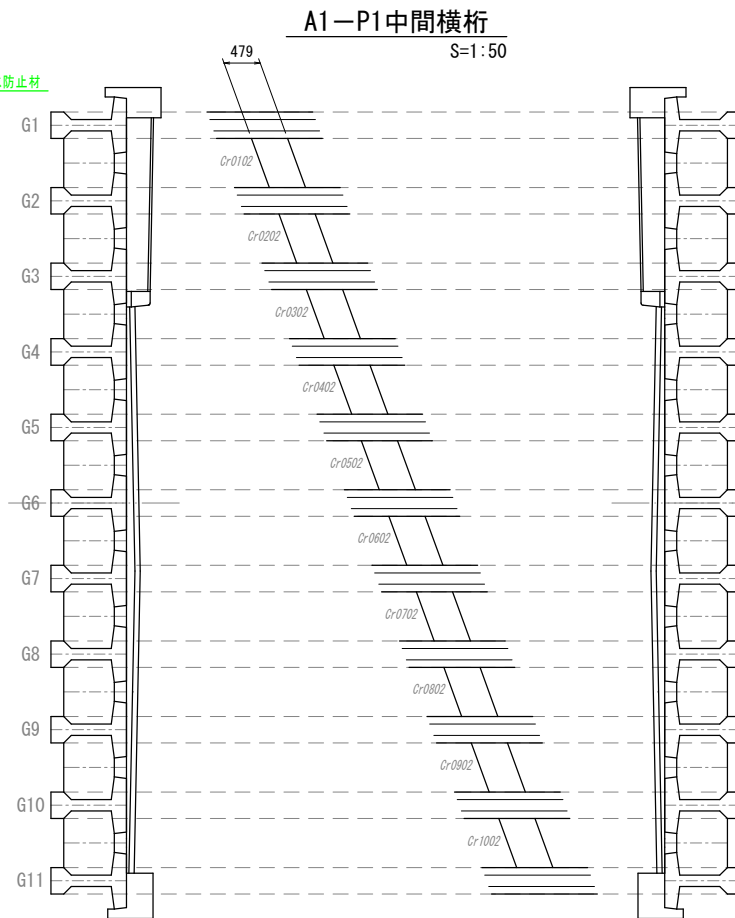
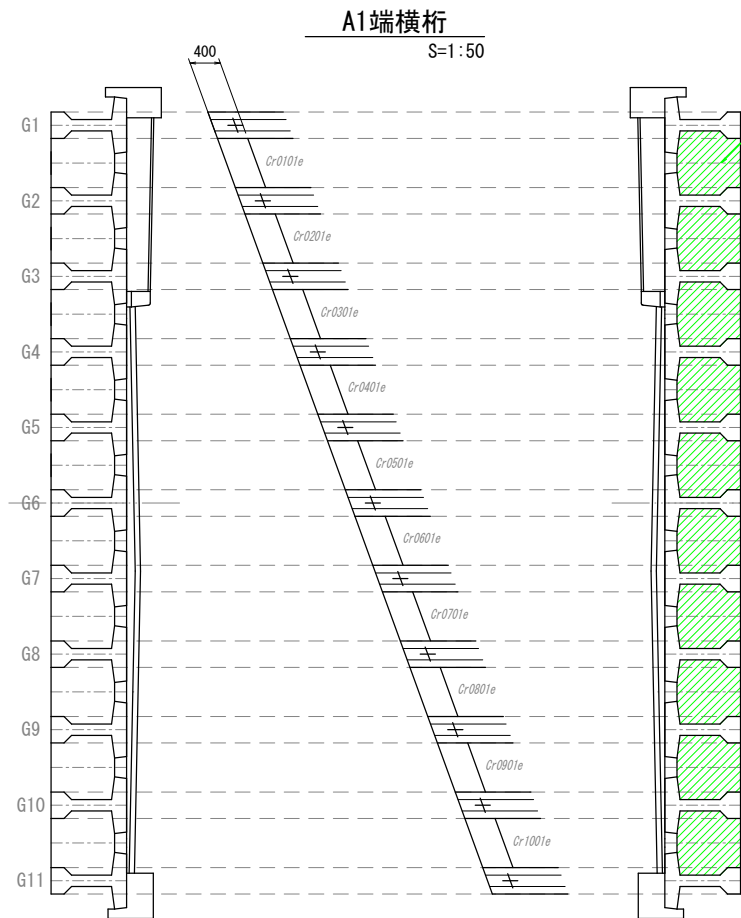
- 注記
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
 2. 補修工事にあたり、寸法等は現地検測のうえ決定すること。
 3. コンクリートの脆弱部は確実にはつきり落して修復を行うこと。
 4. 表記以外の損傷、劣化部が見られた場合は、発注者と協議の上で、補修対象範囲の変更を行うこと。



$$A = (0.85 \times 0.84) - ((0.17 + 0.27) \times 0.10 / 2 \times 2) - (0.30 \times 0.04 / 2) \times 2 = 0.658 \text{ m}^2$$

落橋防止装置箇所除外分

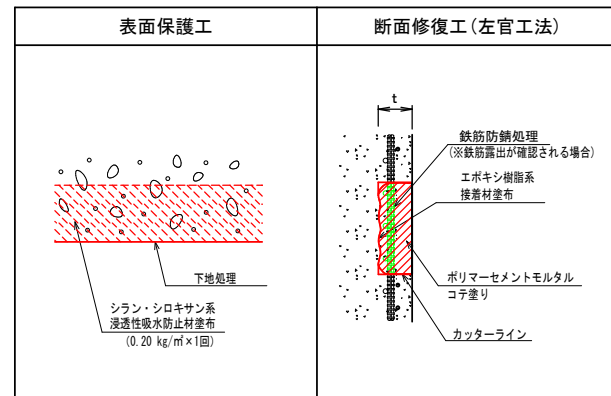
$$\Delta A = ((0.20 \times 0.20) \times 6 \text{箇所}) = \Delta 0.24 \text{ m}^2$$



A1

五戸川

P1



断面修復工 数量表 (ポリマーセメントモルタル)

工法	場所	寸法(m)	面積	平均深さ	数量	備考
左官工法	横桁Cr0103e	① 0.30×0.15	0.045 m ²	0.07 m	0.00315 m ³	はく離・鉄筋露出
		② 0.15×0.15	0.023 m ²	0.07 m	0.00158 m ³	うき
小計 =					0.00473 m ³	

施工箇所:

表面含浸工材料表

工種	仕様
表面含浸工	シラン・シロキサン系浸透性吸水防止材 (標準使用量0.2kg/m ²)

表面含浸材の施工仕様例

工程	標準使用量 (kg/m ²)	施工方法	塗重ねの工程間隔
素地調整・下地処理	別途	-	-
下地の確認および清掃	別途	-	-
1 シラン・シロキサン系浸透性吸水防止材	0.20	吹付け、ローラー刷毛塗り	基本養生時間24時間程度

表面保護工 数量表

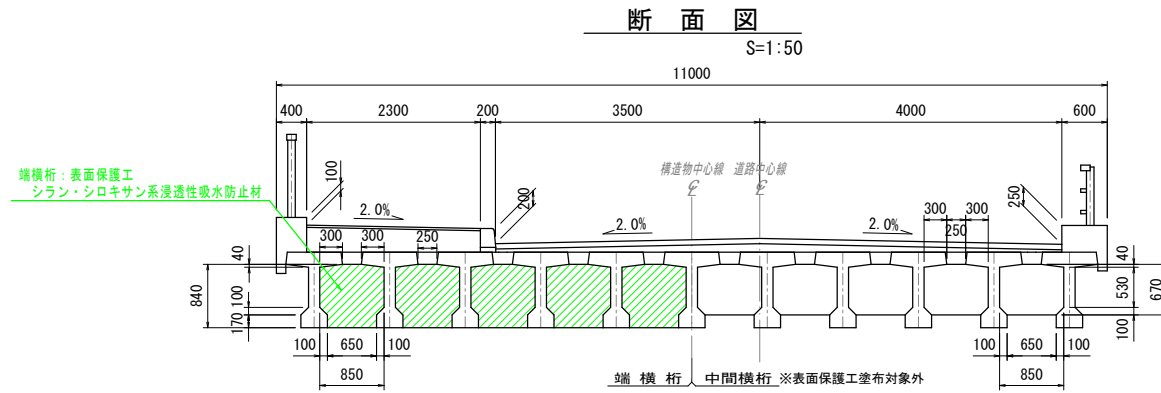
工法	箇所	寸法	数量
表面含浸工 (シラン・シロキサン系浸透性吸水防止材)	横桁 (A1-P1間)	(別途計算式より) (0.658 × 20) = 0.24	= 12.920 m ²

施工箇所:

令和8年度 橋梁補修(下新井田橋) 工事	
工事番号	メンテ第459号
路線名	五戸六戸線
施工箇所	三戸郡五戸町字花道川原 地内
横桁補修工図(その2)	縮尺 図示
図面番号	22 葉中 15
青森県三八県土整備事務所	
青森県	

横桁補修工図(その2) (P1~A2)

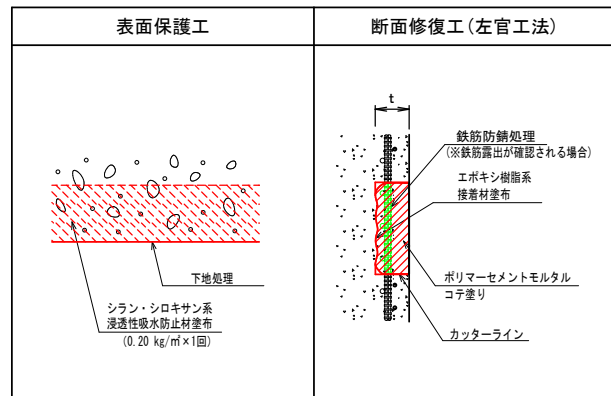
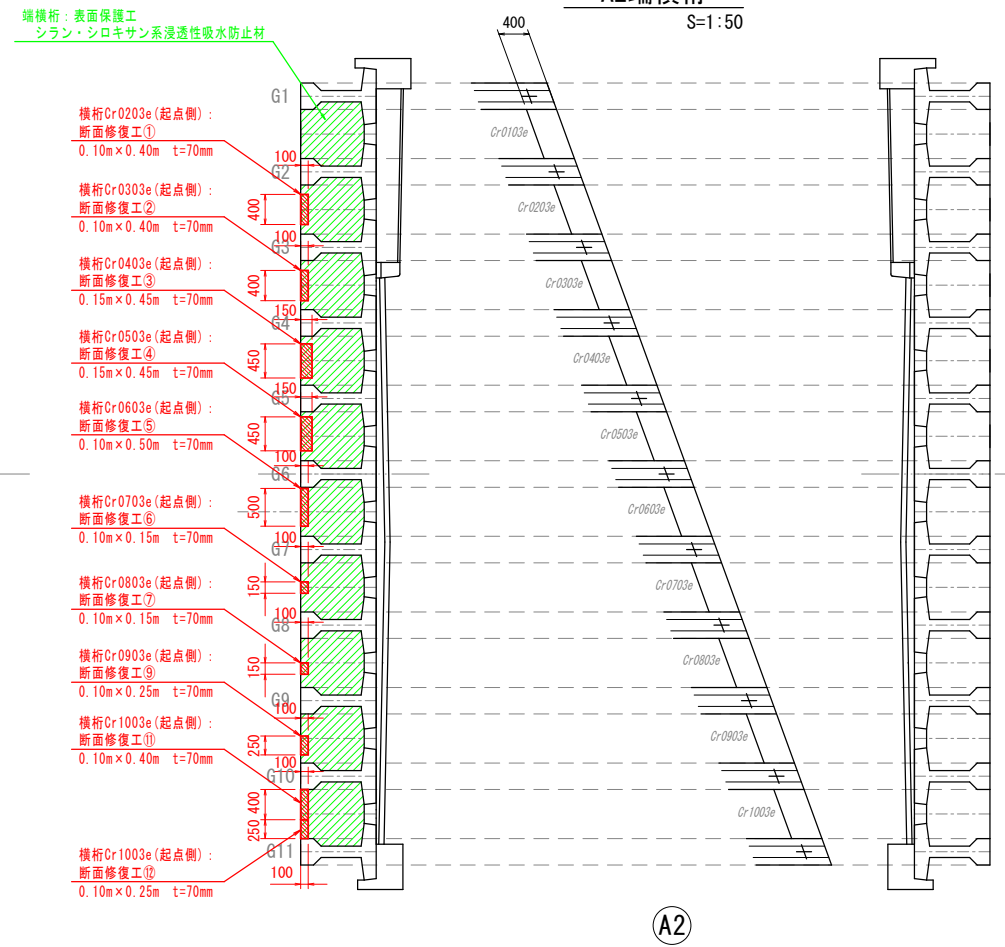
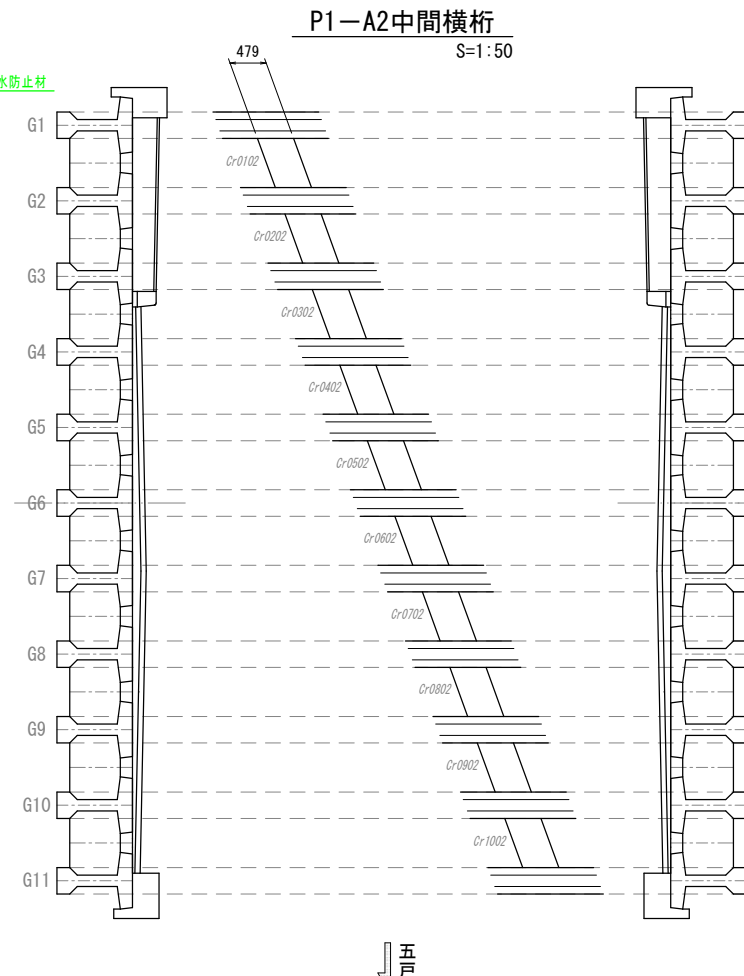
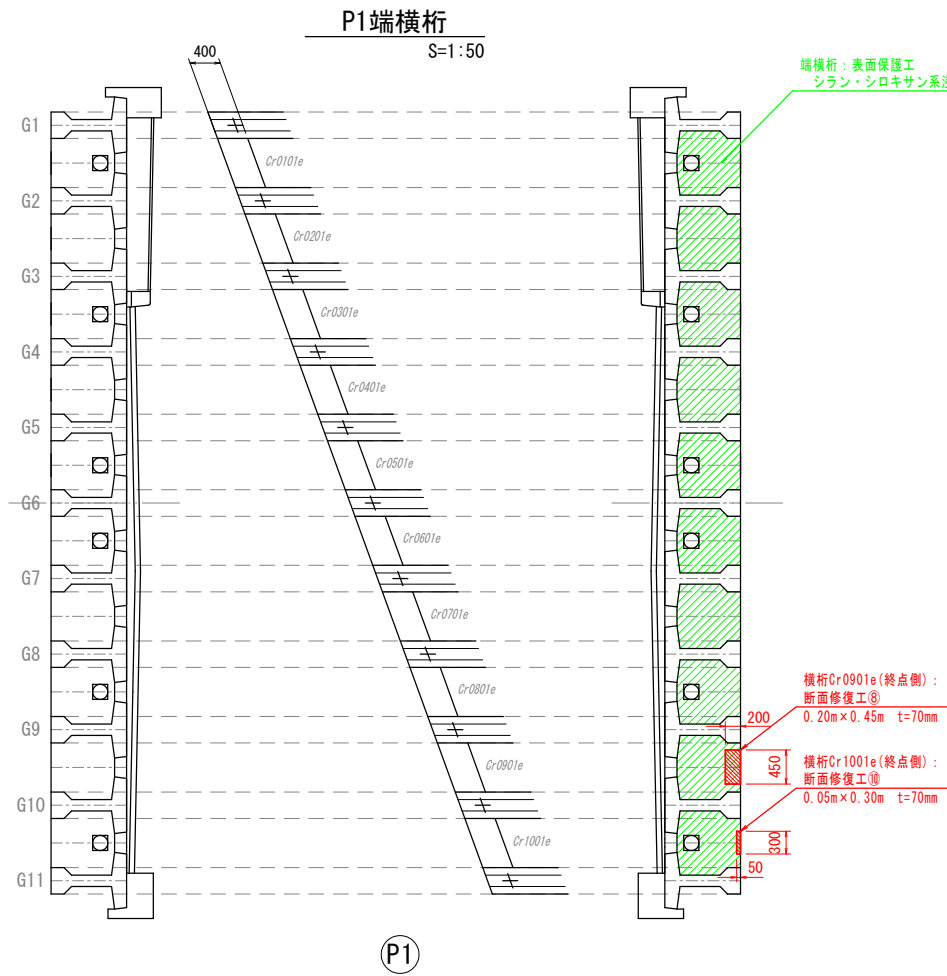
- 注記
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
 2. 補修工事にあたり、寸法等は現地検測のうえ決定すること。
 3. コンクリートの脆弱部は確実にはつきり落して修復を行うこと。
 4. 表記以外の損傷、劣化部が見られた場合は、発注者と協議の上で、補修対策範囲の変更を行うこと。



$$A = (0.85 \times 0.84) - ((0.17 + 0.27) \times 0.10 / 2 \times 2) - ((0.30 \times 0.04 / 2) \times 2) = 0.658 \text{ m}^2$$

落橋防止装置箇所除分

$$\Delta A = ((0.20 \times 0.20) \times 6 \text{箇所}) = \Delta 0.24 \text{ m}^2$$



工法	場所	寸法(m)	面積	平均深さ	数量	備考
左官工法	横桁Cr0203e	① 0.10×0.40	0.040 m ²	0.07 m	0.00280 m ³	はく離
	横桁Cr0303e	② 0.10×0.40	0.040 m ²	0.07 m	0.00280 m ³	うき
	横桁Cr0403e	③ 0.15×0.45	0.068 m ²	0.07 m	0.00473 m ³	はく離
	横桁Cr0503e	④ 0.15×0.45	0.068 m ²	0.07 m	0.00473 m ³	うき
	横桁Cr0603e	⑤ 0.10×0.50	0.050 m ²	0.07 m	0.00350 m ³	はく離
	横桁Cr0703e	⑥ 0.10×0.15	0.015 m ²	0.07 m	0.00105 m ³	はく離
	横桁Cr0803e	⑦ 0.10×0.15	0.015 m ²	0.07 m	0.00105 m ³	はく離
	横桁Cr0901e	⑧ 0.20×0.45	0.090 m ²	0.07 m	0.00630 m ³	はく離・鉄筋露出
	横桁Cr0903e	⑨ 0.10×0.25	0.025 m ²	0.07 m	0.00175 m ³	はく離
	横桁Cr1001e	⑩ 0.05×0.30	0.015 m ²	0.07 m	0.00105 m ³	はく離
	横桁Cr1003e	⑪ 0.10×0.40	0.040 m ²	0.07 m	0.00280 m ³	うき
	横桁Cr1003e	⑫ 0.10×0.25	0.025 m ²	0.07 m	0.00175 m ³	はく離
小計 =					0.03431 m ³	
1径間+2径間 合計 =					0.03904 m ³	

施工箇所:

工種	仕様
表面含浸工	シラン・シロキサン系浸透性吸水防止材 (標準使用量0.2kg/m ²)

工程	標準使用量(kg/m ²)	施工方法	塗重ねの工程間隔
素地調整・下地処理	別途	-	-
下地の確認および清掃	別途	-	-
1 シラン・シロキサン系浸透性吸水防止材	0.20	吹付け、ローラー刷毛塗り	基本養生時間24時間程度

工法	箇所	寸法	数量
表面保護工 (シラン・シロキサン系浸透性吸水防止材)	横桁 (P1-A2間)	(別途計算式より)	=
		(0.658 × 20) = 0.24	12.920 m ²
1径間+2径間 合計 =			25.840 m ²

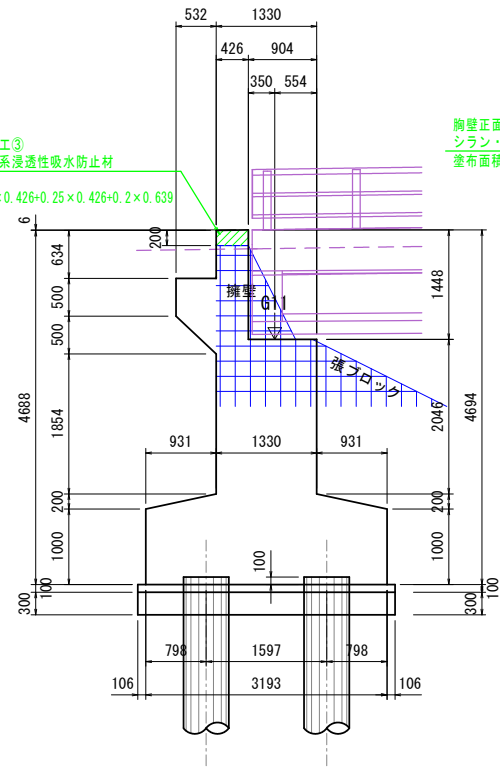
施工箇所:

令和8年度 橋梁補修（下新井田橋）工事	
工事番号	メンテ第459号
路線名	五戸六戸線
施工箇所	三戸郡五戸町字花道川原 地内
A1橋台補修工図	縮尺 S=1:50
図面番号	22 葉中 16
青森県三八県土整備事務所	
青森県	

A1橋台補修工図

- 注記
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
 2. 補修工事にあたり、寸法等は現地検測のうえ決定すること。
 3. 表記以外の損傷、劣化部が見られた場合は、発注者と協議の上で、補修対策範囲の変更を行うこと。

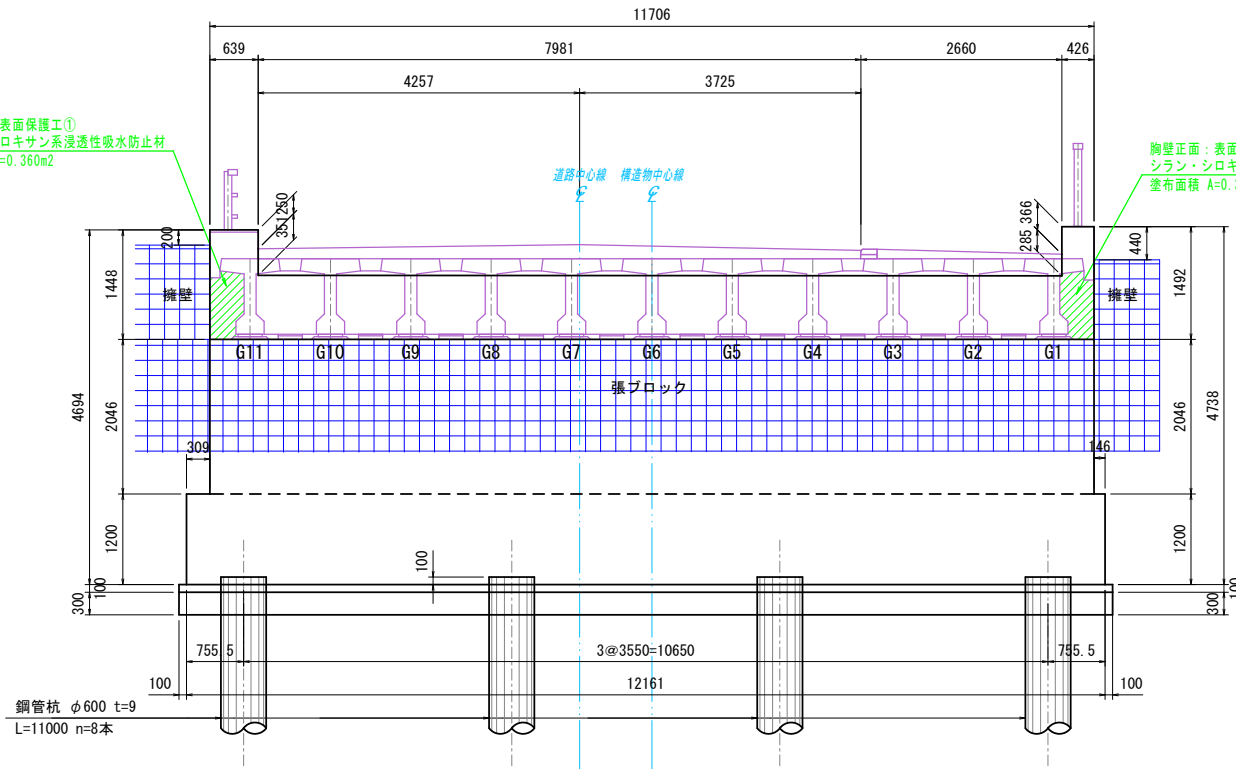
下流側側面図



胸壁上部：表面保護工③
シラン・シロキサン系浸透性吸水防止材
塗布面積
 $A=0.2 \times 0.426 + 0.639 \times 0.426 + 0.25 \times 0.426 + 0.2 \times 0.639$
 $= 0.596m^2$

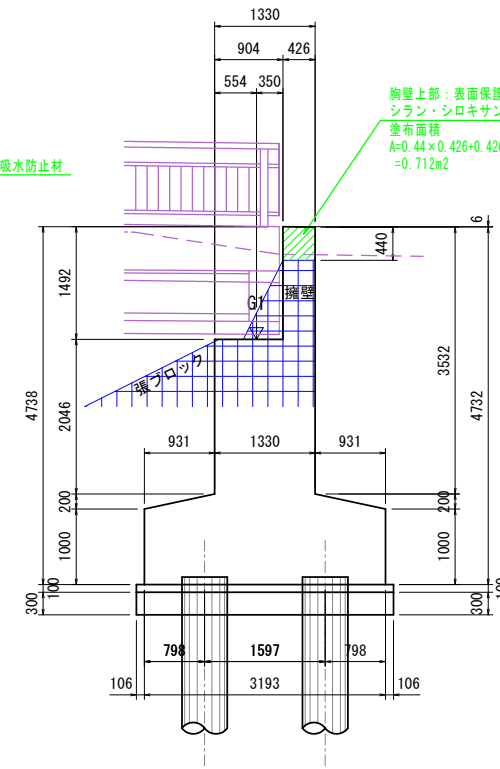
胸壁正面：表面保護工①
シラン・シロキサン系浸透性吸水防止材
塗布面積 $A=0.360m^2$

正面図



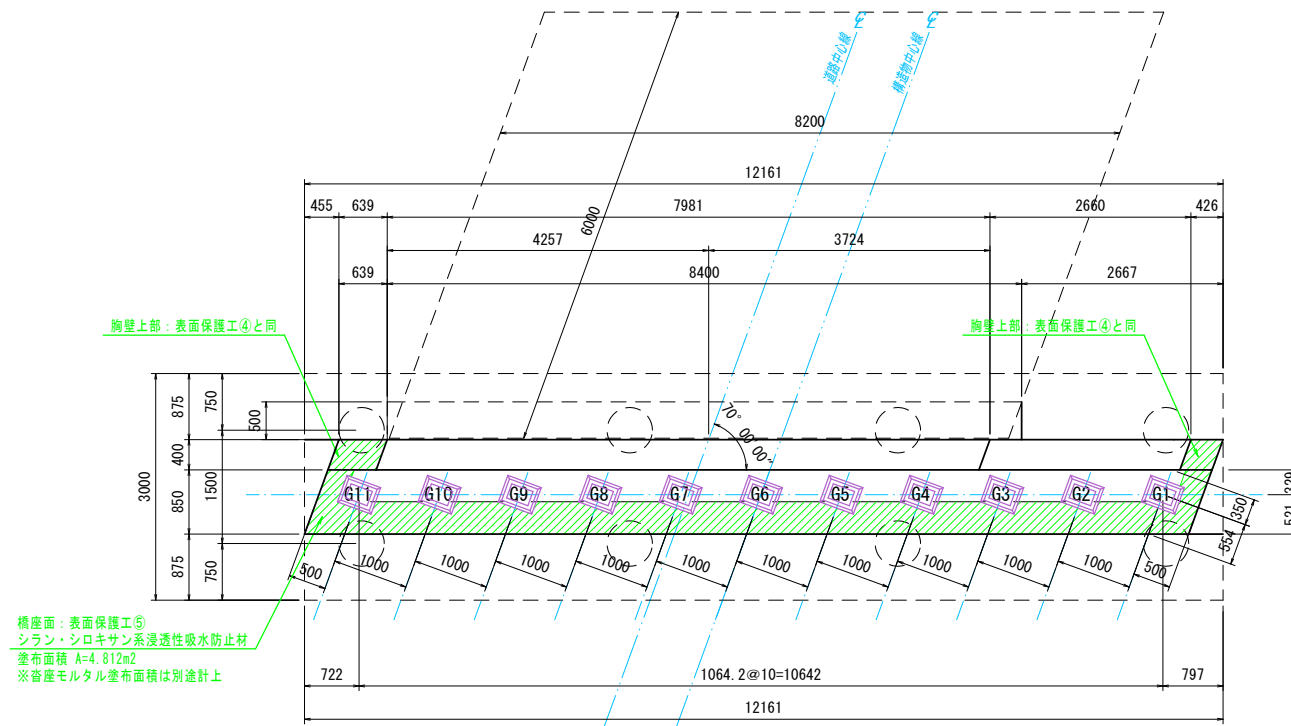
胸壁正面：表面保護工②
シラン・シロキサン系浸透性吸水防止材
塗布面積 $A=0.356m^2$

上流側側面図



胸壁上部：表面保護工④
シラン・シロキサン系浸透性吸水防止材
塗布面積
 $A=0.44 \times 0.426 + 0.426 \times 0.366 + 0.426 + 0.44 \times 0.426$
 $= 0.712m^2$

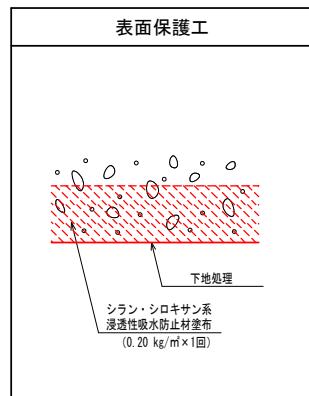
平面図



胸壁上部：表面保護工④と同

胸壁上部：表面保護工④と同

橋産面：表面保護工⑤
シラン・シロキサン系浸透性吸水防止材
塗布面積 $A=4.812m^2$
※密着モルタル塗布面積は別途計上



表面含浸工材料表

工種	仕様
表面含浸工	シリラン・シロキサン系浸透性吸水防止材 (標準使用量0.2kg/m ²)

表面含浸材の施工仕様例

工程	標準使用量 (kg/m ²)	施工方法	塗重ねの工程間隔
素地調整・下地処理	別途	-	-
下地の確認および清掃	別途	-	-
1 シラン・シロキサン系浸透性吸水防止材	0.2	吹付け、ローラー刷毛塗り	基本養生時間24時間程度

表面保護工 数量表

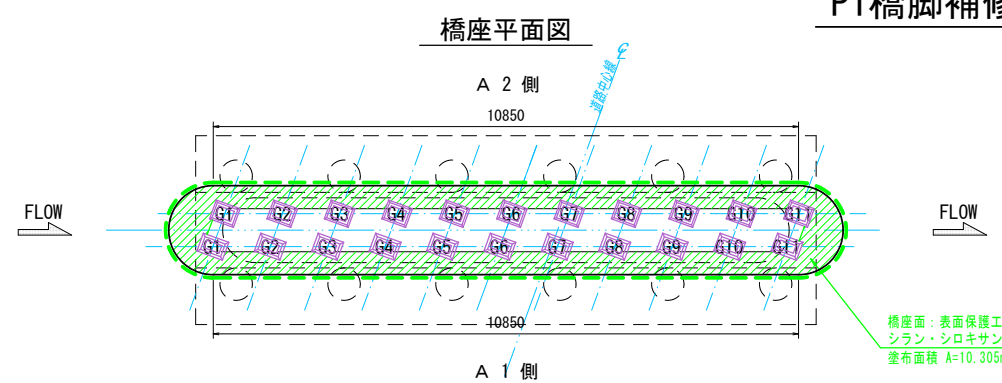
工法	箇所	寸法	数量
表面含浸工 (シリラン・シロキサン系浸透性吸水防止材)	胸壁正面	① + ② 0.360 + 0.356	= 0.716 m ²
	胸壁上部(下流側)	③ 0.596	= 0.596 m ²
	胸壁上部(上流側)	④ 0.712	= 0.712 m ²
	橋産面	⑤ 4.812	= 4.812 m ²
	合計		= 6.836 m ²

施工箇所:

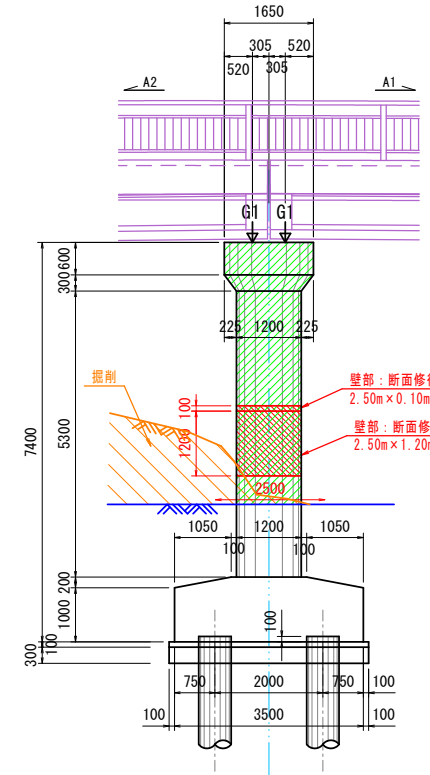
令和8年度 橋梁補修(下新井田橋) 工事	
工事番号	メンテ第459号
路線名	五戸六戸線
施工箇所	三戸郡五戸町字花道川原 地内
P1橋脚補修工図	縮尺 S=1:70
図面番号	22 葉中 17
青森県三八県土整備事務所	
青森県	

P1橋脚補修工図

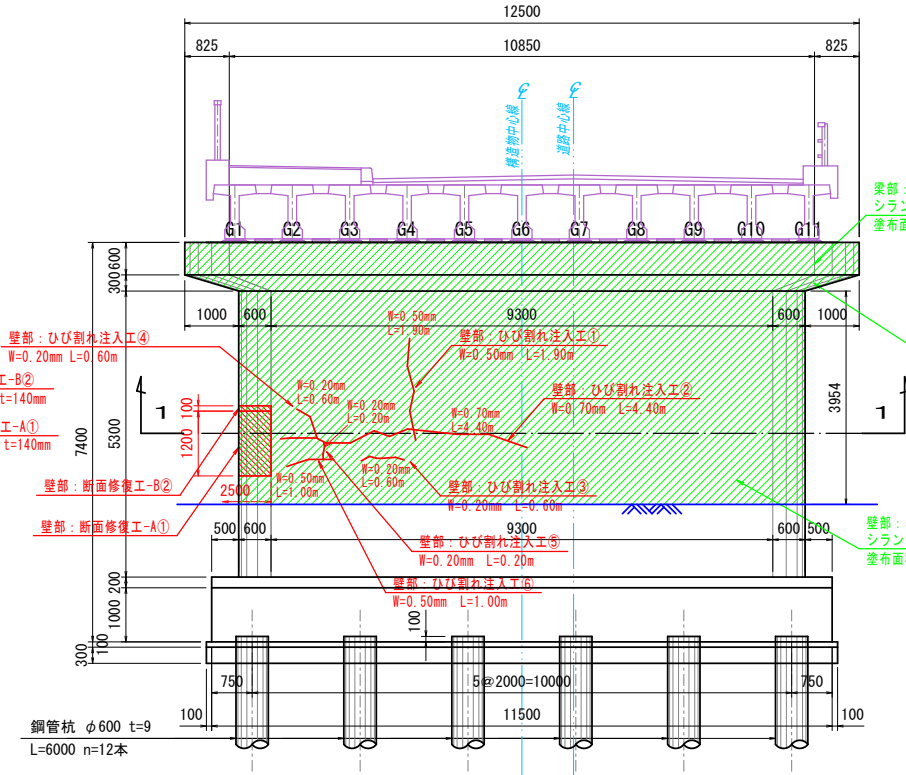
- 注記
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
 2. 補修工事にあたり、寸法等は現地検測のうえ決定すること。
 3. コンクリートの脆弱部は確実に落して修復を行うこと。
 4. 表記以外の損傷、劣化部が見られた場合は、発注者と協議の上で、補修対象範囲の変更を行うこと。
 5. 橋脚の補修作業は、非出水期にて、左岸側河床掘削及び大型土のう設置による仮橋脚を行い施工するものとする。



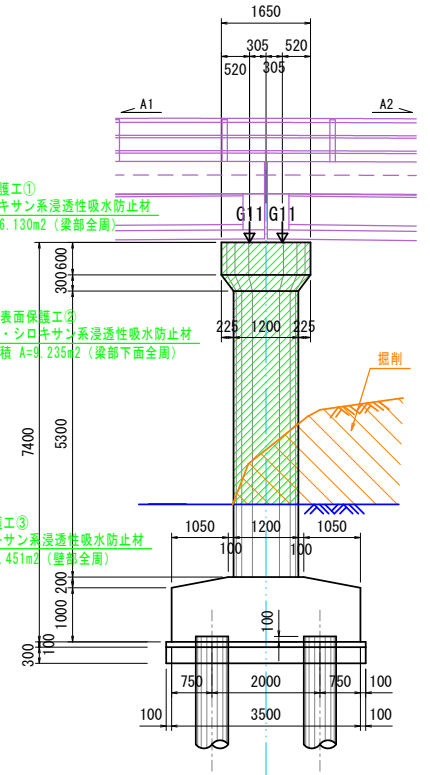
上流側側面図 (Upstream Side Elevation View)



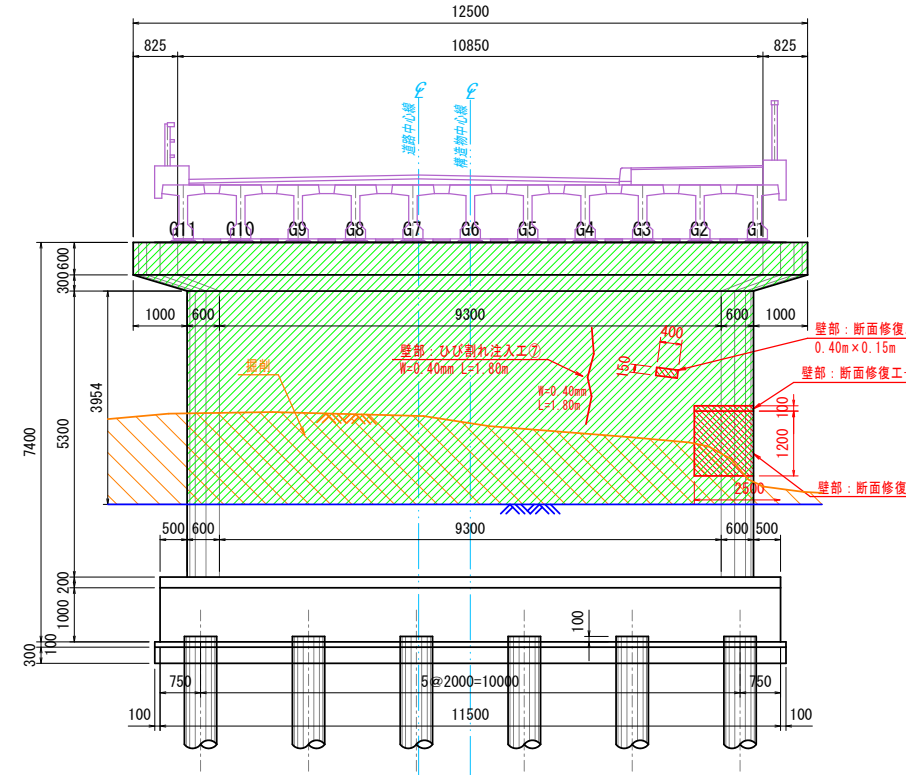
A1側正面図 (A1 Side Front View)



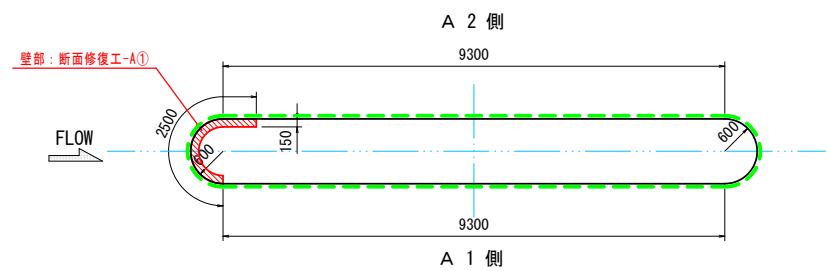
下流側側面図 (Downstream Side Elevation View)



A2側正面図 (A2 Side Front View)



1-1 断面図 (Section 1-1)



断面修復工 数量表 (ポリマーセメントモルタル)

工法	場所	寸法 (m)	面積	平均深さ	数量	備考
モルタル注入工法	壁部(上流側側面)	① 2.50×1.20	3.000 m ²	0.14 m	0.4200 m ³	格子状ひび割れ
	合計=					0.4200 m ³
左官工法	壁部(上流側側面)	② 2.50×0.10	0.250 m ²	0.14 m	0.0350 m ³	モルタル注入部閉口
	壁部(A2側正面)	③ 0.40×0.15	0.060 m ²	0.05 m	0.0030 m ³	ジャンカ
	合計=					0.0380 m ³

施工箇所:

表面含浸工材料表

工程	仕様
表面含浸工	シラン・シロキサン系浸透性吸水防止材 (標準使用量0.2kg/m ²)

表面含浸材の施工仕様例

工程	標準使用量 (kg/m ²)	施工方法	塗重ねの工程間隔
素地調整・下地処理	別途	-	-
下地の確認および清掃	別途	-	-
1 シラン・シロキサン系浸透性吸水防止材	0.2	吹付け、ローラー刷毛塗り	基本養生時間24時間程度

ひび割れ補修工 数量表

工法	場所	幅	寸法	数量
低圧低速注入工法	壁部(A1側正面)	① 0.50 mm	L= 1.90 m	1.90 m
		② 0.70 mm	L= 4.40 m	4.40 m
		③ 0.20 mm	L= 0.60 m	0.60 m
		④ 0.20 mm	L= 0.60 m	0.60 m
		⑤ 0.20 mm	L= 0.20 m	0.20 m
		⑥ 0.50 mm	L= 1.00 m	1.00 m
		⑦ 0.40 mm	L= 1.80 m	1.80 m
平均ひび割れ幅				合計= 10.50 m

表面保護工 数量表

工法	箇所	寸法	数量
表面含浸工 (シラン・シロキサン系浸透性吸水防止材)	梁部(全周分)	① 16.130	= 16.130 m ²
	梁部下面(全周分)	② 9.235	= 9.235 m ²
	壁部(全周分)	③ 88.451	= 88.451 m ²
	橋座面	④ 10.305	= 10.305 m ²
合計=			124.121 m ²

施工箇所:

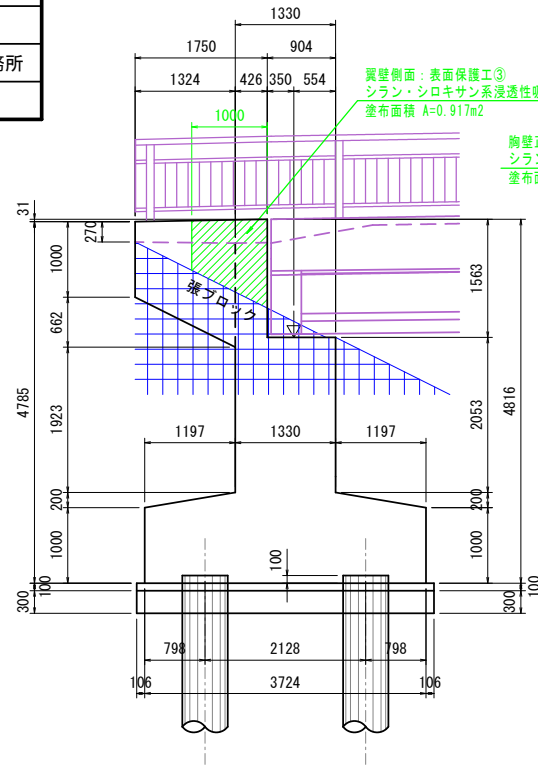
<p>ひび割れ注入工法</p> <p>(ひび割れ幅 0.2mm 以上 1.0mm 未満) (注入圧力0.4MPa以下の低圧低速注入工法)</p>	<p>表面保護工</p>	<p>断面修復工-A(モルタル注入工法)</p> <p>(上流側側面 ひび割れ集中箇所)</p>	<p>断面修復工-B(左官工法)</p>
---	---------------------	---	-----------------------------

令和8年度 橋梁補修 (下新井田橋) 工事	
工事番号	メンテ第459号
路線名	五戸六戸線
施工箇所	三戸郡五戸町字花道川原 地内
A2橋台補修工図	縮尺 S=1:50
図面番号	22 葉中 18
青森県三八県土整備事務所	
青森県	

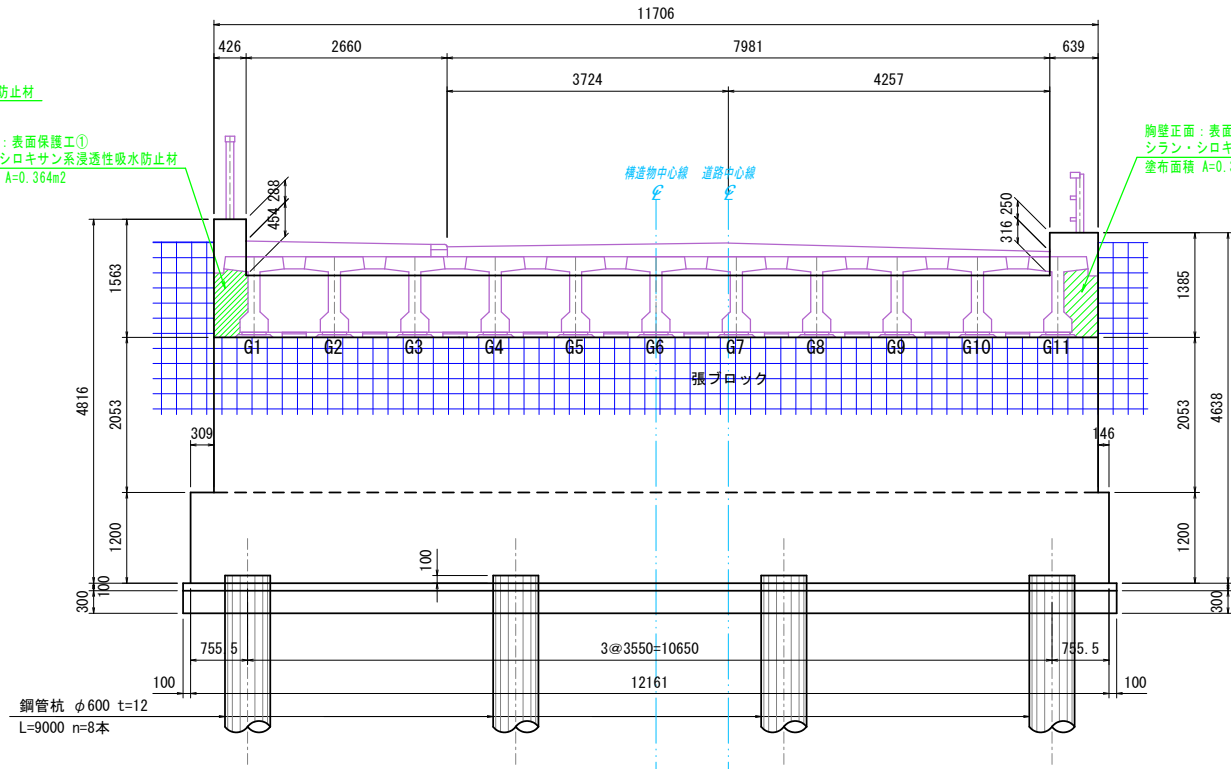
A2橋台補修工図

- 注記
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
 2. 補修工事にあたり、寸法等は現地検測のうえ決定すること。
 3. コンクリートの脆弱部は確実にはつきり落して修復を行うこと。
 4. 表記以外の損傷、劣化部が見られた場合は、発注者と協議の上で、補修対策範囲の変更を行うこと。

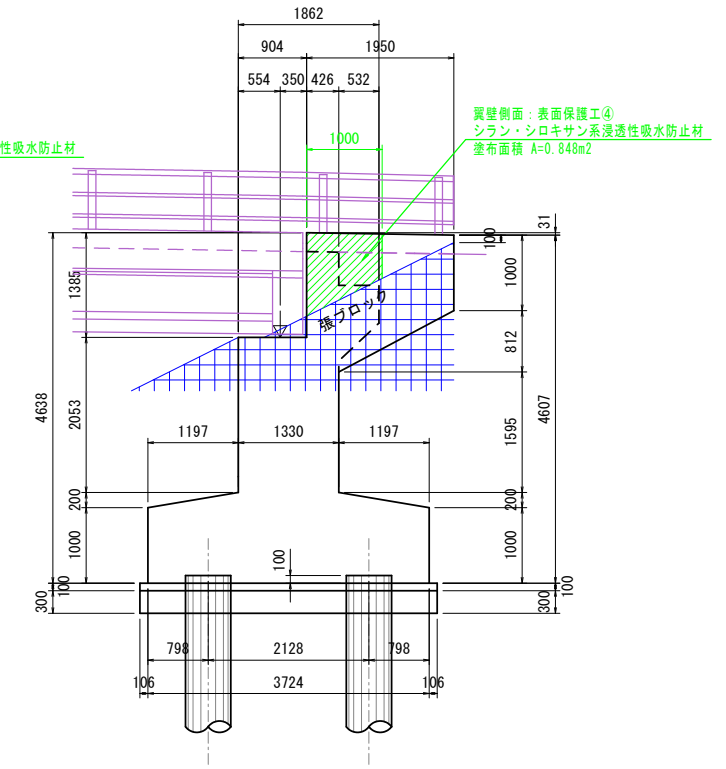
上流側側面図



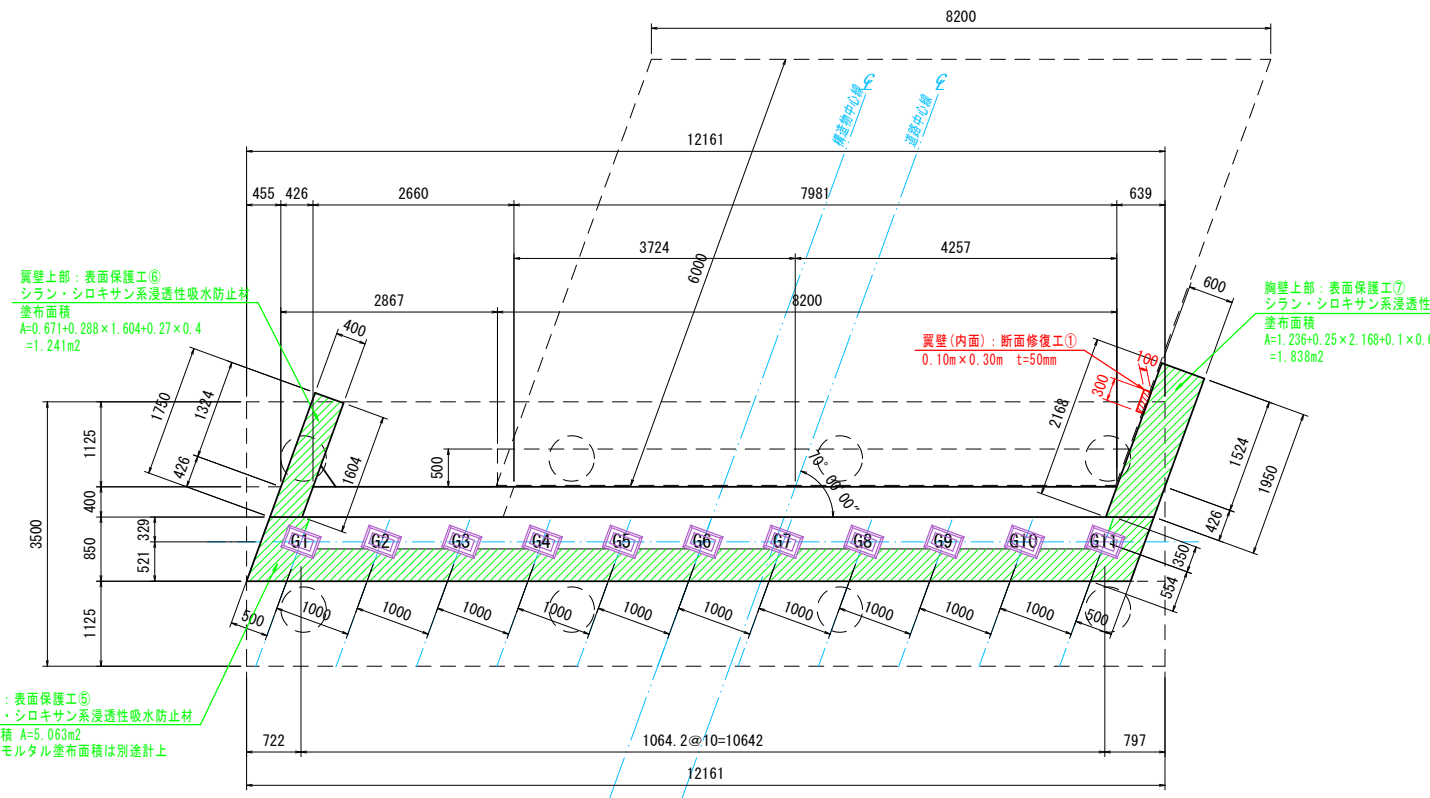
正面図



下流側側面図



平面図



断面修復工 数量表 (ポリマーセメントモルタル)

工法	場所	寸法 (m)	面積	平均深さ	数量	備考
左官工法	翼壁内面(上流側)	①	0.10×0.30	0.030 m	0.0015 m³	欠損
		合計			0.0366 m³	

表面含浸工材料表

工程	仕様
表面含浸工	シラン・シロキサン系浸透性吸水防止材 (標準使用量0.2kg/m²)

表面含浸材の施工仕様例

工程	標準使用量 (kg/m²)	施工方法	塗重ねの工程間隔
素地調整・下地処理	別途	-	-
下地の確認および清掃	別途	-	-
1 シラン・シロキサン系浸透性吸水防止材	0.2	吹付け、ローラー刷毛塗り	基本養生時間24時間程度

表面保護工 数量表

工法	箇所	寸法	数量
表面含浸工 (シラン・シロキサン系浸透性吸水防止材)	胸壁正面	① + ② 0.364 + 0.360	= 0.724 m²
	翼壁(上流側)	③ + ⑥ 0.917 + 1.241	= 2.158 m²
	翼壁(下流側)	④ + ⑦ 0.848 + 1.838	= 2.686 m²
	橋座面	⑤ 5.063	= 5.063 m²
	合計		10.631 m²

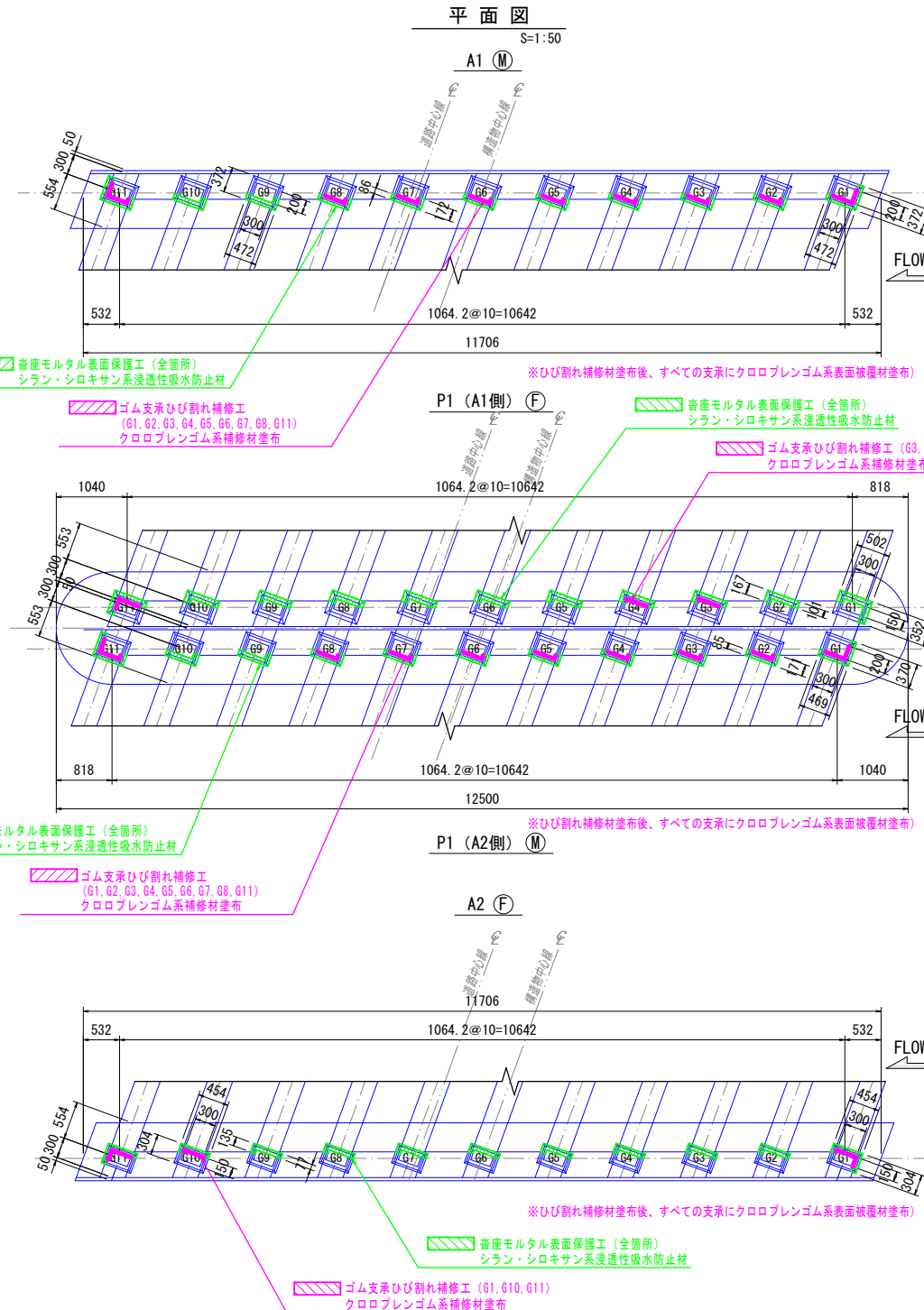
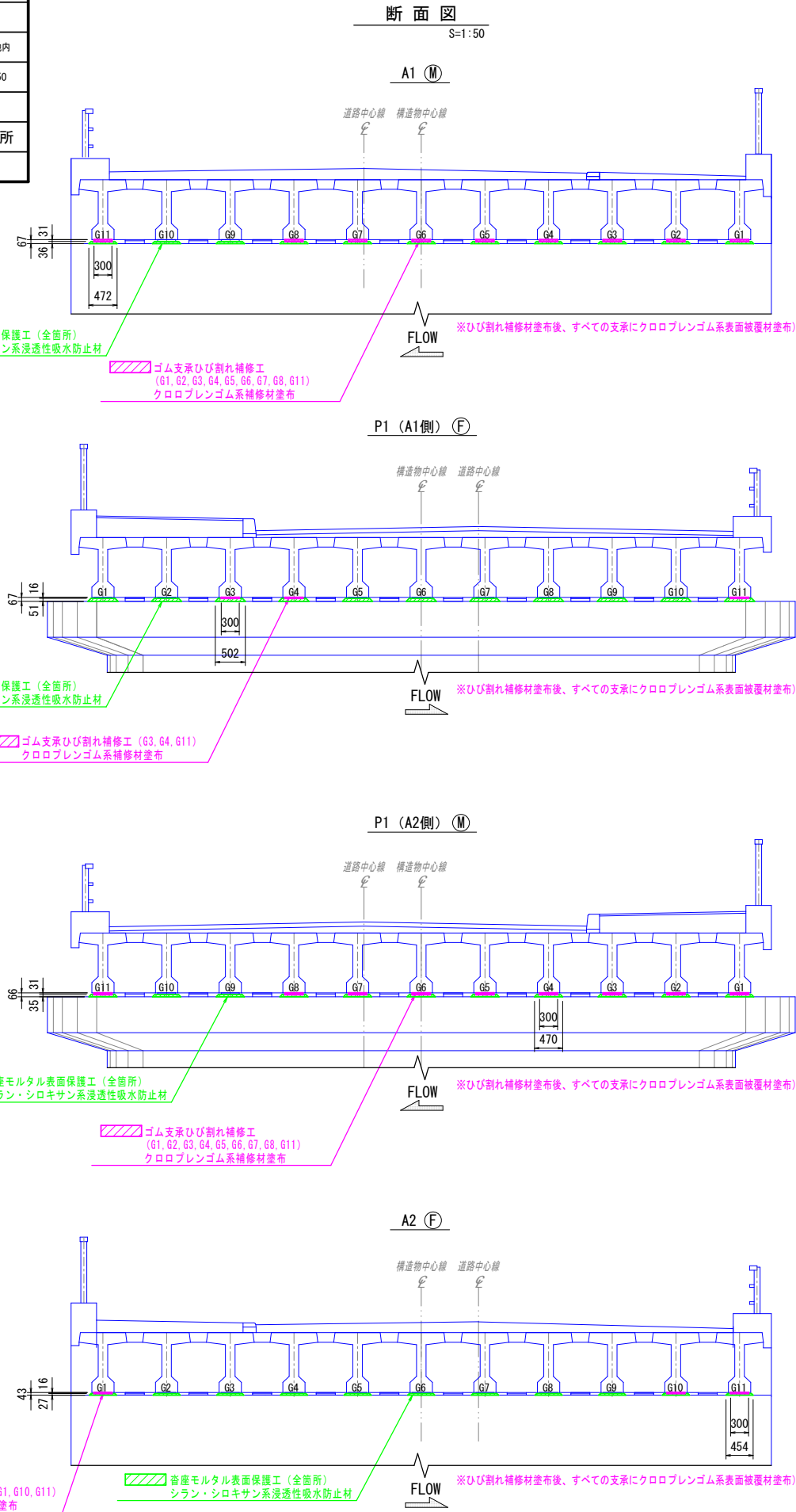
表面保護工

断面修復工(左官工法)

令和8年度 橋梁補修(下新井田橋) 工事	
工事番号	メンテ第459号
路線名	五戸六戸線
施工箇所	三戸郡五戸町字花道川原 地内
支保・沓座モルタル補修工図	縮尺 S=1:50
図面番号	22 葉中 19
青森県三八県土整備事務所	
青森県	

支保・沓座モルタル補修工図

- 注記
- 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
 - 補修工事にあたり、寸法等は現地検測のうえ決定すること。
 - 表記以外の損傷、劣化部が見られた場合は、発注者と協議の上で、補修対象範囲の変更を行うこと。
 - 桁下クリアランス幅狭のため、実際の作業時は塗布可能範囲は手の届く箇所とする。



- ゴム支保ひび割れ補修 (クロロレンゴム系補修材塗布)**
 - ① $0.5 \times 0.031 + 0.354 \times 0.031 \times 7 + 0.554 \times 0.031 = 0.109 \text{ m}^2$
 - ※ひび割れ補修材塗布後、すべての支保にクロロレンゴム系表面被覆材塗布
 - ② $0.5 \times 0.031 + 0.354 \times 0.031 \times 9 + 0.554 \times 0.031 = 0.131 \text{ m}^2$
- 沓座モルタル表面保護工 (全面所)**
 - ① $0.844 \times 0.036 + 0.065 = 0.095 \text{ m}^2$
 - ② $(0.644 \times 0.036 + 0.048) \times 9 = 0.641 \text{ m}^2$
 - ③ $1.016 \times 0.036 + 0.073 = 0.110 \text{ m}^2$
- ゴム支保ひび割れ補修 (クロロレンゴム系補修材塗布)**
 - ③ $0.330 \times 0.016 \times 2 + 0.45 \times 0.016 = 0.018 \text{ m}^2$
 - ※ひび割れ補修材塗布後、すべての支保にクロロレンゴム系表面被覆材塗布
 - ④ $0.48 \times 0.016 + 0.330 \times 0.016 \times 9 + 0.45 \times 0.016 = 0.062 \text{ m}^2$
- 沓座モルタル表面保護工 (全面所)**
 - ④ $1.021 \times 0.051 + 0.083 = 0.135 \text{ m}^2$
 - ⑤ $(0.669 \times 0.051 + 0.057) \times 9 = 0.820 \text{ m}^2$
 - ⑥ $0.854 \times 0.051 + 0.076 = 0.120 \text{ m}^2$
- ゴム支保ひび割れ補修 (クロロレンゴム系補修材塗布)**
 - ⑤ $0.5 \times 0.031 + 0.355 \times 0.031 \times 7 + 0.555 \times 0.031 = 0.110 \text{ m}^2$
 - ※ひび割れ補修材塗布後、すべての支保にクロロレンゴム系表面被覆材塗布
 - ⑥ $0.5 \times 0.031 + 0.355 \times 0.031 \times 9 + 0.555 \times 0.031 = 0.132 \text{ m}^2$
- 沓座モルタル表面保護工 (全面所)**
 - ⑦ $0.84 \times 0.035 + 0.064 = 0.093 \text{ m}^2$
 - ⑧ $(0.64 \times 0.035 + 0.047) \times 9 = 0.625 \text{ m}^2$
 - ⑨ $1.011 \times 0.051 + 0.071 = 0.106 \text{ m}^2$
- ゴム支保ひび割れ補修 (クロロレンゴム系補修材塗布)**
 - ⑦ $0.48 \times 0.016 + 0.33 \times 0.016 + 0.45 \times 0.016 = 0.020 \text{ m}^2$
 - ※ひび割れ補修材塗布後、すべての支保にクロロレンゴム系表面被覆材塗布
 - ⑧ $0.48 \times 0.016 + 0.33 \times 0.016 \times 9 + 0.45 \times 0.016 = 0.062 \text{ m}^2$
- 沓座モルタル表面保護工 (全面所)**
 - ⑩ $0.893 \times 0.027 + 0.057 = 0.081 \text{ m}^2$
 - ⑪ $(0.589 \times 0.027 + 0.039) \times 9 = 0.494 \text{ m}^2$
 - ⑫ $0.758 \times 0.027 + 0.052 = 0.072 \text{ m}^2$

ゴム表面被覆工 数量表

工法	箇所	寸法	標準使用量 100cc (1本) / m ²	数量
クロロレンゴム系補修材 (ひび割れ補修)	A1ゴム支保	①	0.109	= 0.109 m ²
	P1ゴム支保 (起点側)	③	0.018	= 0.018 m ²
	P1ゴム支保 (終点側)	⑤	0.110	= 0.110 m ²
	A2ゴム支保	⑦	0.020	= 0.020 m ²
合計=				0.257 m ²

沓座モルタル表面保護工 数量表

工法	箇所	寸法	標準使用量 180cc (1本) / m ²	数量
クロロレンゴム系補修材 (表面保護)	A1ゴム支保	②	0.131	= 0.131 m ²
	P1ゴム支保 (起点側)	④	0.062	= 0.062 m ²
	P1ゴム支保 (終点側)	⑥	0.132	= 0.132 m ²
	A2ゴム支保	⑧	0.062	= 0.062 m ²
合計=				0.387 m ²

表面含浸工材料表

工種	仕様
表面含浸工	シラン・シロキサン系浸透性吸水防止材 (標準使用量0.2kg/m ²)

表面含浸材の施工仕様例

工程	標準使用量 (kg/m ²)	施工方法	塗重ねの工程間隔
素地調整・下地処理	別途	-	-
下地の確認および清掃	別途	-	-
1 シラン・シロキサン系浸透性吸水防止材	0.2	吹付け、ローラー刷毛塗り	基本養生時間24時間程度

表面保護工 数量表

工法	箇所	寸法	数量
表面含浸工 (シラン・シロキサン系浸透性吸水防止材)	A1沓座モルタル	① + ② + ③	0.095 + 0.641 + 0.110 = 0.846 m ²
	P1沓座モルタル (起点側)	④ + ⑤ + ⑥	0.135 + 0.820 + 0.120 = 1.075 m ²
	P1沓座モルタル (終点側)	⑦ + ⑧ + ⑨	0.093 + 0.625 + 0.106 = 0.824 m ²
	A2沓座モルタル	⑩ + ⑪ + ⑫	0.081 + 0.494 + 0.072 = 0.647 m ²
合計=			3.392 m ²

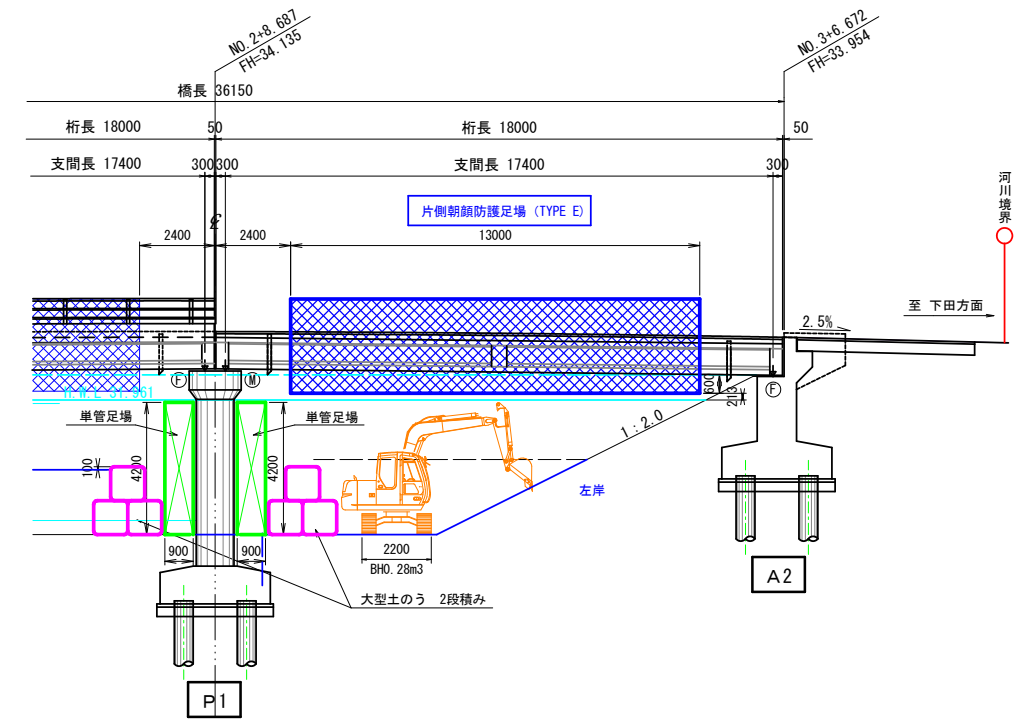
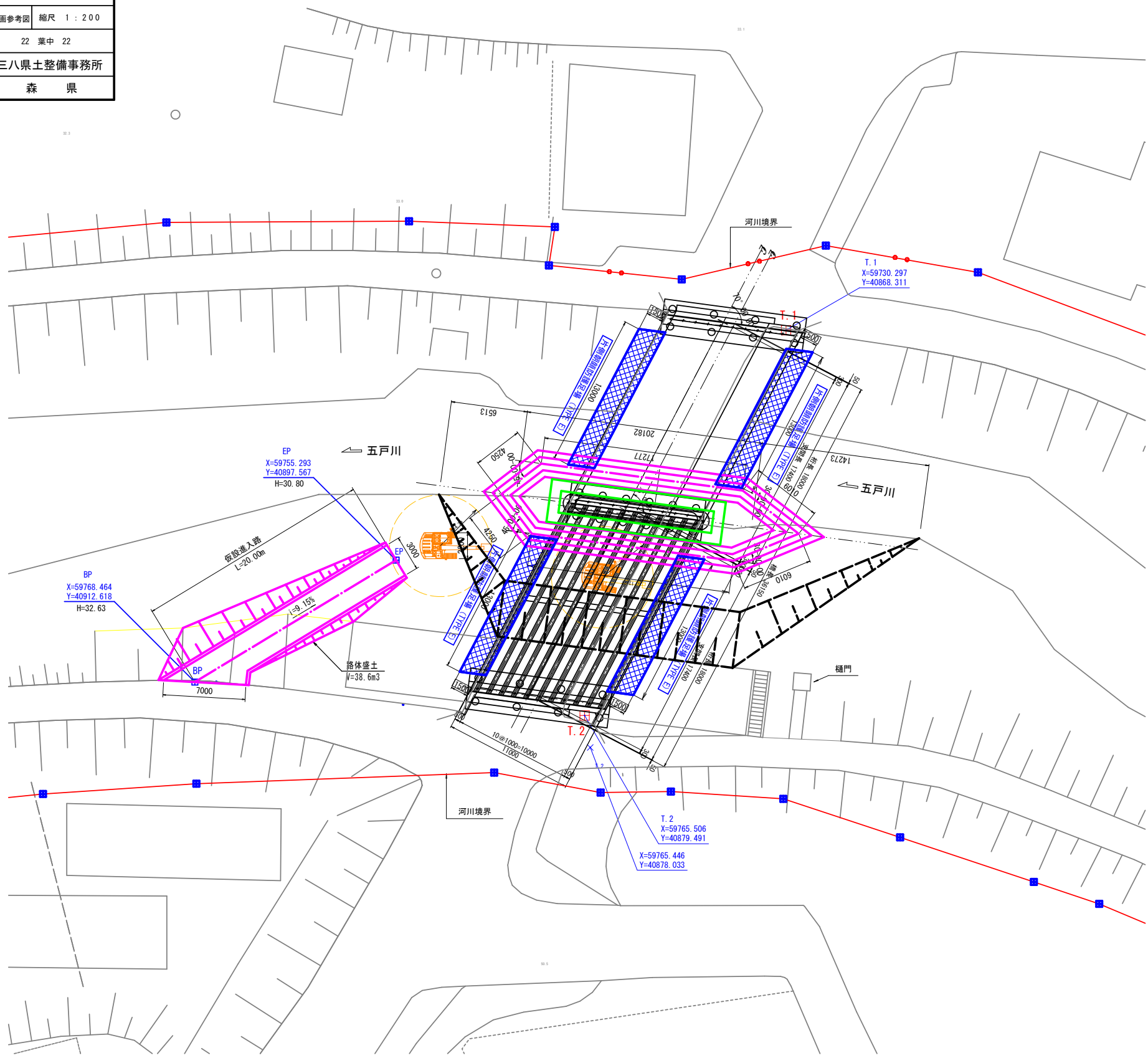
施工箇所:

令和8年度 橋梁補修（下新井田橋）工事	
工事番号	メンテ第459号
路線名	五戸六戸線
施行箇所	三戸郡五戸町字花道川原 地内
仮設・施工計画参考図 縮尺	1 : 200
図面番号	22 業中 22
青森県三八県土整備事務所	
青 森 県	

仮設・施工計画参考図

S=1:200

23
24



ZX70	
車種	クローラ車両
全長 (mm)	4,069
全幅 (mm)	2,200